唐湊線（郡元工区）電線共同溝設置工事（その５）計画平面図　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

工事起点　No. 6+13.2

施工区間 L=83.3m

工事終点　No. 10+16.5

管路工

通信 供用FA管 φ150 L=97.9m， ボディ管 φ200 L=93.3m， PV管 φ50 L=103.0m

電力 強化可とう管(SFEP管) φ150 L=72.7m， 強化可とう管(SFEP管) φ100 L=295.6m， 難燃性FEP管 φ100 L=28.2m， 難燃性FEP管 φ80 L=23.4m

特殊部設置工

通信 T-3MH N=1基， 電力 A-3MH N=2基， SWT HH N=2基， TR HH N=3基， LB HH N=2基

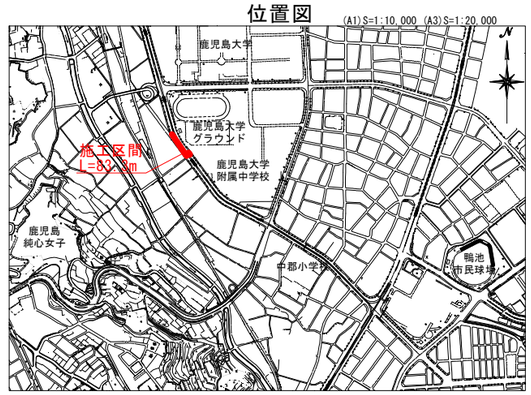
舗装工

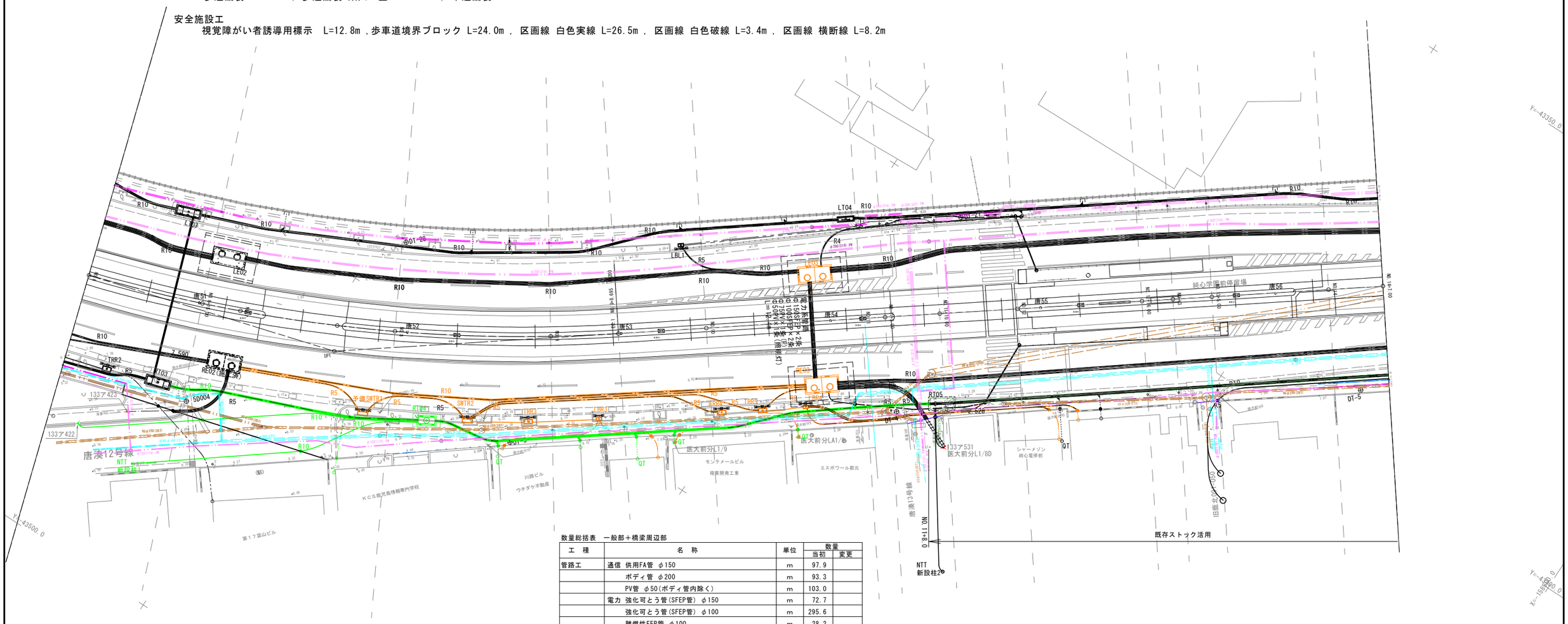
歩道舗装 A=87.5m2, 歩道舗装 乗入Ⅰ型 A=44.8m2， 車道舗装 A=182.2m2

安全施設工

視覚障がい者誘導用標示 L=12.8m，歩車道境界ブロック L=24.0m， 区画線 白色実線 L=26.5m， 区画線 白色破線 L=3.4m， 区画線 横断線 L=8.2m

位置図 (A1)S=1:10,000 (A3)S=1:20,000





数量総括表　一般部＋橋梁周辺部

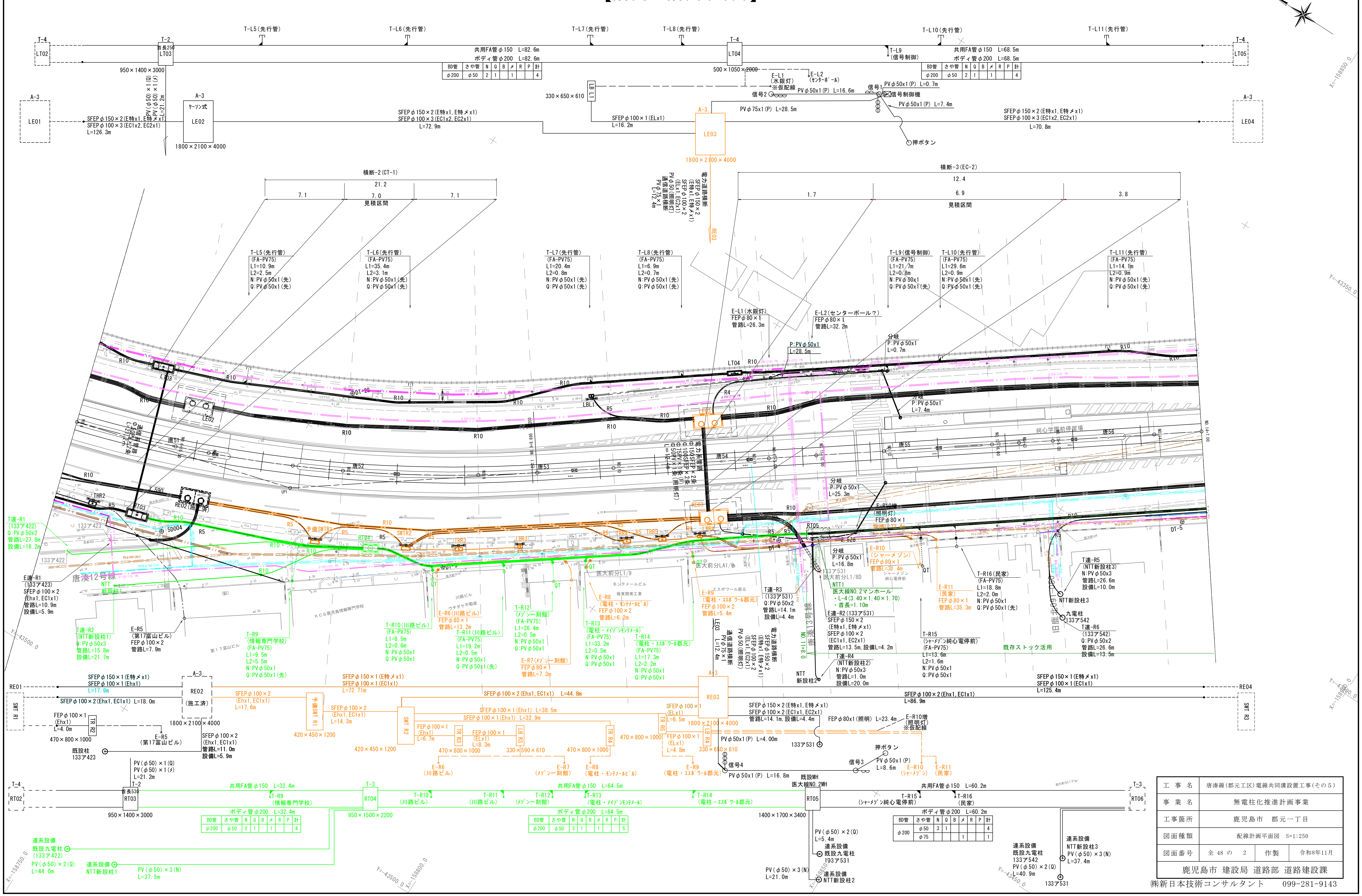
工　種	名　称	単位	数量 当初	数量 変更
管路工	通信 供用FA管 φ150	m	97.9	
	ボディ管 φ200	m	93.3	
	PV管 φ50(ボディ管内除く)	m	103.0	
	電力 強化可とう管(SFEP管) φ150	m	72.7	
	強化可とう管(SFEP管) φ100	m	295.6	
	難燃性FEP管 φ100	m	28.2	
	難燃性FEP管 φ80	m	23.4	
特殊部設置工	通信 T-3ハンドホール	基	1	
	電力 A-3マンホール	基	2	
	SWTハンドホール	基	2	
	TRハンドホール	基	3	
	LBハンドホール	基	2	
舗装工	歩道舗装	m2	87.5	
	歩道舗装 乗入Ⅰ型	m2	44.8	
	車道舗装	m2	182.2	
安全施設工	視覚障がい者誘導用標示	m	12.8	
	歩車道境界ブロック	m	24.0	
	白色実線(W=15cm)	m	26.5	
	白色破線(W=15cm)	m	3.4	
	白色横断線(W=45cm)	m	8.2	

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	唐湊線電線共同溝設置工事（その５）計画平面図 S=1:250		
図面番号	全 48 の 1	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

配線計画平面図
【NO.6～NO.14+7.0】

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500



BD管	さや管	N	Q	B	メ	R	P	計
φ200	φ50	2	1		1			4

(LT03–LT04)

BD管	さや管	N	Q	B	メ	R	P	計
φ200	φ50	2	1		1			4

(LT04–LT05)

BD管	さや管	N	Q	B	メ	R	P	計
φ200	φ50	2	1		1			4

(RT03–RT04)

BD管	さや管	N	Q	B	メ	R	P	計
φ200	φ50	3	1		1			5

(RT04–RT05)

BD管	さや管	N	Q	B	メ	R	P	計
φ200	φ50	3	1					4
	φ75				1			1

(RT05–RT06)

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市 郡元一丁目		
図面種類	配線計画平面図 S=1:250		
図面番号	全 48 の 2	作製	令和8年11月

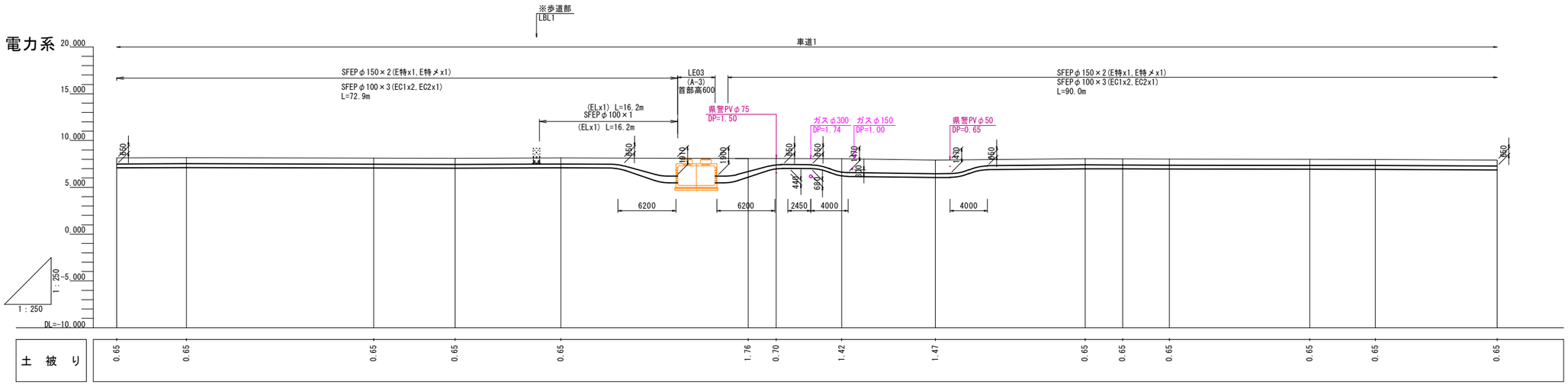
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

㈱新日本技術コンサルタント 099-281-9143

本線縦断図(1/3)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

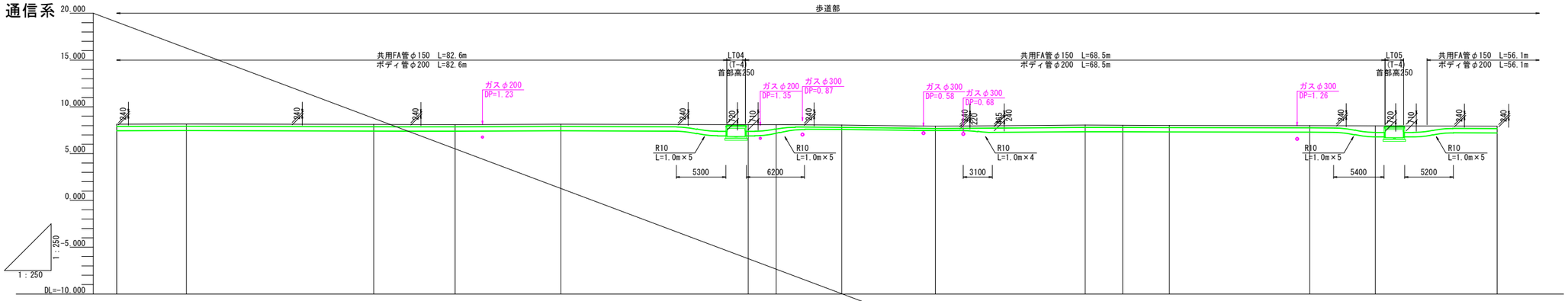
(～LE03～)

(左側)



特殊部凡例

区 分	記 号	名 称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		機器用ハンドホール 680×800×1560 (SWM用)
		機器用ハンドホール 420×450×1200 (SWT用)
		機器用ハンドホール 470×800×1000 (TR用)
		機器用ハンドホール 330×590×610 (LB用) 330×650×610 (LB用-底なし)



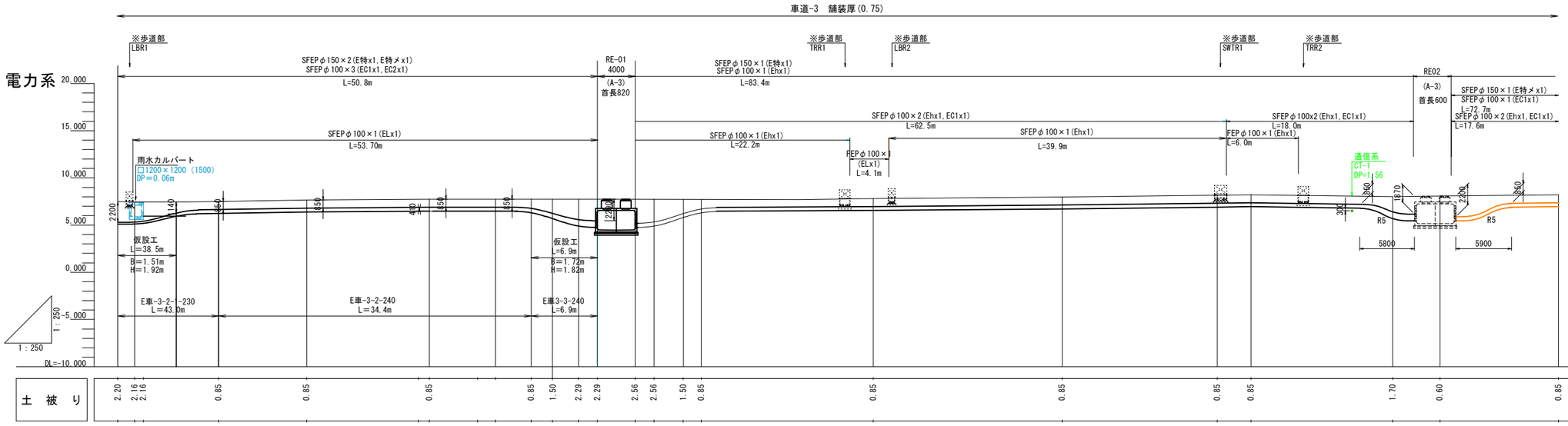
特殊部凡例

区 分	記 号	名 称
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用) 1400×1800×3000 (車道)
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用) 950×1400×3000 (歩道)
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用) 950×1500×2200 (歩車道)
		T-4(通信接続用) (歩道) 500×1050×2000
		通信用ハンドホール 1400×800×1320

| | | |

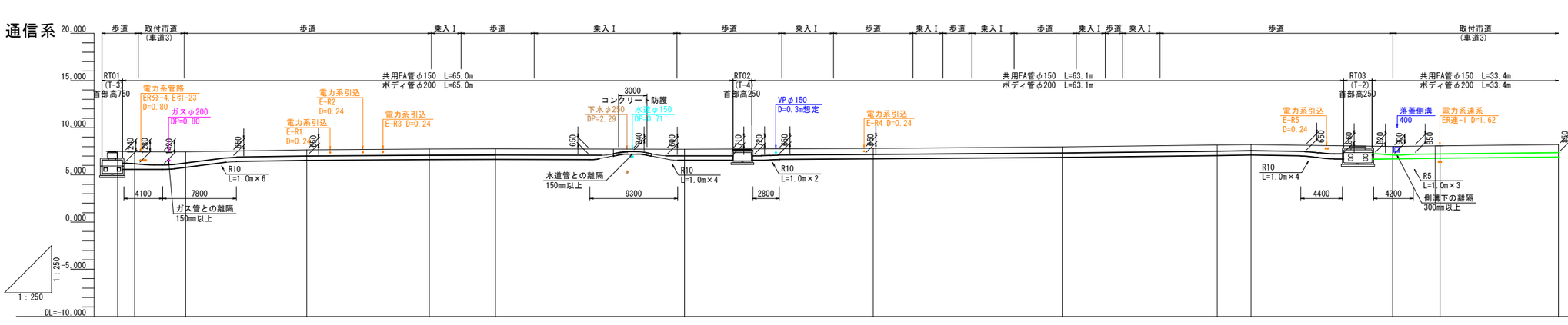
本線縦断図(2/3)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

（右側　RE11～RE01～RE02間）



特殊部凡例

区　分	記　号	名　称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		A-2ケーソン式マンホール 1500×1800×3500
		A-3ケーソン式マンホール 1800×2100×4000
		機器用ハンドホール 680×800×1560（SWM用）
		機器用ハンドホール 420×450×1200（SWT用）
		機器用ハンドホール 470×800×1000（TR用）
		機器用ハンドホール 330×590×610（LB用） 330×650×610（LB用-底なし）



特殊部凡例

区　分	記　号	名　称
通信系		T-1（特殊部Ⅱ型横断用） 1400×1800×3000（車道）
		T-2（特殊部Ⅱ型横断用） 950×1400×3000（歩道）
		T-3（特殊部Ⅱ型起点用） 950×1500×2200（歩車道）

土　被　り	0.75	1.21	1.19	0.65	0.65	0.65	0.68	0.65	0.65	0.65	0.65	0.90	0.65	0.65
地　盤　高	7.49	7.45	7.45	7.65	7.74	7.75	7.71	7.81	7.97	8.16	8.21	8.01	8.07	8.21
追加距離	0.000	1.800	7.180	20.000	33.000	40.000	60.000	80.000	100.000	116.417	120.000	135.000	140.000	152.556
単　距　離	0.000	1.800	5.380	12.820	13.000	7.000	20.000	20.000	20.000	16.417	3.583	15.000	5.000	12.556
測点番号	IP			NO.1	NO.1+13.00	NO.2	NO.3	NO.4	NO.5	BC.1	NO.6	NO.6+15.00	NO.7	SP.1
平面線形 曲率図														

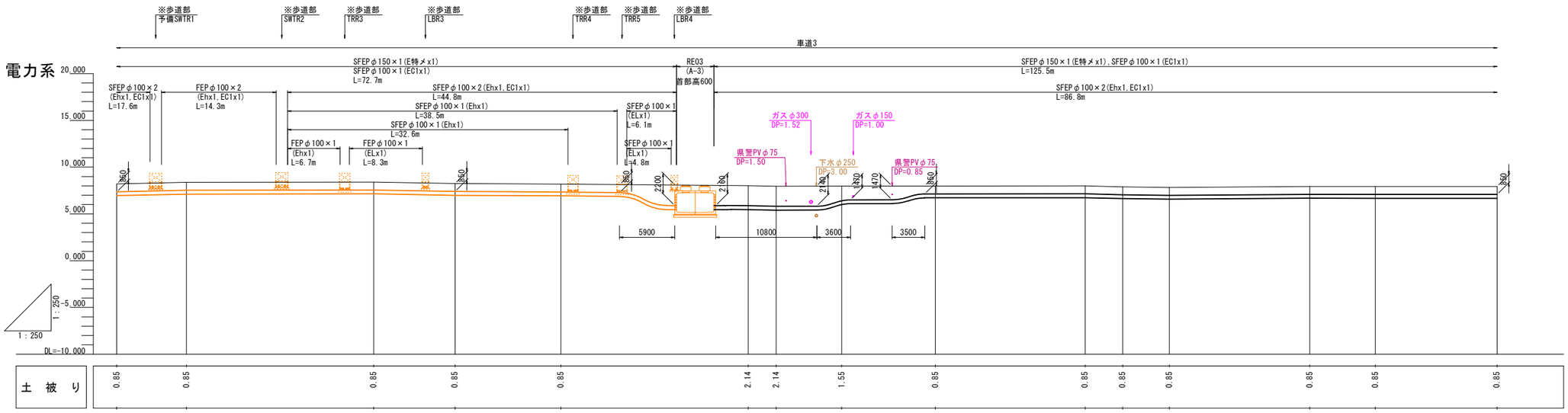
工　事　名	唐湊線（郡元工区）電線共同溝設置工事（その５）		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	本線縦断図(2/3)　S=1:250		
図面番号	全 48 の 4	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

本線縦断図(3/3)　(A1)S=1:250　(A3)S=1:500

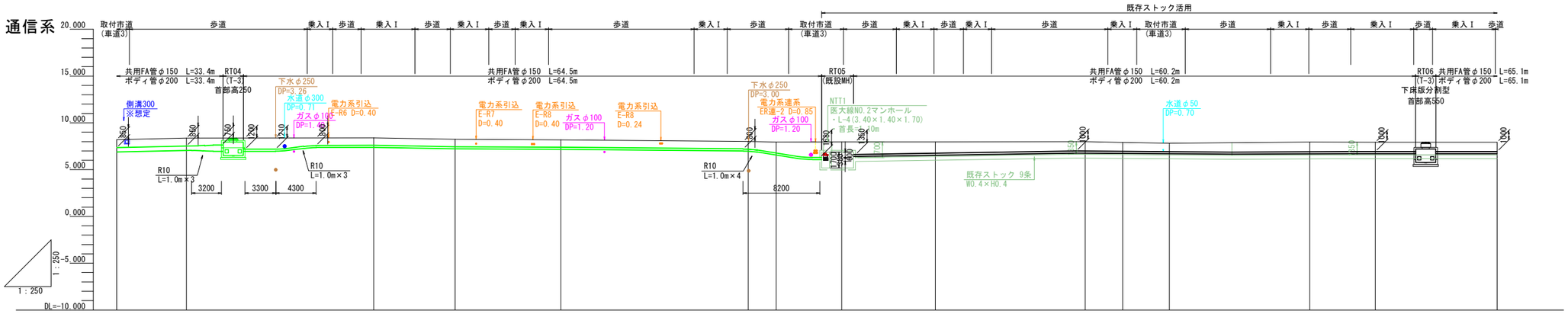
（～RE03～）

（右側）



特殊部凡例

区分	記号	名称
電力系		A-2マンホール 1500×1800×3500
		A-3マンホール 1800×2100×4000
		A-3特1マンホール 1800×2100×4700
		機器用ハンドホール 680×800×1560（SWM用）
		機器用ハンドホール 420×450×1200（SWT用）
		機器用ハンドホール 470×800×1000（TR用）
		機器用ハンドホール 330×590×610（LB用） 330×650×610（LB用-底なし）



特殊部凡例

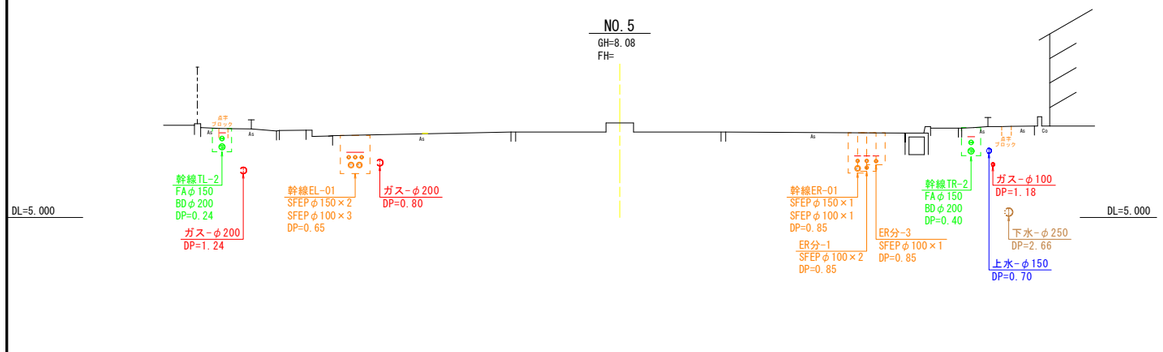
区分	記号	名称
通信系		T-1(特殊部Ⅱ型横断用) 1400×1800×3000（車道）
		T-2(特殊部Ⅱ型横断用) 950×1400×3000（歩道）
		T-3(特殊部Ⅱ型起点用) 950×1500×2200(歩車道)
		T-4(通信接続用)（歩道） 500×1050×2000
		通信用ハンドホール 1400×800×1320

| | | |

標準断面図　(A1)S=1:100　(A3)S=1:200

管路部

標準部



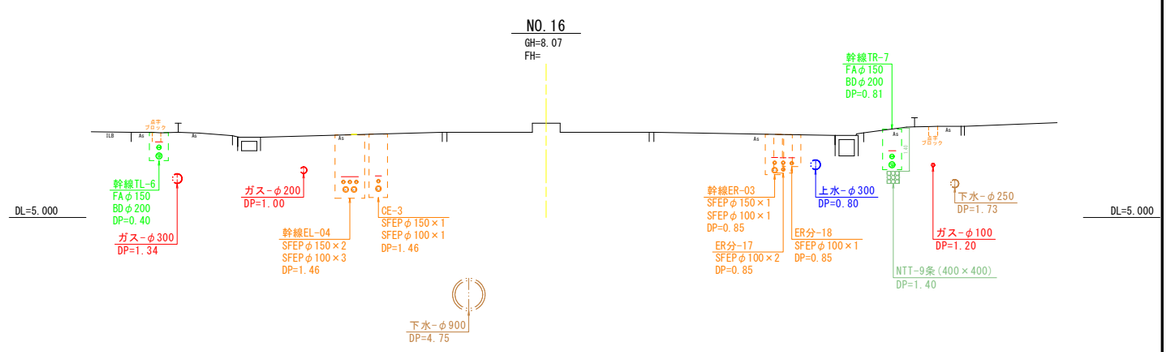
区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ150	1	単管 φ150x2孔 φ100x3孔	φ100 EC1 EC2 E特 E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ100	3		
				φ150	1		

区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	2	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x4孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ100	1	単管 φ150x1孔 φ100x1孔	φ100 Eh E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ150	1		

区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	2	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x4孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

既存ストック活用



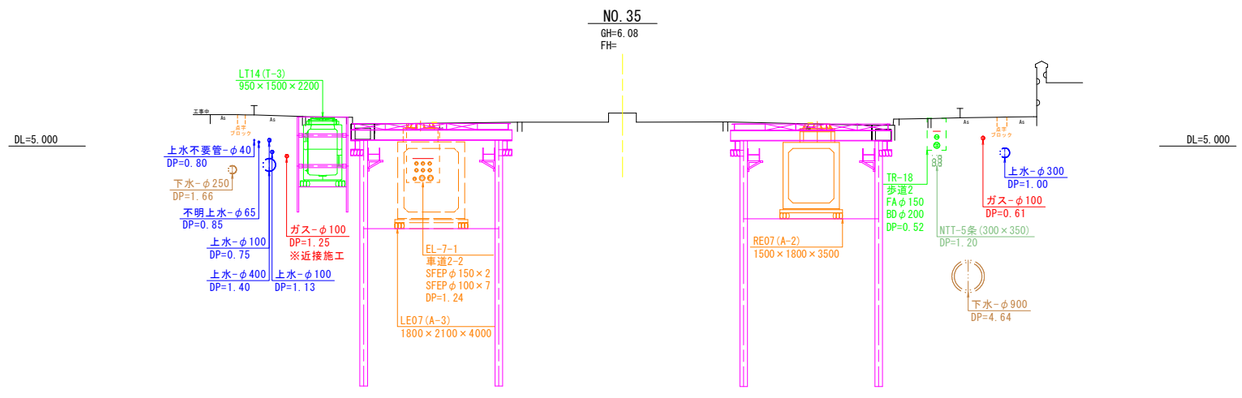
区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ150	1	単管 φ150x2孔 φ100x3孔	φ100 EC1 EC2 E特 E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ100	3		
				φ150	1		

区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	2	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x4孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
電力系	E	九州電力	単管	φ100	1	単管 φ150x1孔 φ100x1孔	φ100 EC1 E特メ φ150
	E特メ	メンテナンス管		φ150	1		

区分	記号	企業名	箇所	管径	条数	条数計	管路構造図
通信系	N	NTT	ボディ管	φ50	3	ボディ管 φ200x1孔 サヤ管 φ50x5孔	ボディ管φ200 ボディ管 通信系ボディ管φ200構造図 Q メ N N
	Q	QTnet		φ50	1		
	メ	メンテナンス管		φ50	1		

特殊部



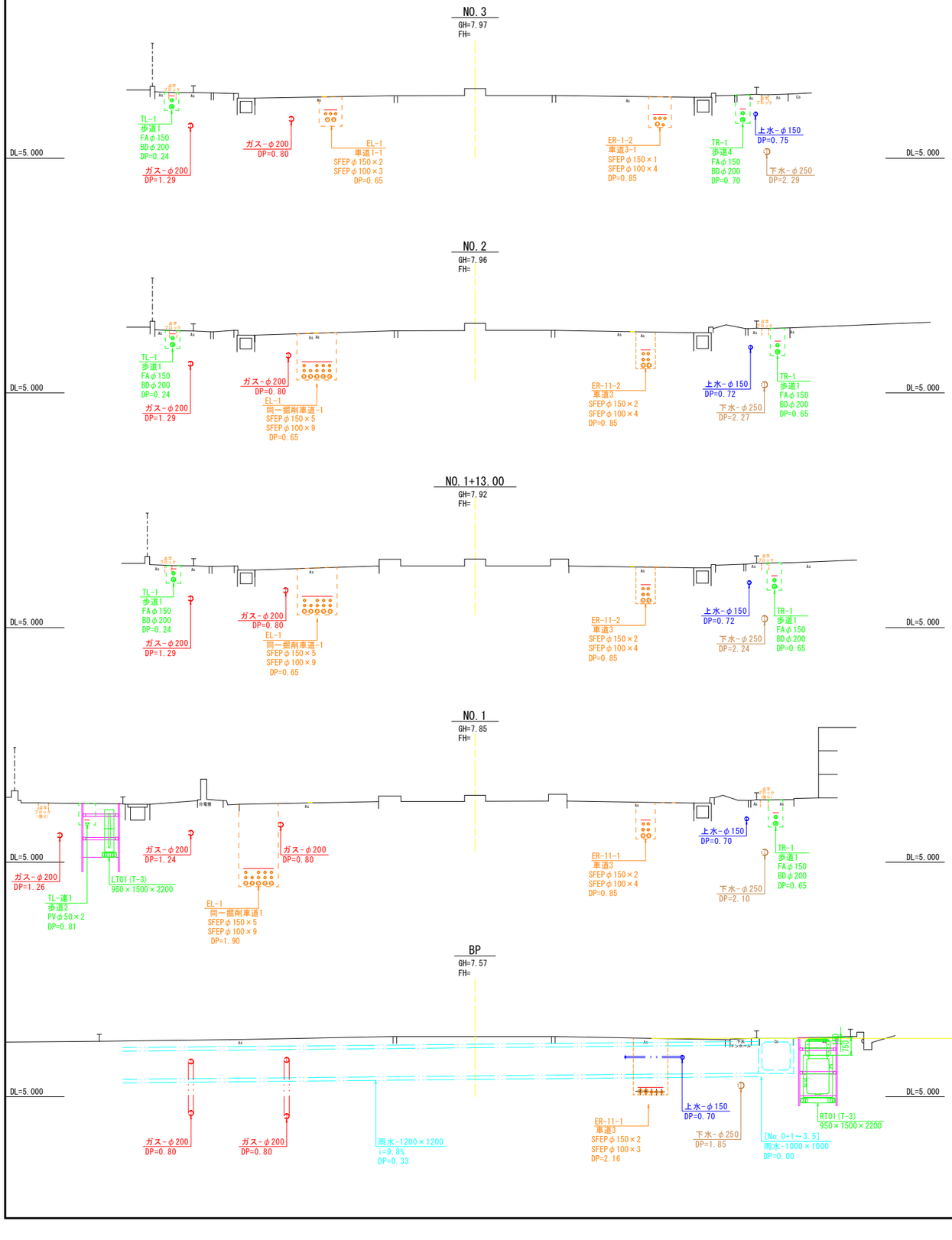
※埋設物の深さは、各管理者の埋設図等による

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	標準断面図　S=1:100		
図面番号	全 48 の 6	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

横断図(1/2)

(A1)S=1:100 (A3)S=1:200



※仮設工は、標準的な工法としているため、
埋設物の管理者と協議により決定すること。
※埋設物の深さは、各管理者の埋設図等による
想定である。

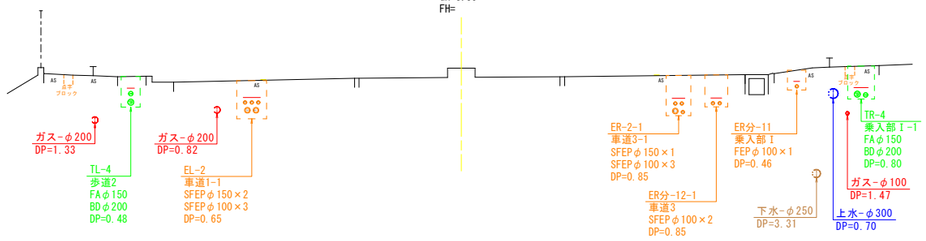
種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガ ス		
NTT		
九電		
雨水		

工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	横断図(1/2)　S=1:100		
図面番号	全 48 の 7	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

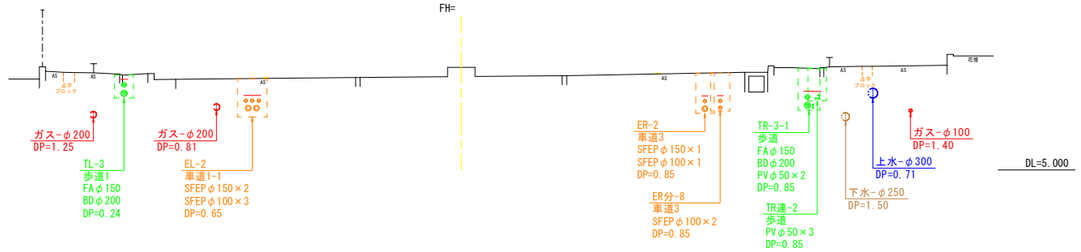
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

横断図(2/2)　(A1)S=1:100　(A3)S=1:200

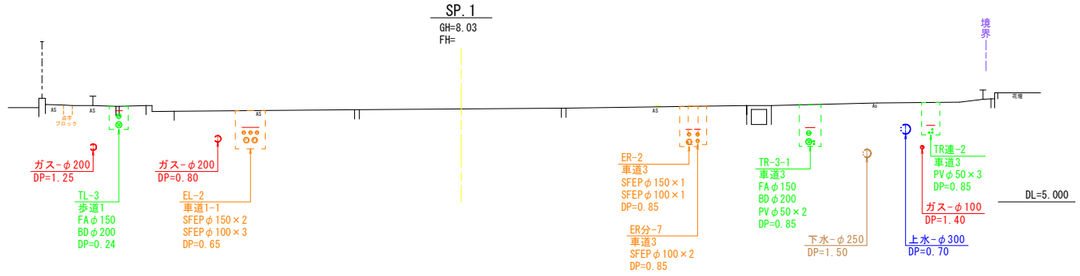
NO.9
GH=8.35
FH=



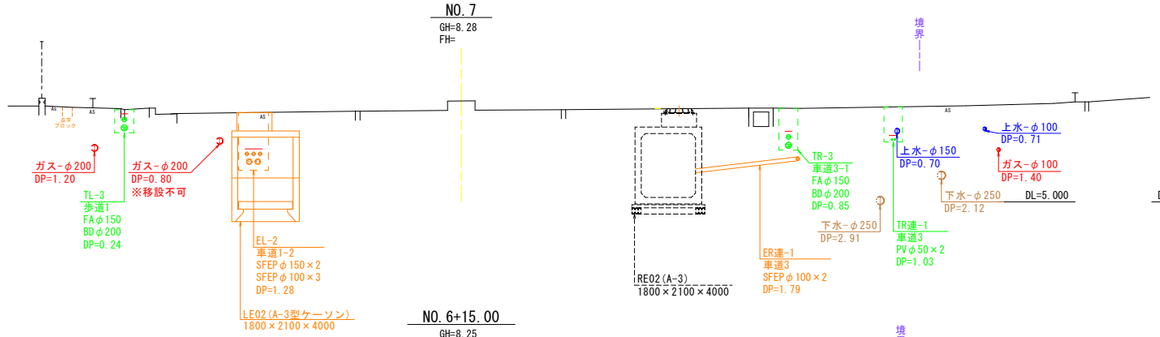
NO.8
GH=8.34
FH=



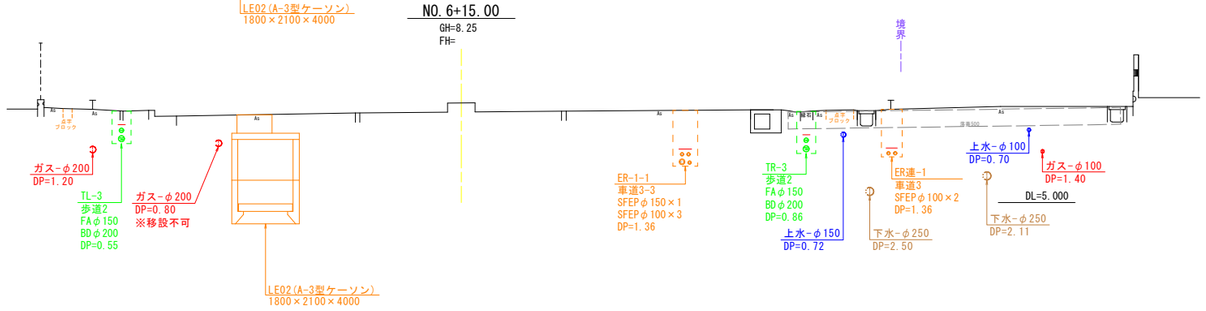
SP.1
GH=8.03
FH=



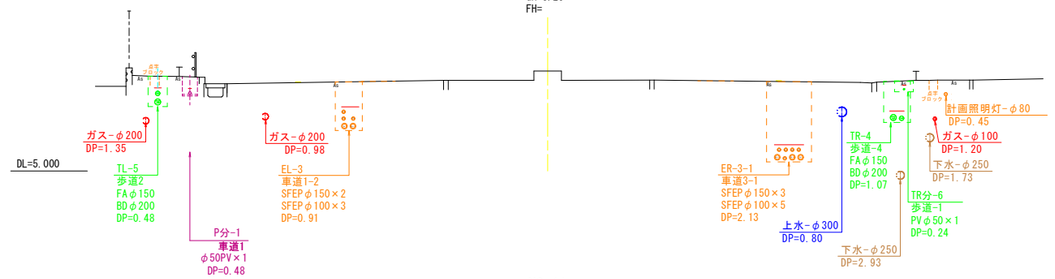
NO.7
GH=8.28
FH=



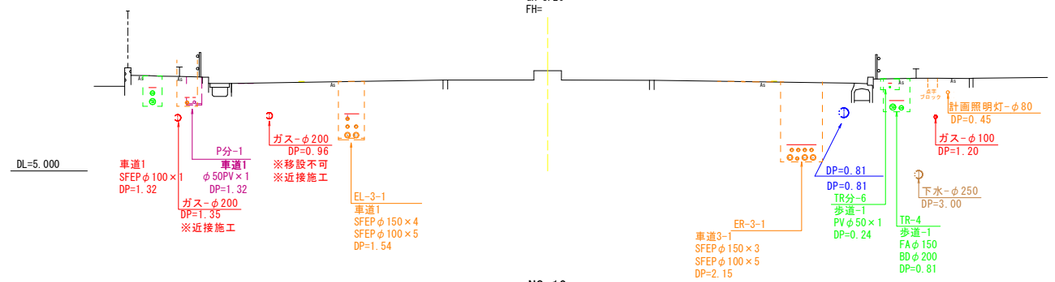
NO.6+15.00
GH=8.25
FH=



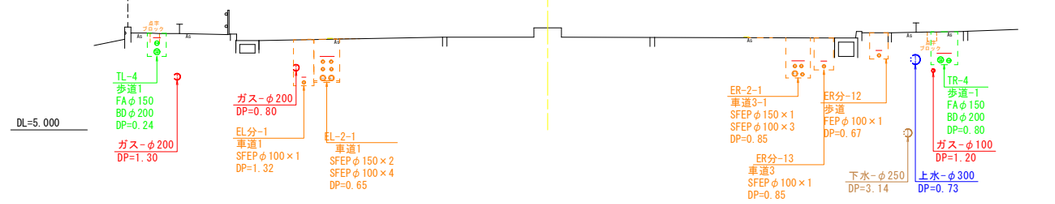
NO.11+3.00
GH=8.25
FH=



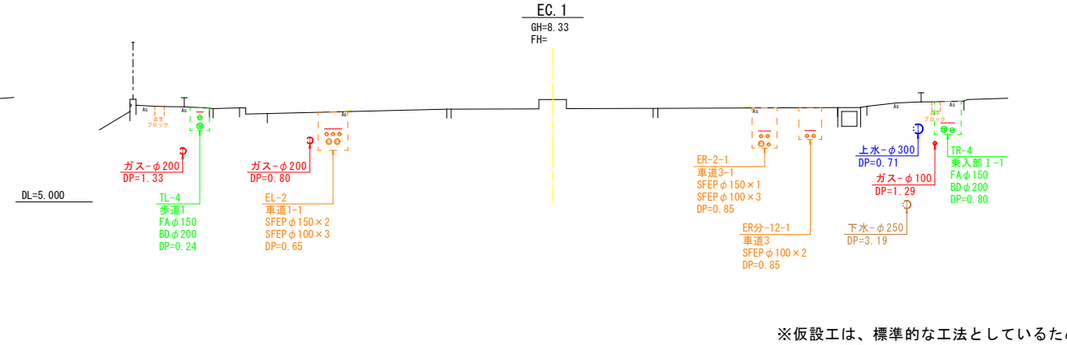
NO.11
GH=8.26
FH=



NO.10
GH=8.32
FH=



EC.1
GH=8.33
FH=



※仮設工は、標準的な工法としているため、
埋設物の管理者と協議により決定すること。
※埋設物の深さは、各管理者の埋設図等による
想定である。

種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガス		
NTT		
九電		
雨水		

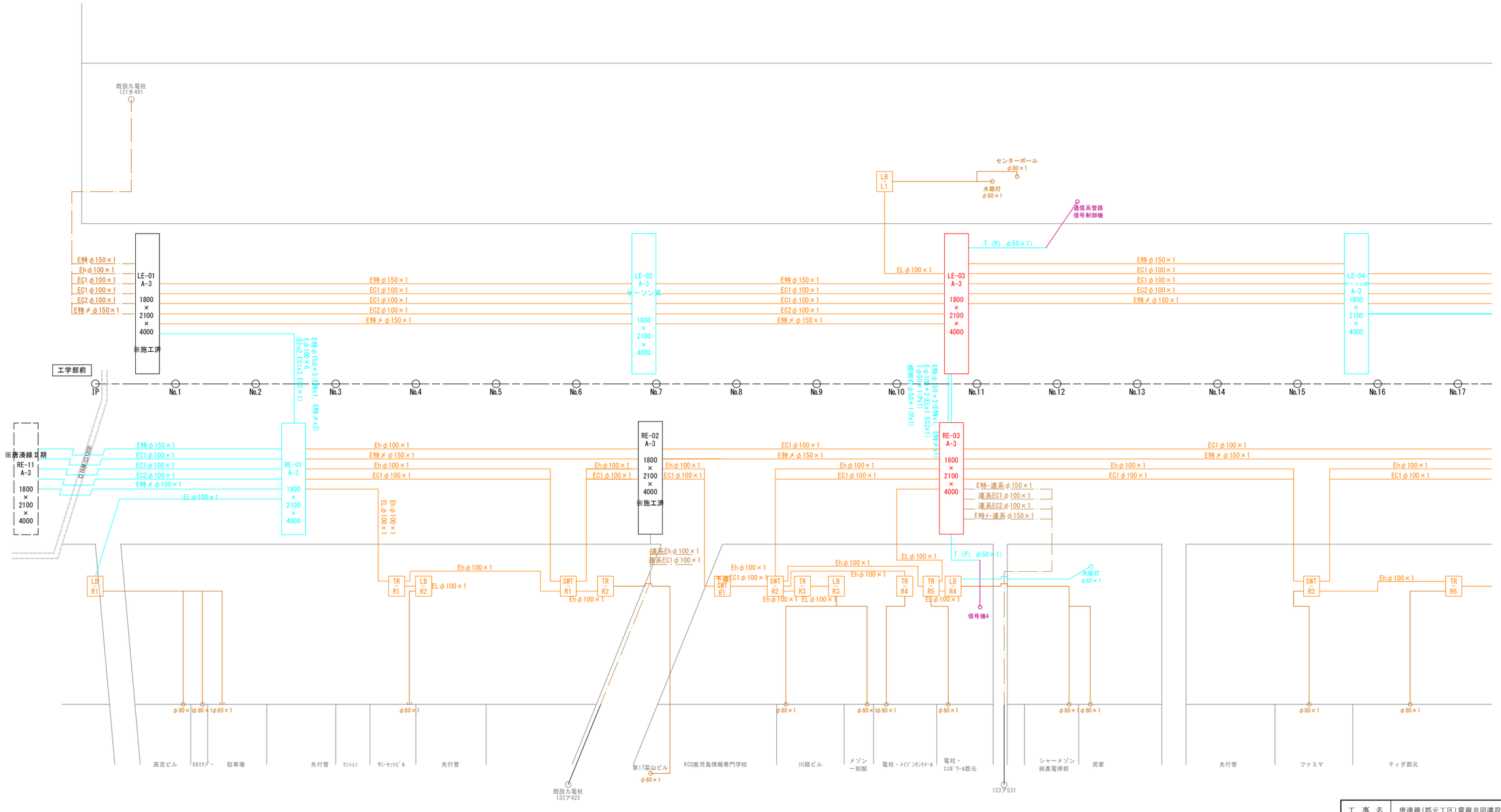
工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	横断図(2/2)　S=1:100		
図面番号	全 48 の 8	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

配管系統図

（電力系）

(A1)S=1:500 (A3)S=1:1000



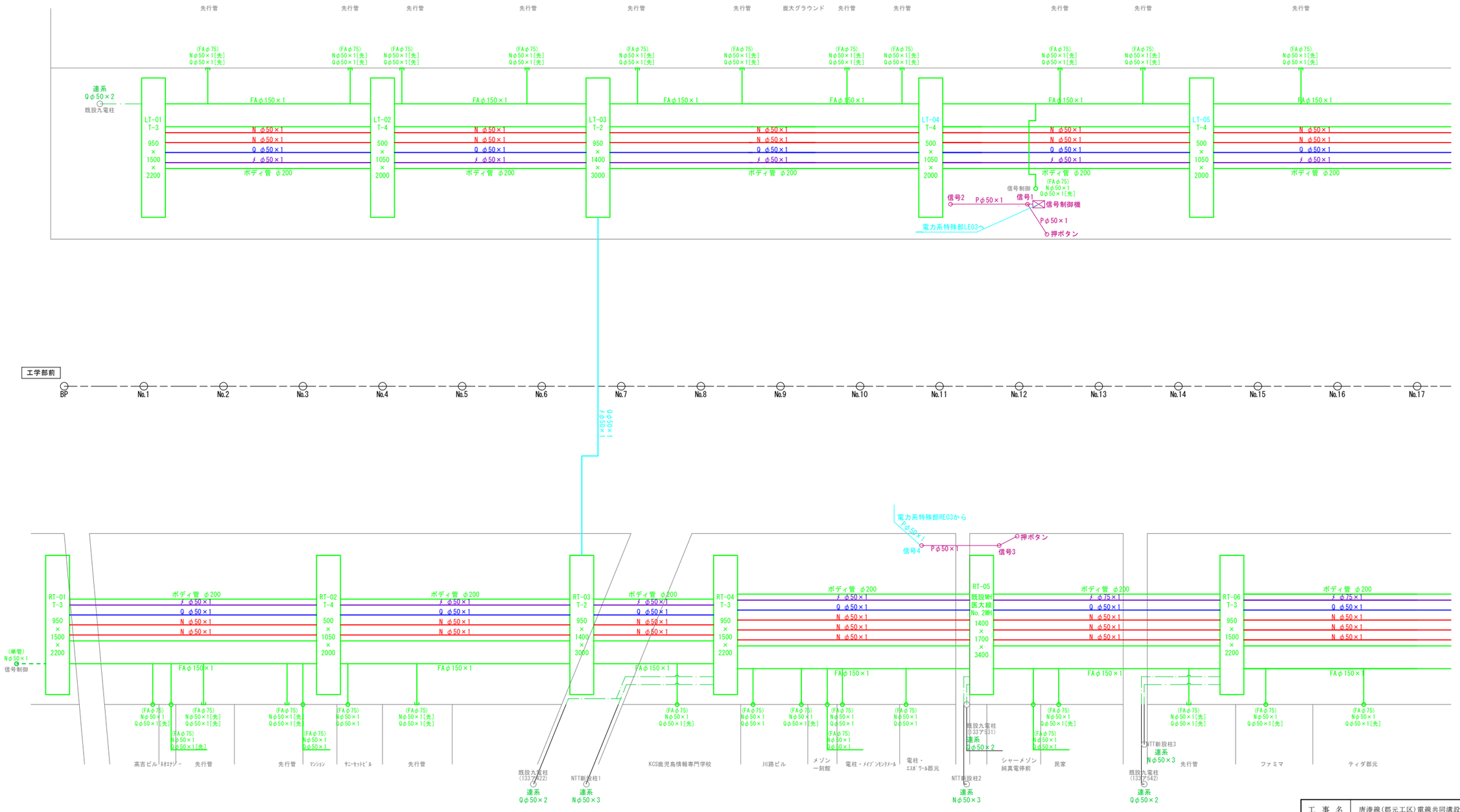
工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	配管系統図(電力系) S=1:500		
図面番号	全 48 の 9	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

配管系統図

（通信系）

(A1) S=1:500　(A3) S=1:1000



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	配管系統図(通信系)　S=1:500		
図面番号	全 48 の 10	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(1/5)　(A1)S=1:30　(A3)S=1:60

A-3型マンホール(W1800×H2100×L4000)

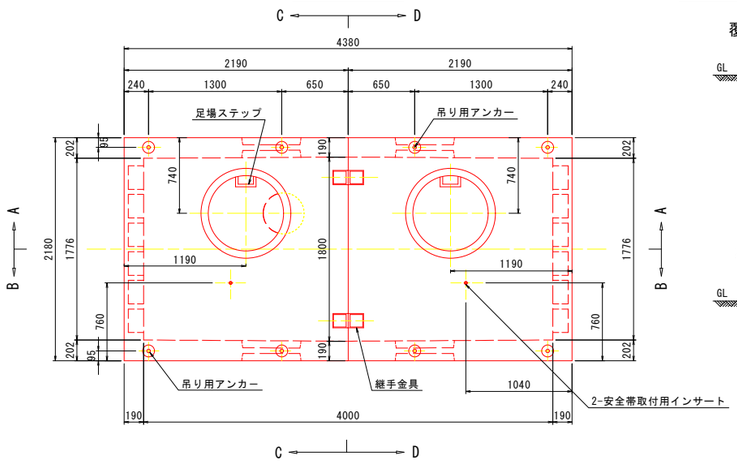
設計条件

設計荷重	活荷重		245kN(T-25荷重)
	衝撃係数	土被り1m未満	0．4
		土被り1m以上	0．3
内空寸法 (幅×高×長)			1800×2100×4000 mm
土の単位重量			20kN/m3(2.0tf/m3)
土圧係数			0．5
使用材料			
コンクリート			σ＝49N/mm2
鉄筋			SD295A
鋼材			SUS304,SS400(メッキ加工)

接地工
D種
14mm2

設置箇所		
歩道部	首部高 H=250	LE01
車道部	首部高 H=600	LE03,LE05,LE07,RE02,RE03,RE05 RE08
	首部高 H=850	RE01,RE04

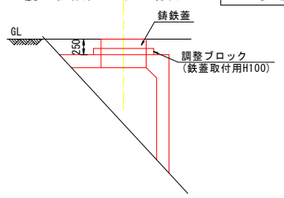
平面図



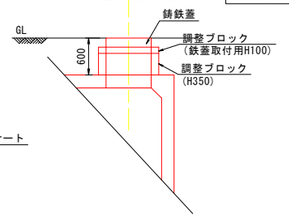
調整ブロック取付図

S=1:50

覆工板設置しない場合　歩道部

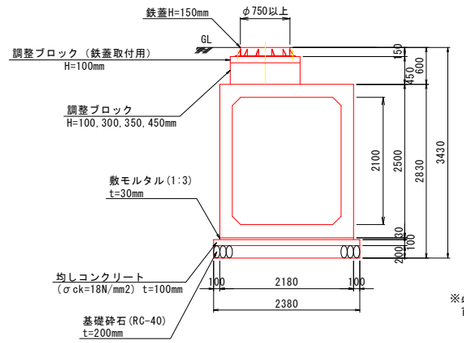


覆工板設置する場合　車道部



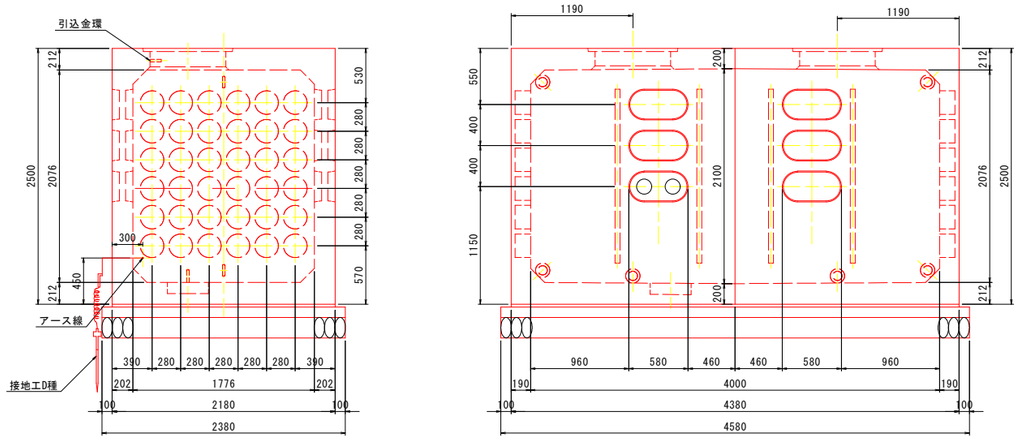
据付一般図

S=1:50

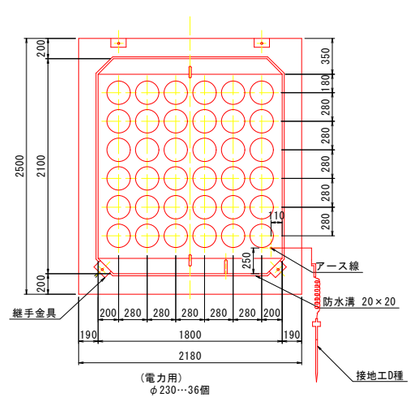


※必要に応じて調整コンクリートを使用して首部高を調整すること。

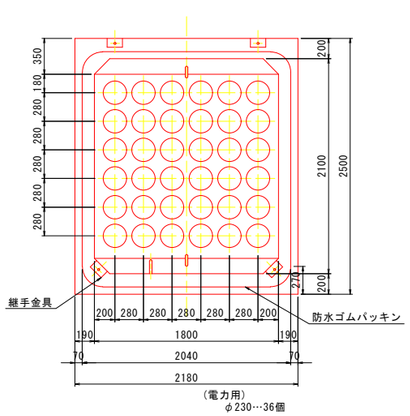
側面図



C-C断面

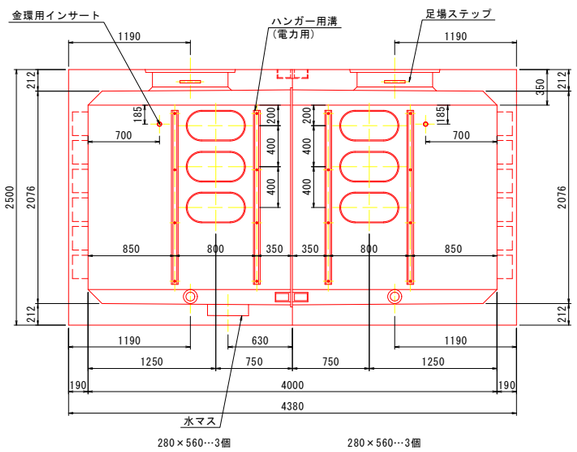


D-D断面

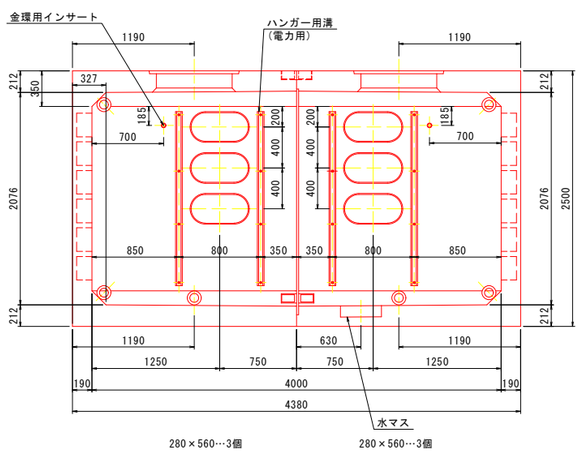


φ230…30個の場合がある

A－A断面図

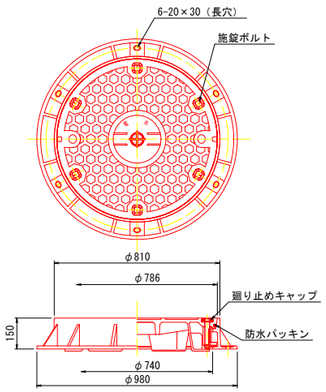


B－B断面図



鋳鉄蓋構造図

(A1)S=1:15 (A3)S=1:30



数量表

1箇所あたり

種目		規格	計算式		数量	単位
本体工	基面整正		A=4.58×2.38	= 10.90	10.9	m2
	基礎砕石	t=200	A=4.58×2.38	= 10.90	10.9	m2
	均しコン型枠		A=(4.58+2.38)×0.10×2	= 1.39	1.4	m2
	均しコンクリート	σck=18N/mm2	V=4.58×2.38×0.10	= 1.09	1.1	m3
	敷モルタル	1:3	V=4.38×2.18×0.03	= 0.286	0.29	m3
	マンホール	1800×2100×4000	参考重量 W=22.9t 2分割		1.0	基
	調整ブロック	(下表による)			2.0	組
	鉄蓋	T-25用	参考重量 W=0.19t		2.0	組
	接地工	D種			1.0	極

調整ブロック 数量表

首部高	鉄蓋	調整ブロック 規格・数量					単位	調整
	H150	鉄蓋取付用 H=100	調整用 H=100	調整用 H=300	調整用 H=350	調整用 H=450		
H250	1	1	－	－	－	－	個	
H600	1	1	－	－	1	－	個	
H850	1	1	－	2	－	－	個	

※注記

1) 電力系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル(案) R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 電力系特殊部の設置箇所は、監督職員と協議の上、試掘調査を実施し地下埋設物の確認を行う事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(1/5)　S=1:30		
図面番号	全 48 の 11	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

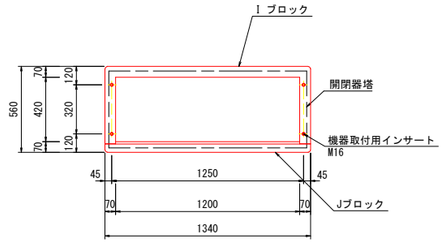
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(2/5)　(A1)S=1:20　(A3)S=1:40

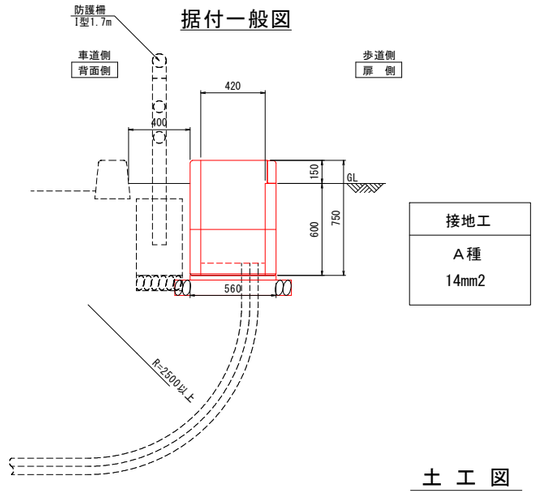
機器用ハンドホール(SWT用Kブロック付)(W420×H670×L1200)

設置箇所	
歩道部	SWT-L1～SWT-L5，予備SWT-L1 SWT-R1，SWT-R2～SWT-R7，予備SWT-R1
車道部	―

平　面　図

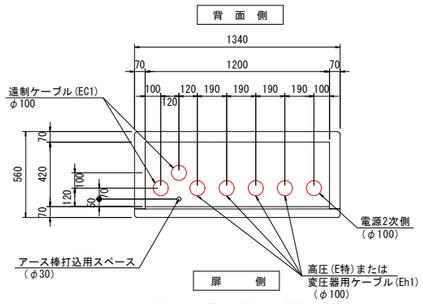


据付一般図



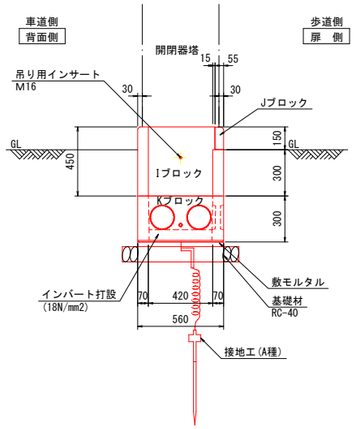
接地工
A種
14mm2

配管要領図

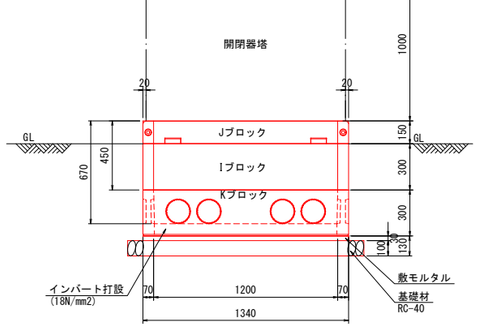


※　配列は九州電力に確認し、施工すること。

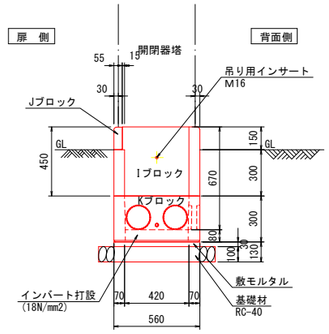
断　面　図



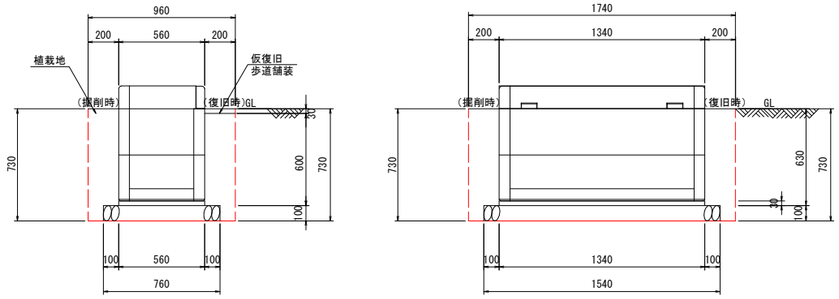
側　面　図



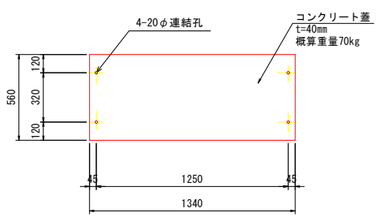
断　面　図



土　工　図



仮蓋
SWT用



※　仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

数　量　表　　1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
本体工	基面整正		A=0.76×1.54 = 1.17	1.2	m2
	基礎砕石	t=100	A=0.76×1.54 = 1.17	1.2	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.56×1.34×0.03 = 0.023	0.02	m3
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	V=0.42×1.20×0.08 = 0.040	0.04	m3
	ハンドホール	420×670×1200	参考重量　W=0.54t	1.0	基
	接地工	A種		1.0	極
	仮蓋	SWT用	560×1340×40mm　概算重量70kg	1.0	組

数　量　表　　1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
土工	床　掘	土砂	V=0.96×1.74×0.73 = 1.22	1.2	m3
	埋　戻	水締め	V=0.96×1.74×0.70- (0.76×1.54×0.10+0.56×1.34×0.60) = 0.60	0.6	m3
処理工	残土処理	土砂	V=1.2-0.6/0.95 = 0.57	0.6	m3
	As殻処理	歩道用			

※ 注 記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(2/5)　S=1:20		
図面番号	全 48 の 12	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

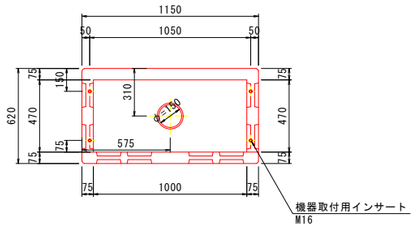
㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

電力系特殊部構造図(3/5)　(A1)S=1:20　(A3)S=1:40

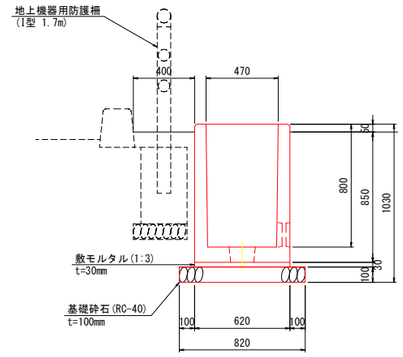
機器用ハンドホール(TR用)（W470×H800×L1000）

設置箇所	
歩道部(左)	TR-L1～TR-L7
歩道部(右)	TR-R1～TR-R3,TR-R4,TR-R5～TR-R10

平面図

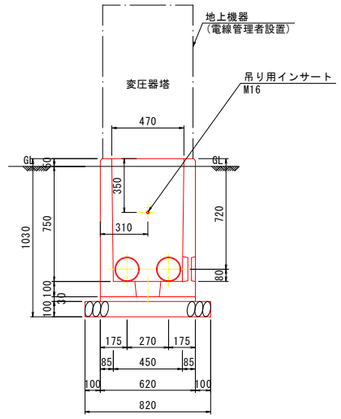


据付一般図

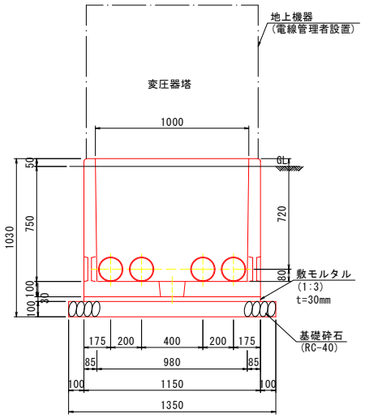


接地工
A種
38mm2

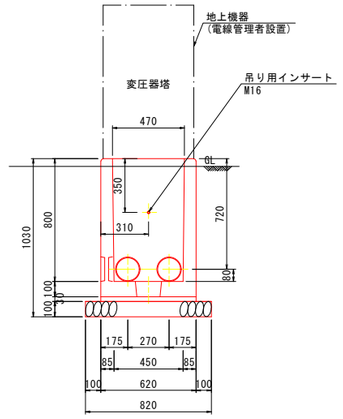
断面図



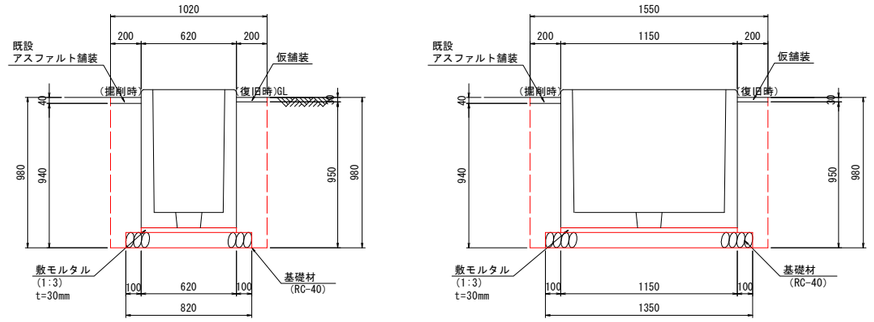
側面図



断面図



土工図



数量表

1箇所あたり

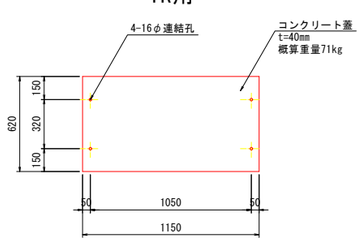
	種目	規格	計算式		数量	単位
本体工	基面整正		A=0.82×1.35	= 1.11	1.1	m2
	基礎砕石	t=200	A=0.82×1.35	= 1.11	1.1	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.62×1.15×0.03	= 0.021	0.02	m3
	ハンドホール	470×800×1000	参考重量 W=0.695t		1.0	基
	接地工	A種			1.0	極
	仮蓋	TR用	620×1150×40,概算重量71kg		1.0	組

数量表

1箇所あたり

	種目	規格	計算式		数量	単位
土工	床掘	土砂	V=1.02×1.55×0.94	= 1.49	1.5	m3
	埋戻	水締め	V=1.02×1.55×0.95−(0.82×1.35×0.10+0.62×1.15×0.85)	= 0.79	0.8	m3
処理工	残土処理	土砂	V=1.5−0.8/0.95	= 0.66	0.7	m3

仮蓋 TR用



※仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

※注記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(3/5) S=1:20		
図面番号	全 48 の 13	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

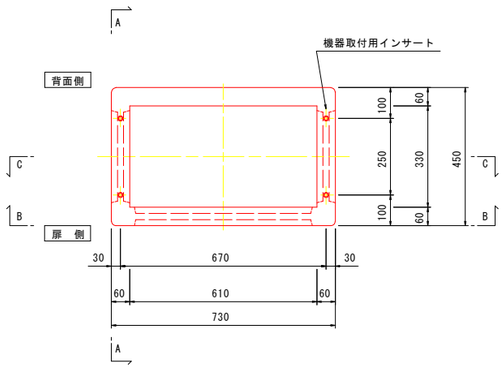
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(4/5)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

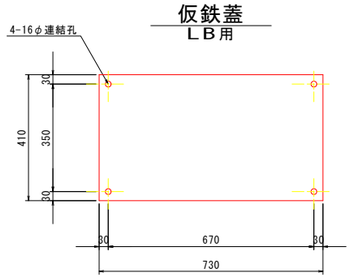
機器用ハンドホール(LB用-底なし)(W330×H650×L610)

設置箇所	
歩道部(左)	LB-L1～LB-L3, LB-L10
歩道部(右)	LB-R4 LB-R8, LB-R11, LB-R12

平　面　図

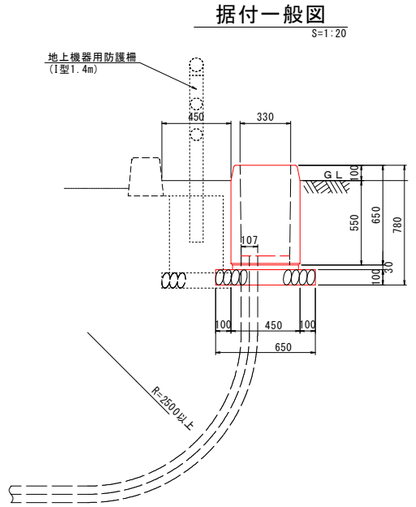


仮鉄蓋 LB用



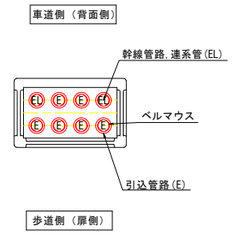
※　仮鉄蓋は機器据付完了時まで設置する。

据付一般図
S=1:20

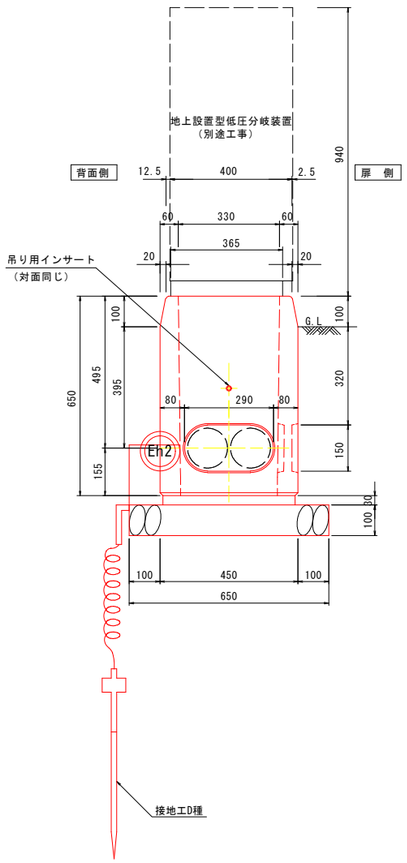


接地工
D種
14mm2

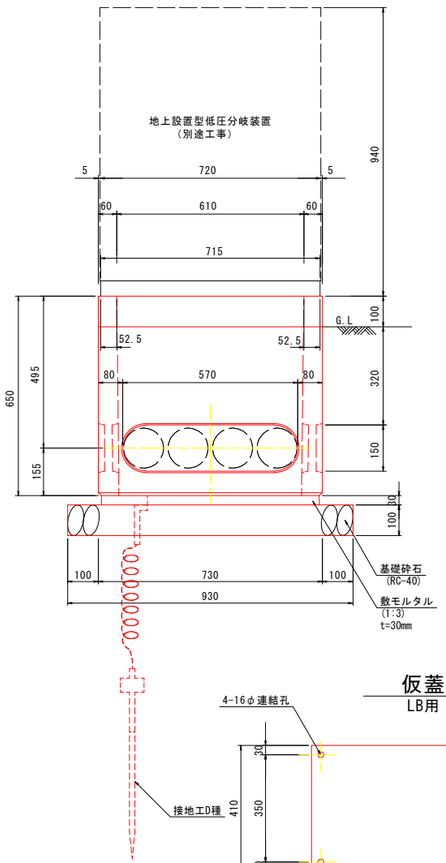
配管要領図



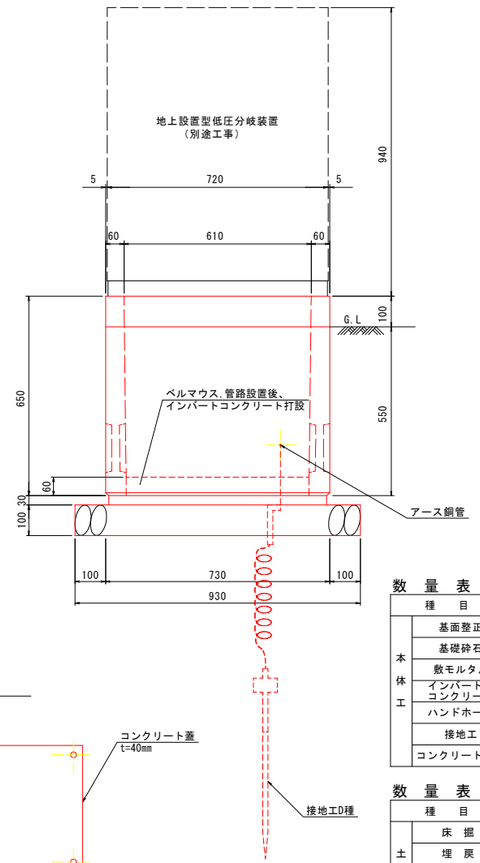
A-A断面



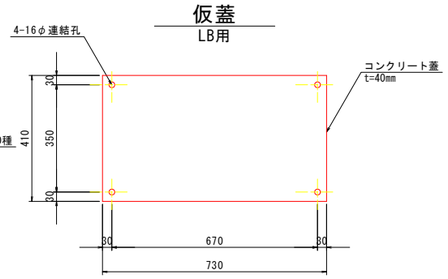
B-B断面



C-C断面

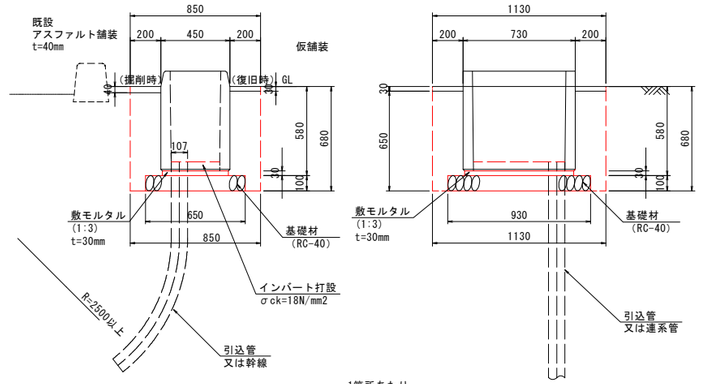


仮蓋 LB用



※　仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

土工図
S=1:20



1箇所あたり

数　量　表

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
本体工	基面整正		A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	基礎砕石	t=100	A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.45×0.73×0.03 = 0.010	0.01	m3
	インバートコンクリート	σck=18N/mm2	V=0.32×0.60×0.06 = 0.012	0.01	m3
	ハンドホール	330×650×610 底なしタイプ	参考重量　W=0.2t	1.0	基
	接地工	D種		1.0	極
	コンクリート仮蓋	LB用	0.41×0.73×0.04, 概算重量30kg	1.0	組

数　量　表

1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
土工	床　掘	土砂	V=0.85×1.13×0.64 = 0.61	0.6	m3
	埋　戻	水締め	V=0.85×1.13×0.65-(0.65×0.93×0.10 +0.45×0.73×0.55) = 0.38	0.4	m3
処理工	残土処理	土砂	V=0.6-0.4/0.95 = 0.18	0.2	m3

ノック孔を設ける場合
150×290　－－－　2個
150×570　－－－　1個
合計　3個

※ 注 記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(4/5)　S=1:10		
図面番号	全 48 の 14	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

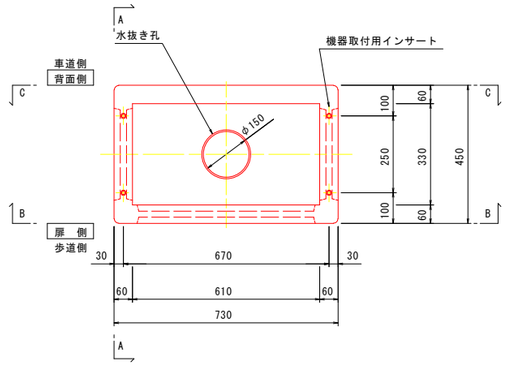
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部構造図(5/5)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

機器用ハンドホール(LB用)(W330×H590×L610)

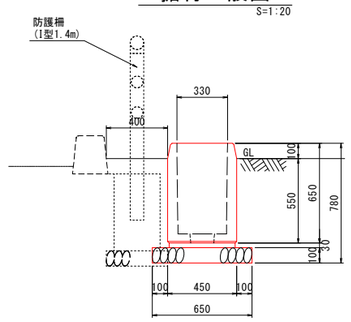
設置箇所	
歩道部(左)	LB-L4～LB-L9
歩道部(右)	LB-R1～LB-R3, LB-R5～LB-R7, LB-R9～LB-R10, LB-R13

平面図

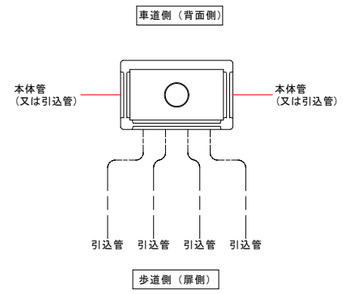


据付一般図

S=1:20

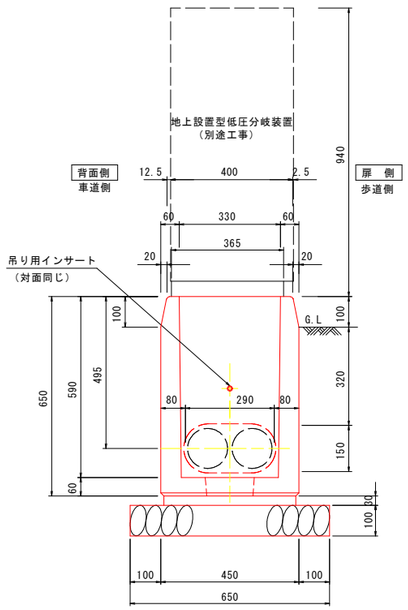


配管要領図

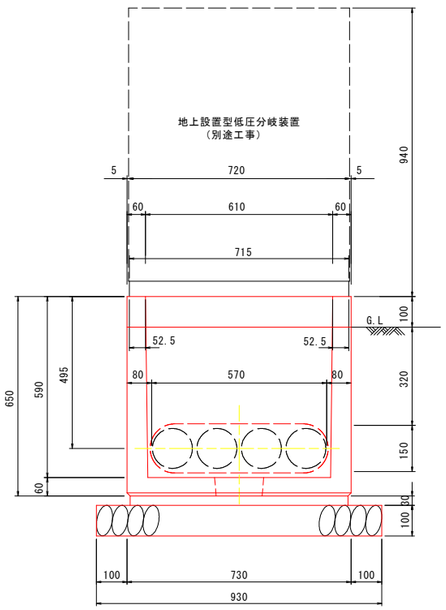


接地工
D種
14mm2

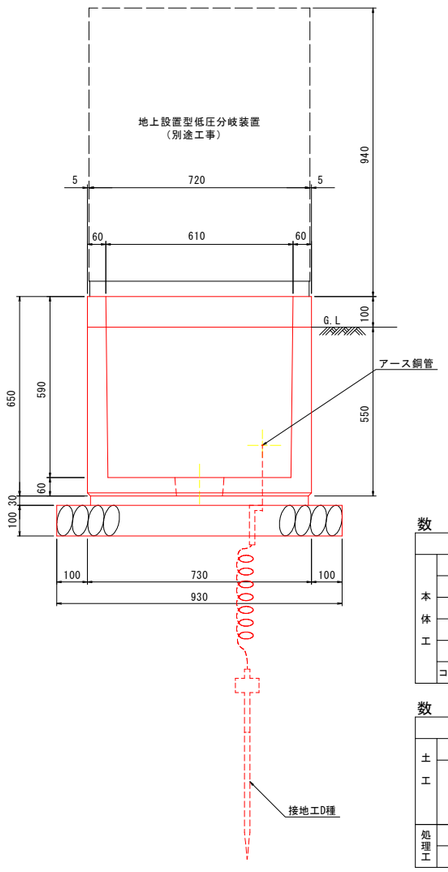
A-A断面



B-B断面

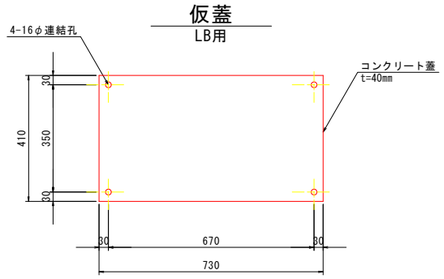


C-C断面



仮蓋

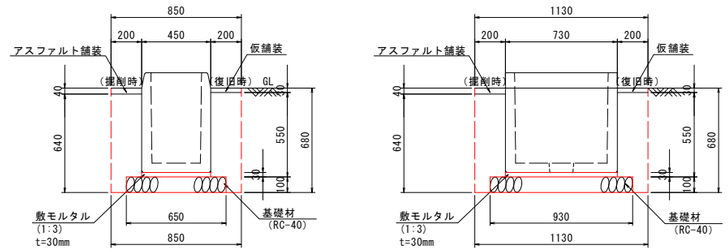
LB用



※　仮蓋は機器据付完了時まで設置する。

土工図

S=1:20



数　量　表

1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
本体工	基面整正		A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	基礎砕石	t=100	A=0.65×0.93 = 0.60	0.6	m2
	敷モルタル	1:3	V=0.45×0.73×0.03 = 0.010	0.01	m3
	ハンドホール	330×590×610	参考重量　W=0.225t	1.0	基
	接地工	D種		1.0	極
	コンクリート仮蓋	LB用	W=0.41×0.73×0.04=30kg	1.0	組

数　量　表

1箇所あたり

種　目		規　格	計　算　式	数　量	単位
土工	床　掘	土砂	V=0.85×1.13×0.64 = 0.61	0.6	m3
	埋　戻	水締め	V=0.85×1.13×0.65 −(0.65×0.93×0.10+0.45×0.73×0.55) = 0.38	0.4	m3
処理工	残土処理	土砂	V=0.6−0.4/0.95 = 0.18	0.2	m3

※ 注 記

1.）電力系器機用ハンドホールの設置について『九州地区電線共同マニュアル（案）R2.3改訂版』に準拠する事。

2.）電力系器機用ハンドホール部の設置箇所は、監督職員と協議の上、試掘調査を実施し地下埋設物の確認を行う事。

工　事　名	唐湊線(都元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　都元一丁目		
図面種類	電力系特殊部構造図(5/5)　S=1:10		
図面番号	全 48 の 15	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

通信系特殊部構造図(1/3)　(A1)S=1:20　(A3)S=1:40

T-3型【基点接続用】(W950xH1500xL2200)

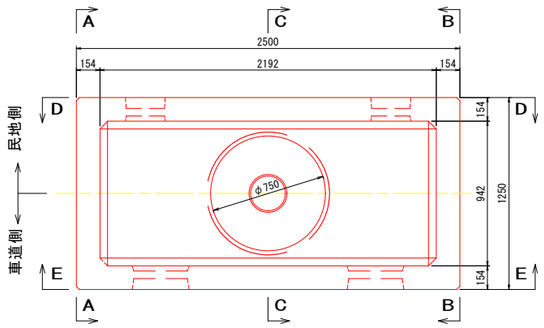
設置箇所		
歩道部	首部高 H=250	LT01,LT12,LT14,RT04,RT20
	首部高 H=750	RT01
車道部	首部高 H=250	LT11,LT17,RT23

設計条件

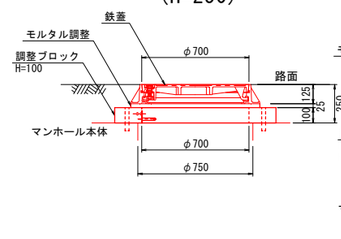
設計荷重	活荷重		245kN(T-25荷重)
	衝撃係数	土被り1m未満	0.4
		土被り1m以上	0.3
内空寸法 (幅×高×長)			950×1500×2200 mm
土の単位重量			19kN/m3(1.9tf/m3)
土圧係数			0.5
使用材料			
コンクリート			σ=30N/mm2以上
鉄筋			SD295A

構造物本体分割参考重量	
本体 B1(下部材)	3,290 Kg
本体 B2(上部材)	2,665 Kg
調整ﾘﾝｸﾞ(土被450)	312 Kg
鋳鉄蓋φ750 シリンダー錠対応型	105 Kg

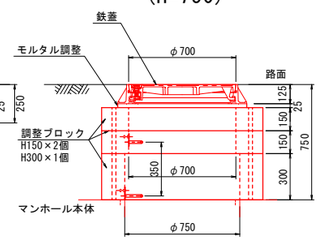
平面図



首部高さ図 (H=250)

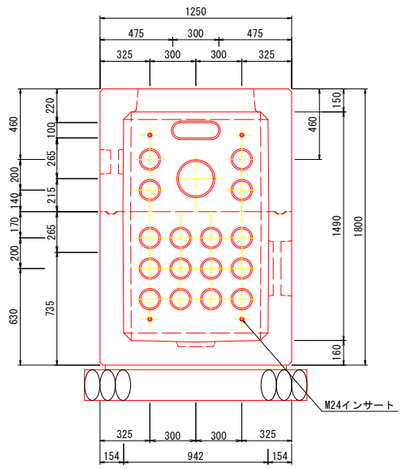


首部高さ図 (H=750)

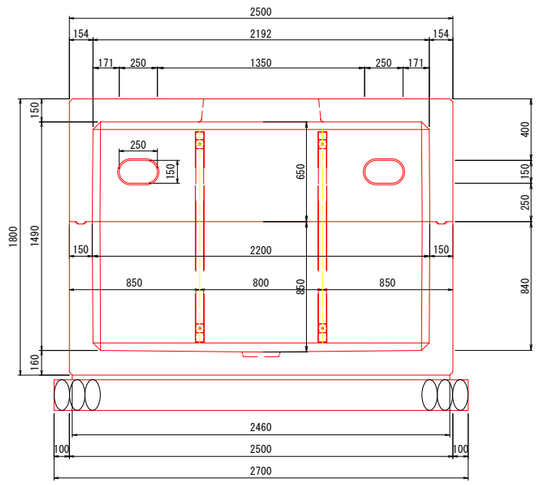


正面図 A-A

民地側　　車道側

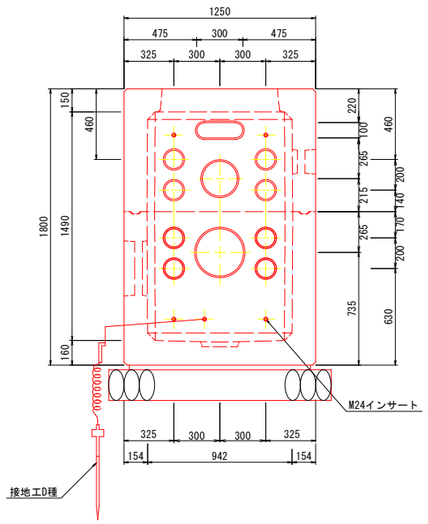


民地側側面図 D-D

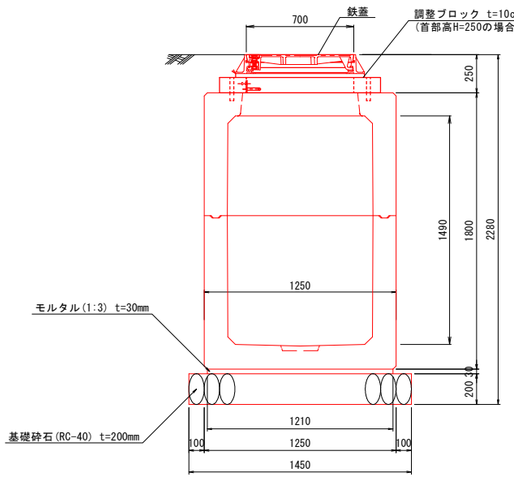


正面図 B-B

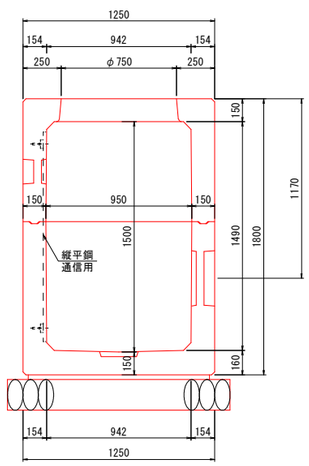
車道側　　民地側



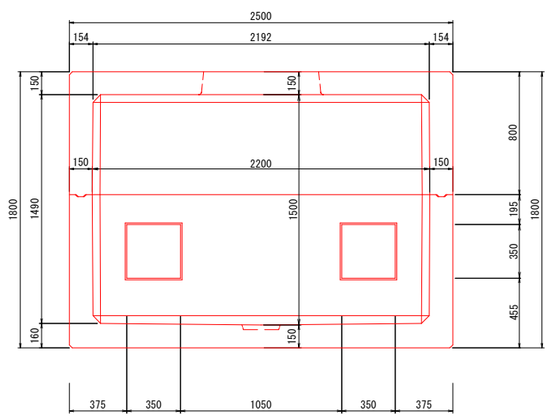
据付一般図 (H=250の場合)



断面図 C-C



車道側側面図 E-E



接地工
D種
14mm2

数量表

1箇所あたり

種目		規格	計算式		数量	単位
本体工	基面整正		A=2.70×1.45	= 3.92	3.9	m2
	基礎砕石	t=200	A=2.70×1.45	= 3.92	3.9	m2
	敷モルタル	1:3	V=2.46×1.21×0.03	= 0.09	0.09	m3
	マンホール	950×1500×2200	参考重量 W=5.96t		1.0	基
	調整ブロック	(下表による)			1.0	組
	鉄蓋	T-25	参考重量 W=0.10t		1.0	組
	接地工	D種			1.0	極

調整ブロック 数量表

首部高	鉄蓋	調整ブロック 規格・数量			単位
	H150	φ750 H=100	φ750 H=150	φ750 H=300	
H250	1	1	—	—	個
H750	1	—	2	1	個

※注記

1) 通信系特殊部の設置について『九州地区電線共同マニュアル(案) R2.3改訂版』に準拠する事。
2) 通信系特殊部の設置箇所は、監督職員及び既存埋設管の管理事業者と協議の上、地下埋設物を確認の上、施工する事。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系特殊部構造図(1/3) S=1:20		
図面番号	全 48 の 16	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

通信系特殊部構造図(2/3)

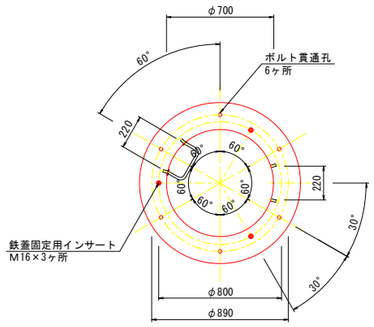
調整ブロック,ステップ

通信系特殊部用 φ700調整ブロック

(T-1, T-3用)

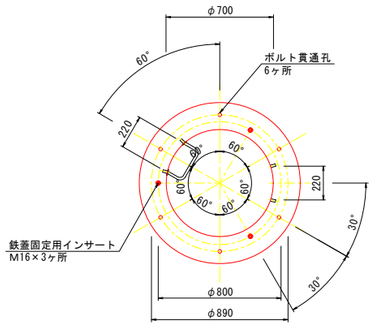
(A1)S=1:20 (A3)S=1:40

平面図 (H=100)



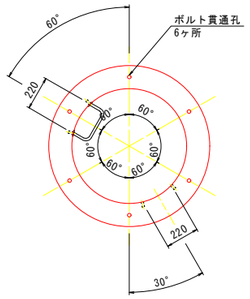
重量 118kg

平面図 (H=150)

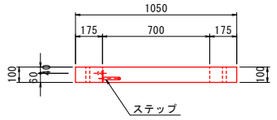


重量 177kg

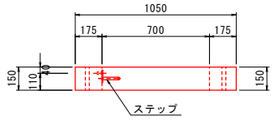
平面図 (H=300)



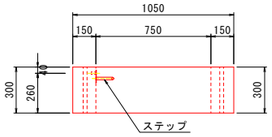
側面図 (H=100)



側面図 (H=150)



側面図 (H=300)



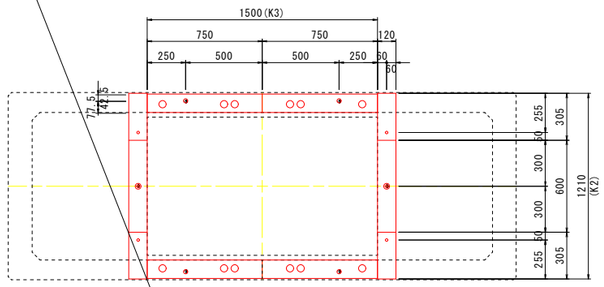
※本体と調整ブロックは、ボルトのほかエポキシ系樹脂で接合すること。

通信系特殊部用 調整ブロック

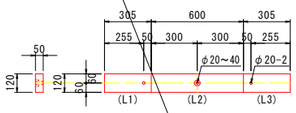
(T-2用)

(A1)S=1:20 (A3)S=1:40

平面図



調整ブロックK2(L=1210)950用

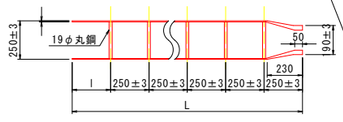


調整ブロックK3(L=1500)

マンホール鉄はしご

(A1)S=1:20 (A3)S=1:40

平面図



側面図



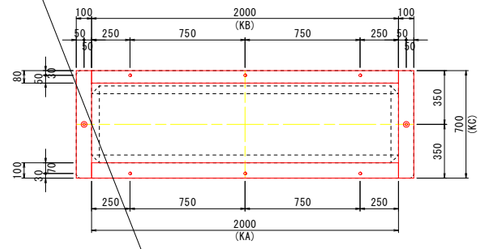
品　名	マンホール鉄はしご				
種　別	L(mm)	l(mm)	備　考	箱型またはボックス	U型断面
1 号	1600±5	100±2	FB6×32	箱型 H=1400	
2 号	1800±5	50±2	FB6×32	S3MH用、次世代CCB用MH H=1500	
3 号	2200±5	200±2	FB6×32	車道MH	

通信系特殊部用 調整ブロック

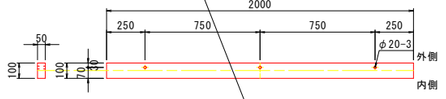
(T-4用)

(A1)S=1:20 (A3)S=1:40

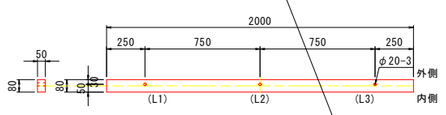
平面図



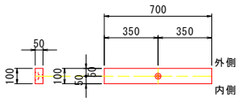
調整ブロックKA(L=2000)



調整ブロックKB(L=2000)



調整ブロックKC(L=700)

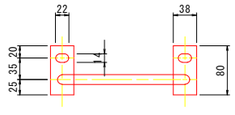


ステップ詳細図

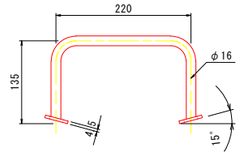
(丸蓋用)

(A1)S=1:5 (A3)S=1:10

平面図



側面図



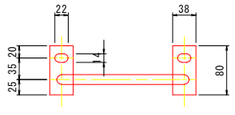
材　　質　JIS G 3101 SS400（一般構造用圧延鋼材）
表面処理　JIS H 3641 HDZ-55（溶融亜鉛メッキ）

ステップ詳細図

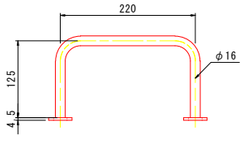
(角蓋用)

(A1)S=1:5 (A3)S=1:10

平面図



側面図



材　　質　JIS G 3101 SS400（一般構造用圧延鋼材）
表面処理　JIS H 3641 HDZ-55（溶融亜鉛メッキ）

工 事 名	唐津線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系特殊部構造図(2/3) S=図示		
図面番号	全 48 の 17	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

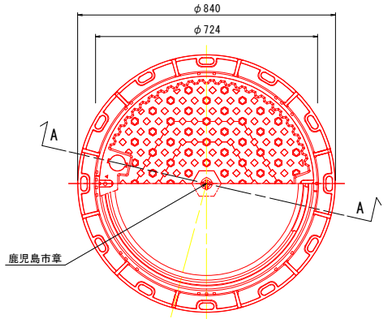
通信系特殊部構造図(3/3)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

通信系特殊部鉄蓋

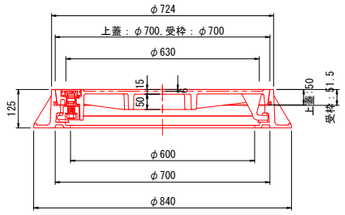
通信系特殊部用　φ700丸型鉄蓋
(T-1, T-3用)

車道用

平面図

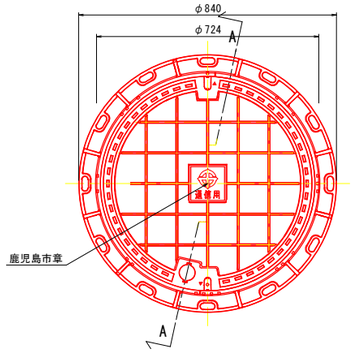


A-A断面図

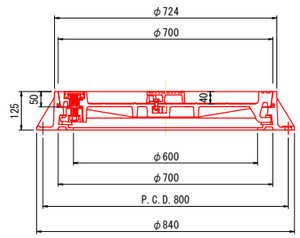


歩道用

平面図

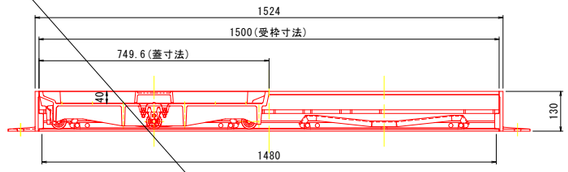


A-A断面図

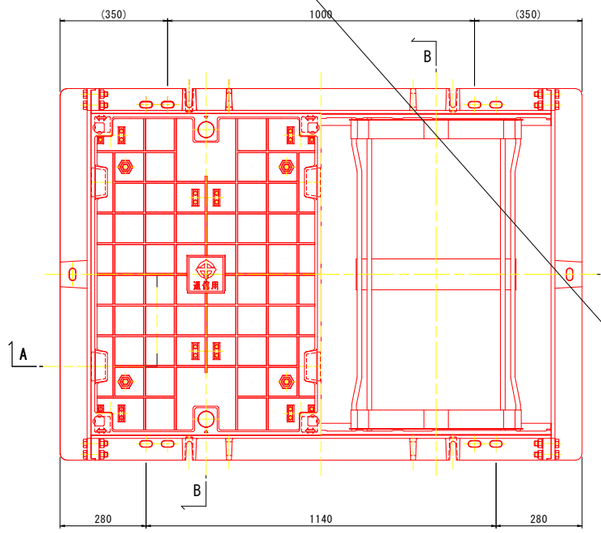


T-2用丸型鉄蓋

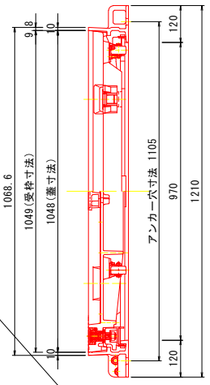
A-A断面図



平面図

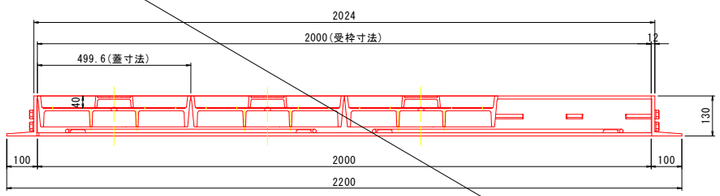


B-B断面図

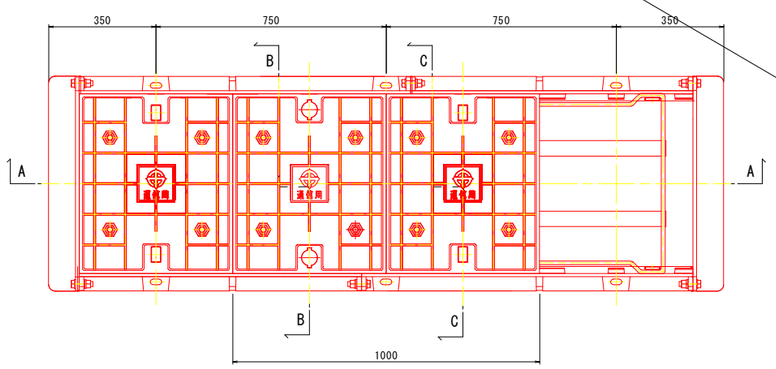


T-4用角型鉄蓋

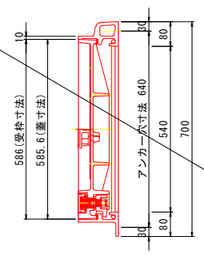
A-A断面図



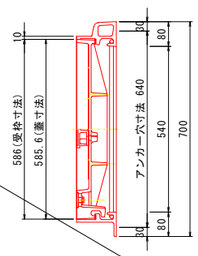
平面図



B-B断面図



C-C断面図



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系特殊部構造図(3/3)　S=1:10		
図面番号	全 48 の 18	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(1/5)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

左側

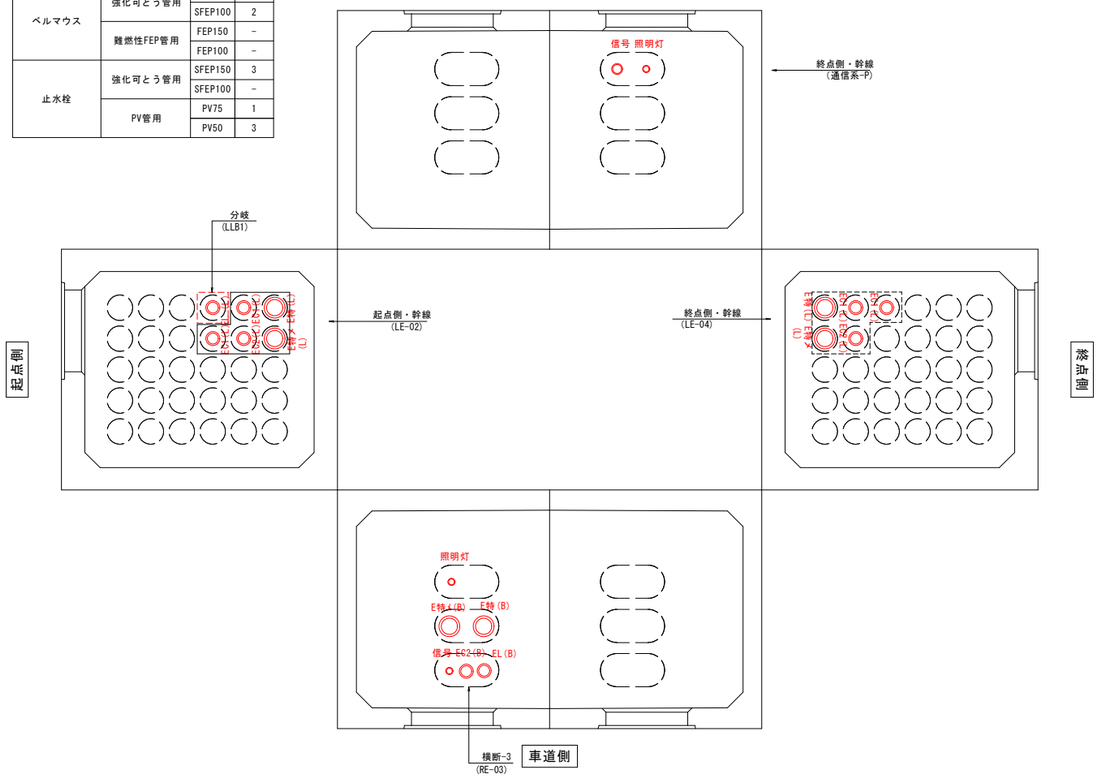
名　称	LE03
型　式	A-3型マンホール W1800×H2100×L4000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	4
		SFEP100	7
ダクトスリーブ	φ75PV管用	PV75	1
	φ50PV管用	PV50	3
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	2
		SFEP100	2
	難燃性FEP管用	FEP150	－
		FEP100	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	3
		SFEP100	－
	PV管用	PV75	1
		PV50	3

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス

民地側



起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	2
	EC2	SFEP	100	1
	EL	SFEP	100	1
連　系				
分　岐				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	信号	PV	75	1
	照明灯	PV	50	1
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC2	SFEP	100	1
	EL	SFEP	100	1
	信号	PV	50	1
	照明灯	PV	50	1
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	2
	EC2	SFEP	100	1
連　系				
引　込				

右側

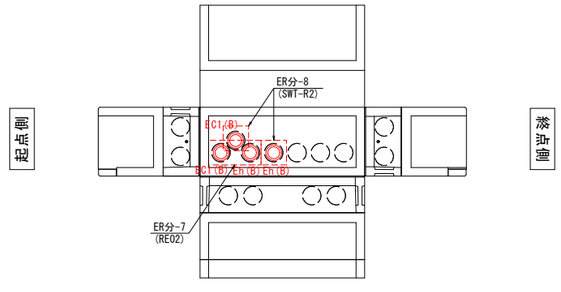
名　称	予備SWT-R1
型　式	機器用ハンドホール(SWT用) Kブロック付き W420×H750×L1200

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	4
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス

車道側



民地側

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

底面

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	SFEP	100	2
	EC1	SFEP	100	2
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(1/5)　S=1:25		
図面番号	全 48 の 19	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(2/5)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

右側

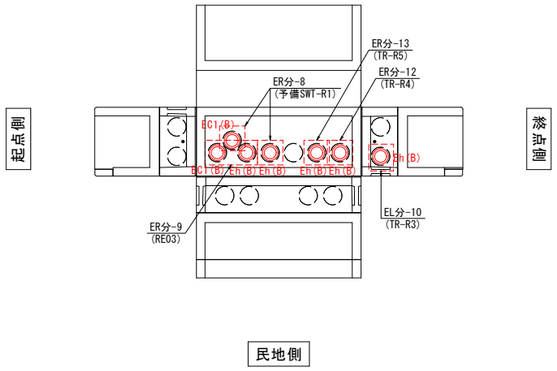
名　称	SWT-R2
型　式	機器用ハンドホール(SWT用) Kブロック付き W420×H750×L1200

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	6
	難燃性FEP管用	FEP100	1
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス

車道側



民地側

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

底面

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	SFEP	100	4
	EC1	SFEP	100	2
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	FEP	100	1
連　系				
引　込				

右側

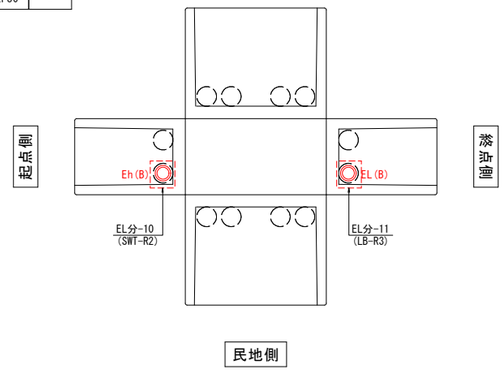
名　称	TR-R3
型　式	機器用ハンドホール(TR用) 470×800×1000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	2
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス

車道側



民地側

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	FEP	100	1
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	EL	FEP	100	1
連　系				
引　込				

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(2/5)　S=1:25		
図面番号	全 48 の 20	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(3/5)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

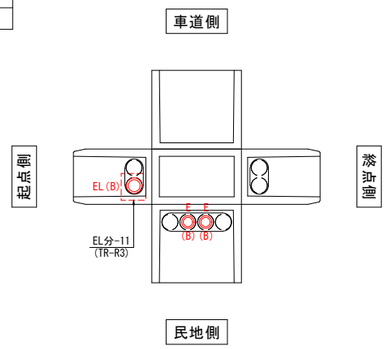
右側

名　称	LB-R3
型　式	機器用ハンドホール(LB用) 330×590×610

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	1
		FEP80	2
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	EL	FEP	100	1
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込	E	FEP	80	2

終点側

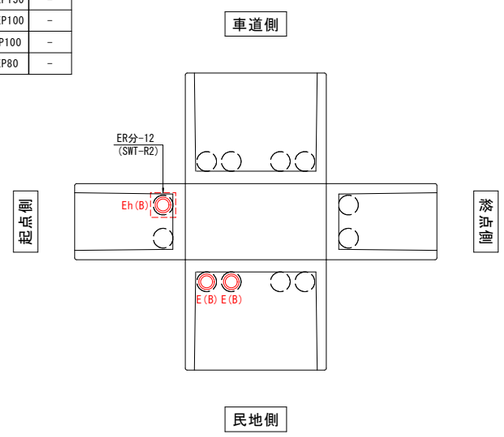
区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

名　称	TR-R4
型　式	機器用ハンドホール(TR用) 470×800×1000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	3
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	Eh	FEP	100	1
連　系				
引　込				

車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込	E	FEP	100	2

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(3/5)　S=1:25		
図面番号	全 48 の 21	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(4/5)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

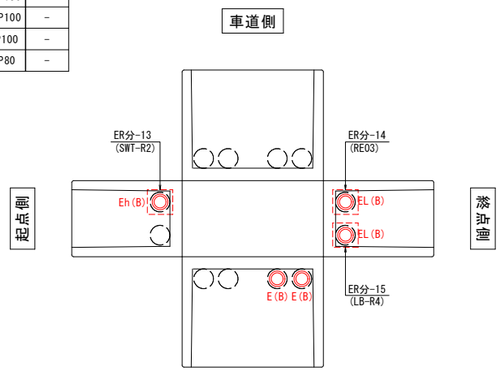
区分	記号	企業名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

名称	TR-R5
型式	機器用ハンドホール(TR用) 470×800×1000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名称	規格		数量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	5
		FEP80	－
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



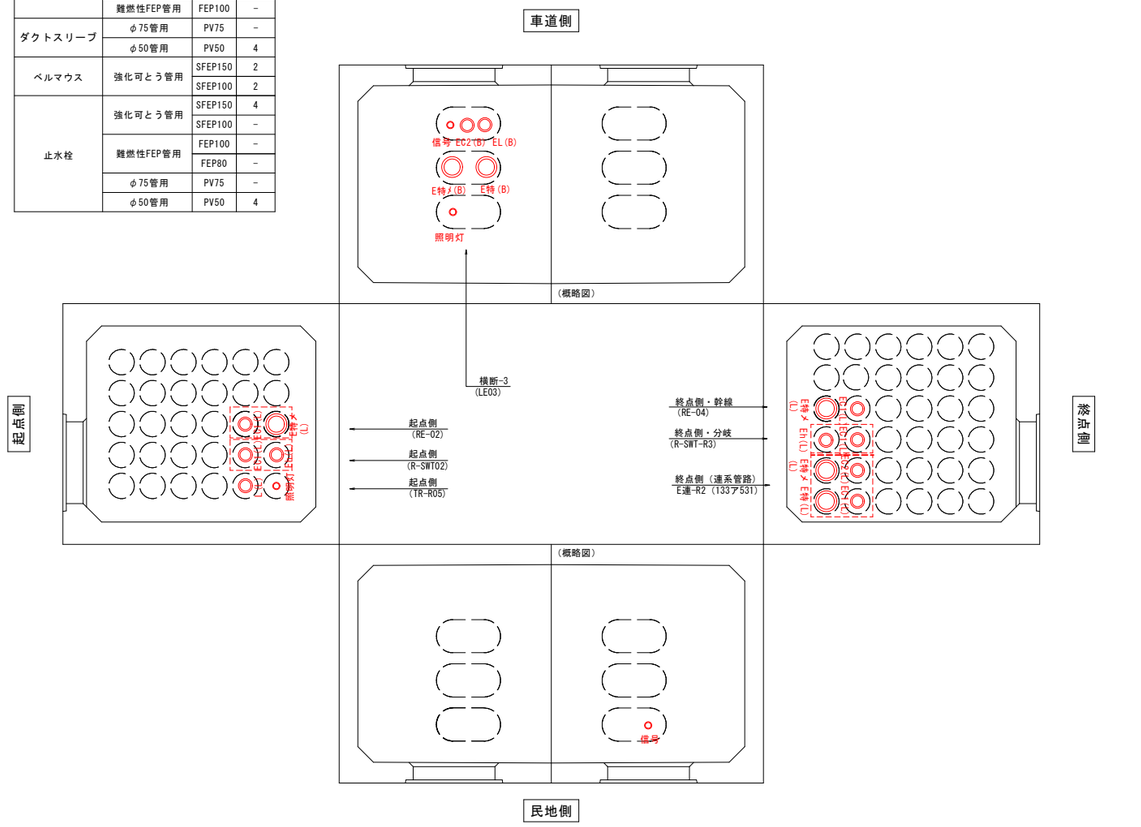
右側

名称	RE03
型式	A-3型マンホール W1800×H2100×L4000

※ 管種，管径は下表を参照すること

名称	規格		数量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	4
		SFEP100	9
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ダクトスリーブ	φ75管用	PV75	－
	φ50管用	PV50	4
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	2
		SFEP100	2
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	4
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－
	φ75管用	PV75	－
	φ50管用	PV50	4

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体	Eh	FEP	100	1
連系				
引込				

車道側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体				
連系				
引込				

民地側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体				
連系				
引込	E	FEP	100	2

終点側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体	EL	FEP	100	2
連系				
引込				

起点側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	1
連系				
分岐	Eh	SFEP	100	1
	EC1	SFEP	100	1
	EL	SFEP	100	1
	照明灯	PV	50	1

車道側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC2	SFEP	100	1
	EL	SFEP	100	1
	信号	PV	50	1
	照明灯	PV	50	1
連系				
引込				

民地側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体				
連系				
引込	信号	PV	50	1

終点側

区分	記号	管種	管径	孔数
本体	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	1
連系	E特	SFEP	150	1
	E特メ	SFEP	150	1
	EC1	SFEP	100	1
	EC2	SFEP	100	1
分岐	EC1	SFEP	100	1
	Eh	SFEP	100	1
引込				

工事名	唐津線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(4/5)S=1:25		
図面番号	全 48 の 22	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系特殊部展開図(5/5)　(A1)S=1:25　(A3)S=1:50

右側

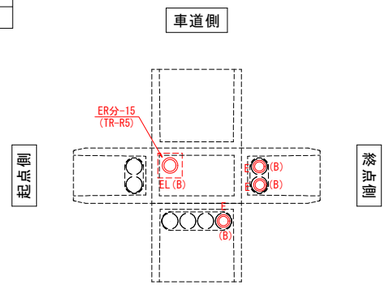
区分	記号	企　業　名	管材
電力系	E特	九州電力	(S)FEPφ150
	E特メ	九州電力	(S)FEPφ150
	Eh	九州電力	(S)FEPφ100
	EL	九州電力	(S)FEPφ100
	EC1	九州電力	(S)FEPφ100
	EC2	九州電力	(S)FEPφ100
	E	九州電力	(S)FEPφ80

名　称	LB-R4
型　式	機器用ハンドホール(LB用) 330×650×610　※底なし

※ 管種，管径は下表を参照すること

名　称	規　格		数　量
ロングベルマウス	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
ベルマウス	強化可とう管用	SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	1
		FEP80	3
止水栓	強化可とう管用	SFEP150	－
		SFEP100	－
	難燃性FEP管用	FEP100	－
		FEP80	－

【凡例】
(L)：ロングベルマウス
(B)：ベルマウス



起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

底面

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	EL	FEP	100	1
連　系				
引　込				

民地側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込	E	FEP	80	1

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込	E	FEP	80	2

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系特殊部展開図(5/5)　S=1:25		
図面番号	全 48 の　23	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

通信系特殊部展開図

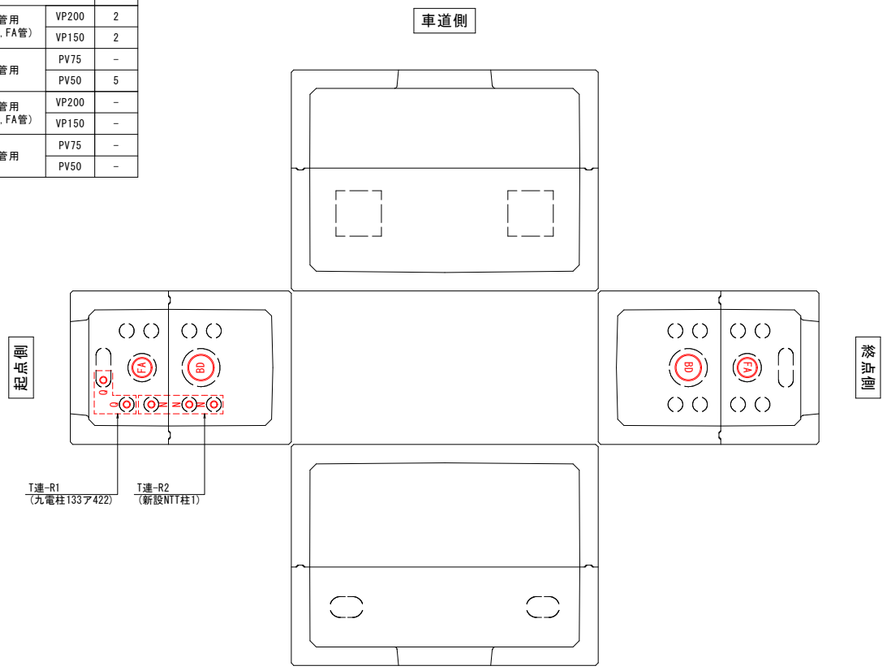
(A1)S=1:25 (A3)S=1:50

右側

区分	記号	企　業　名	管種・管径
通信系	BD	ボディ管	VPφ200, φ150
	FA	共用FA管	VPφ150
	N	西日本電信電話株式会社(NTT西日本)	PVφ75, φ50
	Q	株式会社QTnet	PVφ75, φ50
	B	BTV株式会社	PVφ50
	メ	メンテナンス管	PVφ50
	P	鹿児島県警	PVφ75, φ50

名　称	RT04
型　式	T-3型(基点接続用) W950xH1500xL2200

名　称	規　格		数　量
ダクトスリーブ	VP管用 (BD管,FA管)	VP200	2
		VP150	2
	PV管用	PV75	−
		PV50	5
止水栓	VP管用 (BD管,FA管)	VP200	−
		VP150	−
	PV管用	PV75	−
		PV50	−



車道側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

起点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	BD	VP	200	1
	FA	VP	150	1
連　系	N	PV	50	3
	Q	PV	50	2
引　込				

終点側

区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体	BD	VP	200	1
	FA	VP	150	1
連　系				
引　込				

民地側

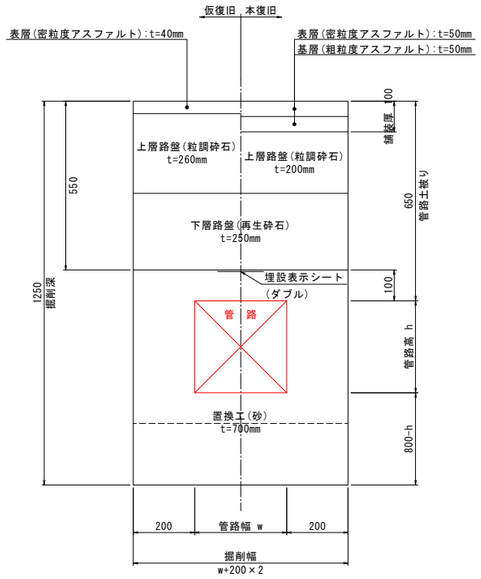
区　分	記　号	管　種	管　径	孔　数
本　体				
連　系				
引　込				

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系特殊部展開図 S=1:25		
図面番号	全 48 の 24	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

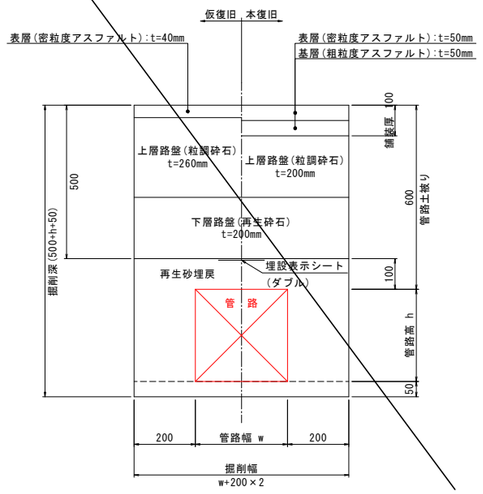
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

標準管路断面図　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

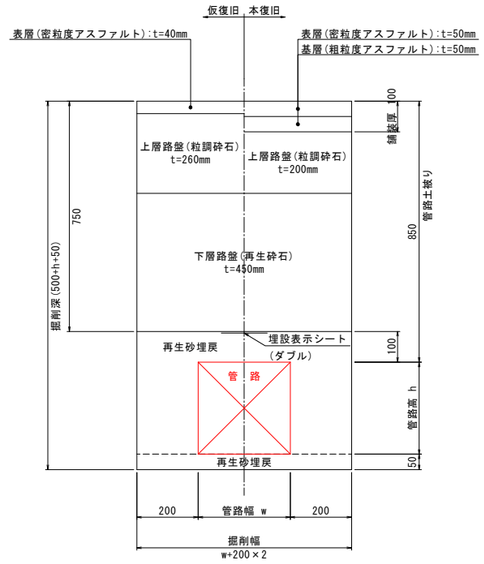
唐湊線車道舗装区間1
(BP～NO.19)
(下り線(鹿大側))
※区間内の取付市道車道舗装



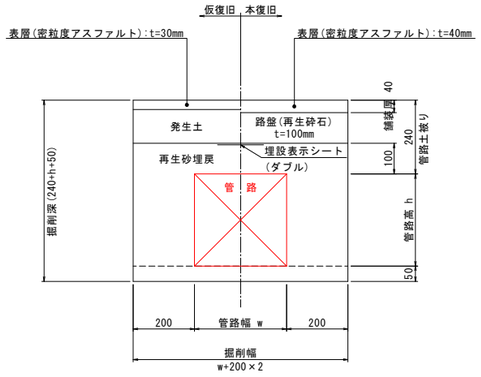
唐湊線車道舗装区間2
(NO.19～NO.50)
(上下線共)
※区間内の取付市道車道舗装



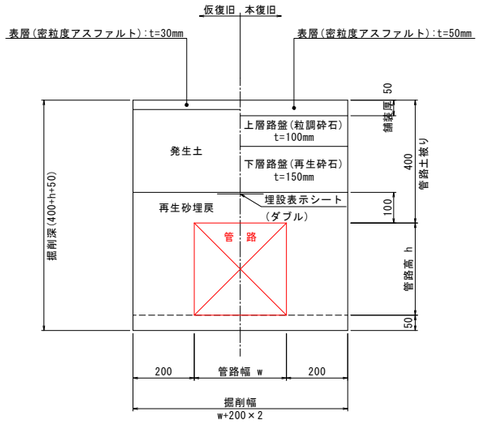
唐湊線車道舗装区間3
(NO.19～BP)
※区間内の取付市道車道舗装



歩道舗装
(標準部)



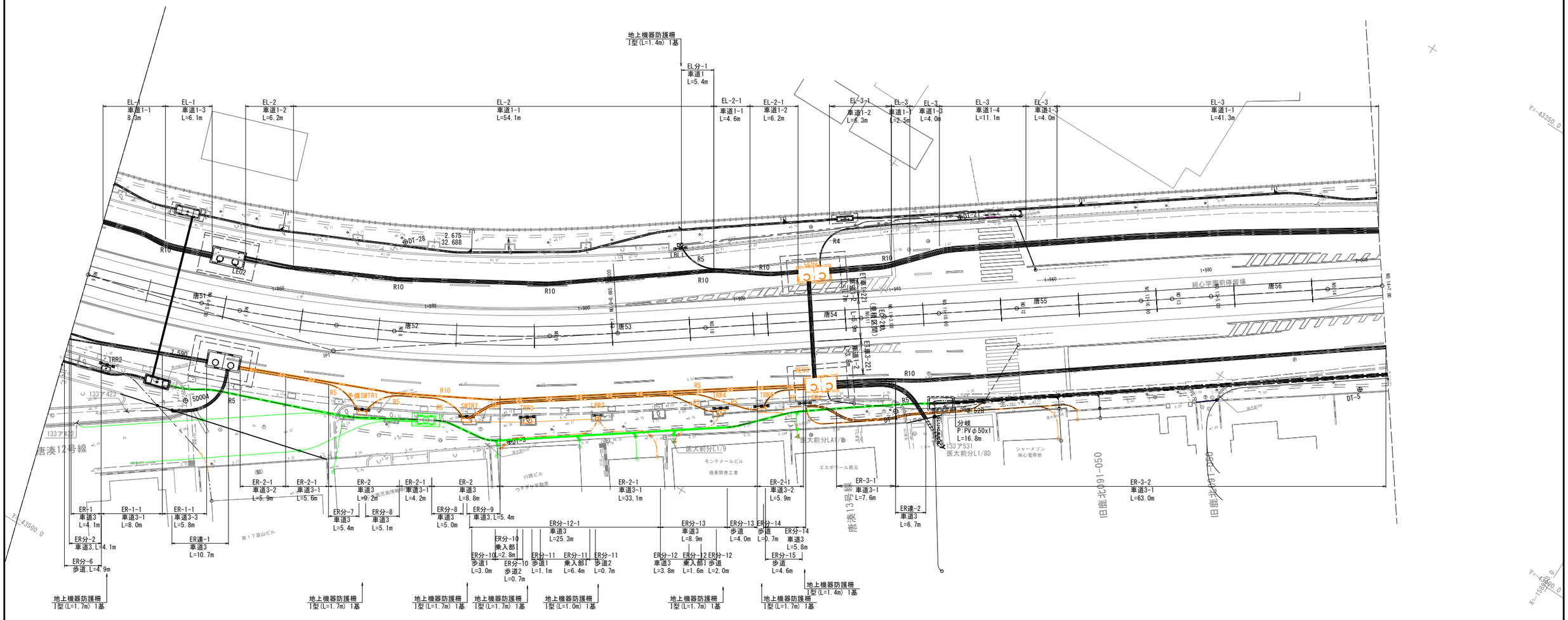
乗入部舗装Ⅰ
(全区間)



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	標準管路断面図　S=1:10		
図面番号	全 48 の 25	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

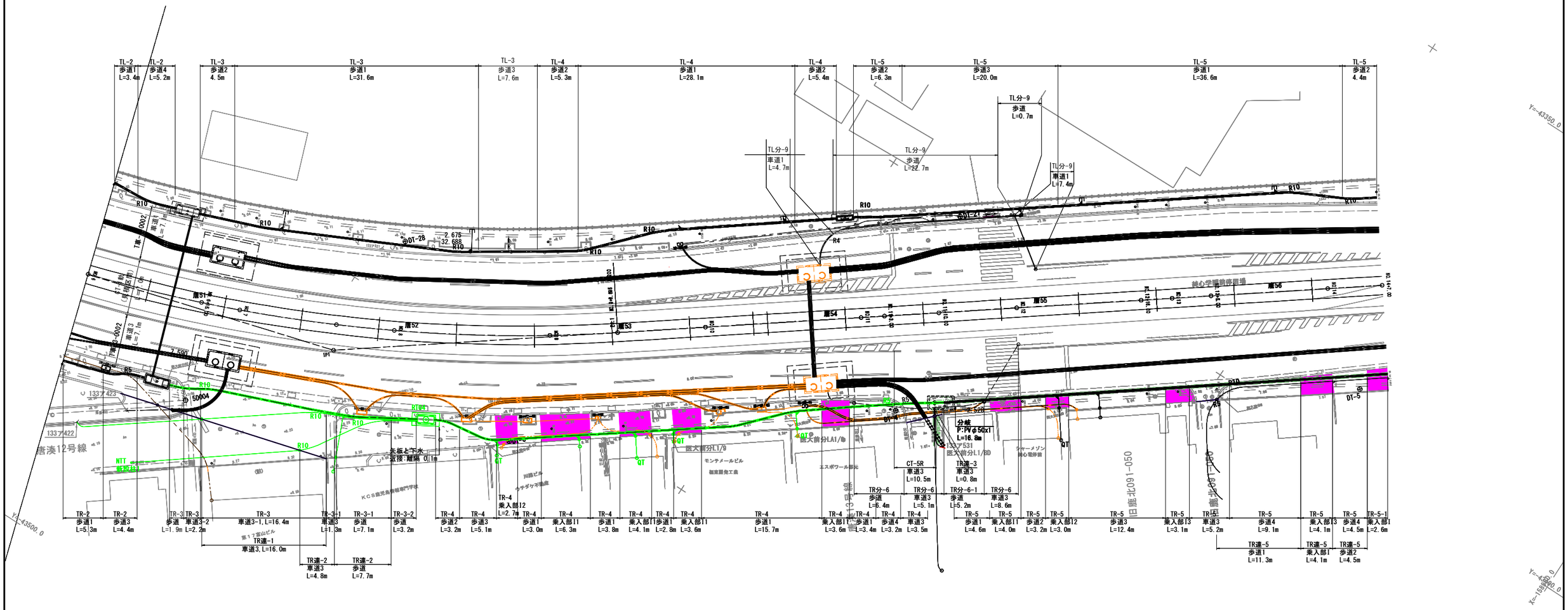
電力系管路工平面図　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【NO.6～NO.14+7.0】



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工平面図　S=1:250		
図面番号	全 48 の 26	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

通信系管路工平面図　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500
【NO.6～NO.14+7.0】



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系管路工平面図　S=1:250		
図面番号	全 48 の 27	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

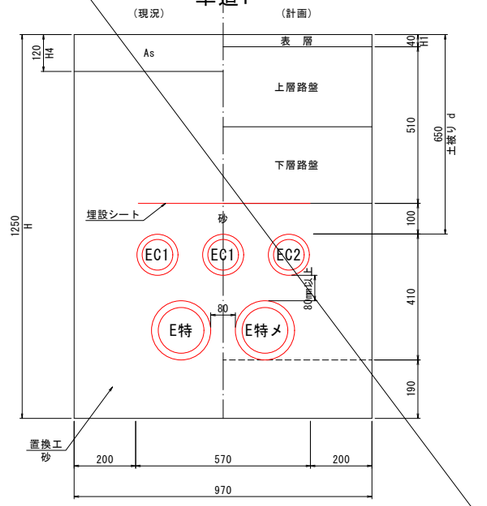
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系管路工断面図(1/2)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

左側

電力系幹線

EL-3
LE03～LE04
車道1



SFEPφ150x2
SFEPφ100x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道1-1	650	40	0	0	120	1250
車道1-2	910	40	260	0	120	1510
車道1-3	1060	40	410	0	120	1660
車道1-4	1470	40	820	0	120	2070
車道1-5	1300	40	650	0	120	1900

※H2:砂の厚さ

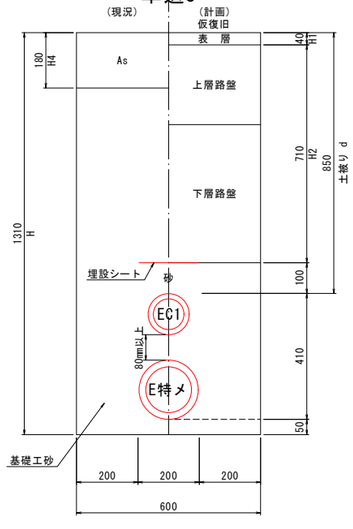
1m当り

	計算式	数量	単位
車道1-1			
床掘	0.97*(1.25-0.12)	1.10	m3
埋戻し(砂)		-	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除		-	m2
車道1-2			
床掘	0.97*(1.51-0.12)	1.35	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.26-0.06	0.19	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.029*2	0.06	m2
車道1-3			
床掘	0.97*(1.66-0.12)	1.49	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.41-0.10	0.30	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2
車道1-4			
床掘	0.97*(2.07-0.12)	1.89	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.82-0.10	0.70	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2
車道1-5			
床掘	0.97*(1.90-0.12)	1.73	m3
埋戻し(砂)	0.97*0.65-0.10	0.53	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029*2	0.10	m2

右側

電力系幹線

ER-2
RE02～RE03
車道3



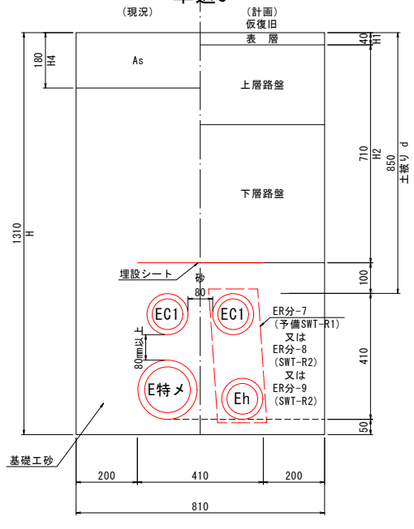
SFEPφ150x1
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1310

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.31-0.18)	0.68	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.41+0.10)-0.04	0.30	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014+SFEP:0.029	0.04	m2

ER-2-1
RE02～RE03
車道3



SFEPφ150x1
SFEPφ100x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3-1	850	40	710	0	180	1310
車道3-2	1520	40	710	670	180	1980

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3-1			
床掘	0.81*(1.31-0.18)	0.92	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2
車道3-2			
床掘	0.81*(1.98-0.18)	1.46	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.41+0.10)-0.07	0.38	m3
埋戻し(発生土)	0.81*0.67	0.54	m3
管路控除	SFEP:0.014*3+SFEP:0.029	0.07	m2

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工断面図(1/2) S=1:10		
図面番号	全 48 の 28	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

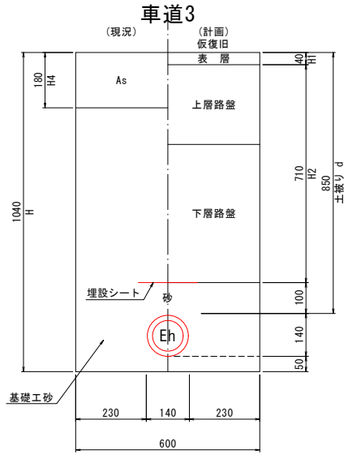
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

電力系管路工断面図(2/2)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

右側

電力系分岐

ER分-12
SWT-R2～TR-R4
車道3



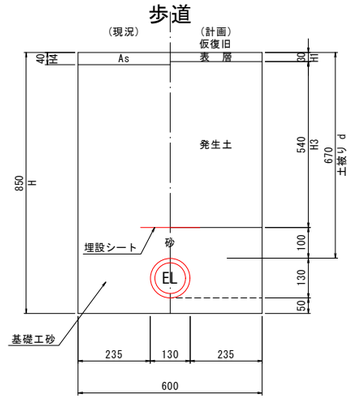
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1040

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.04-0.18)	0.52	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.14+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014	0.01	m2

ER分-12
SWT-R2～TR-R4
歩道



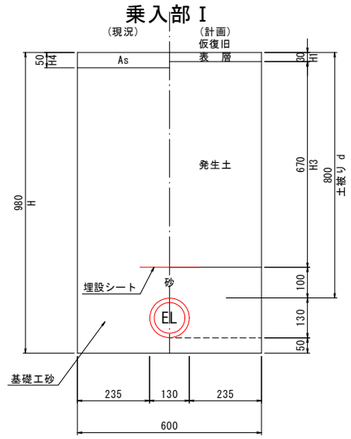
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	670	30	0	540	40	850

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*(0.85-0.04)	0.49	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.54	0.32	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-12
SWT-R2～TR-R4
乗入部Ⅰ



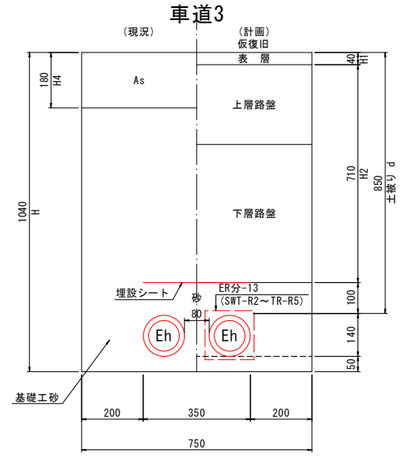
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
乗入部Ⅰ	800	30	0	670	50	980

1m当り

	計算式	数量	単位
乗入部Ⅰ			
床掘	0.60*(0.98-0.05)	0.56	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.67	0.40	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-12-1
SWT-R2～TR-R4
車道3



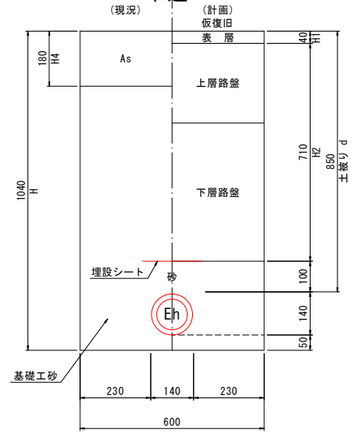
SFEPφ100x2

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1040

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.75*(1.04-0.18)	0.65	m3
埋戻し(砂)	0.75*(0.05+0.14+0.10)-0.03	0.19	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014*2	0.03	m2

ER分-13
SWT-R2～TR-R5
車道3



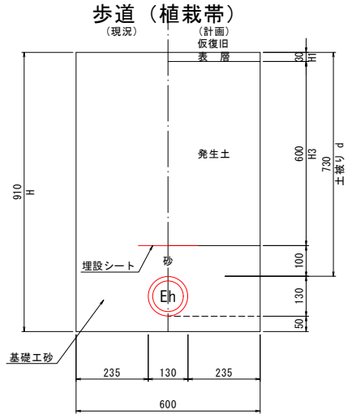
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1040

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.04-0.18)	0.52	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.14+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	SFEP:0.014	0.01	m2

ER分-13
SWT-R2～TR-R5
歩道（植栽帯）



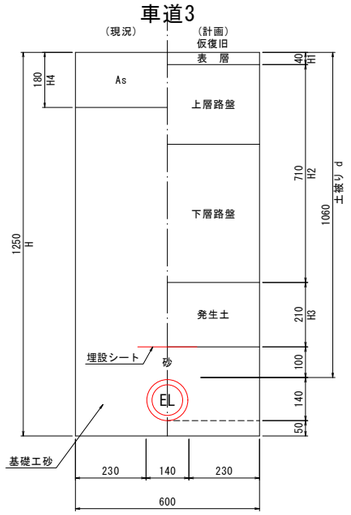
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	730	30	0	600	40	910

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*0.91	0.55	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.60	0.36	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-14
TR-R5～RE03
車道3



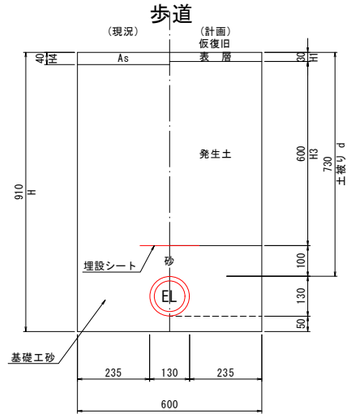
SFEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	1060	40	710	210	180	1250

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.25-0.18)	0.64	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.14+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.21	0.13	m3
管路控除	SFEP:0.014	0.01	m2

ER分-14
TR-R5～RE03
歩道



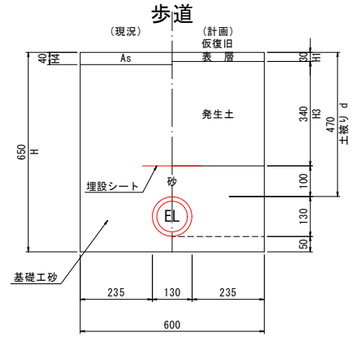
FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	730	30	0	600	40	910

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*(0.91-0.04)	0.52	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.60	0.36	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

ER分-15
TR-R5～LB-R4
歩道



FEPφ100x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	470	30	0	340	40	650

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*(0.65-0.04)	0.37	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.13+0.10)-0.01	0.16	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.34	0.20	m3
管路控除	FEP:0.013	0.01	m2

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路工断面図(2/2) S=1:10		
図面番号	全 48 の 29	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

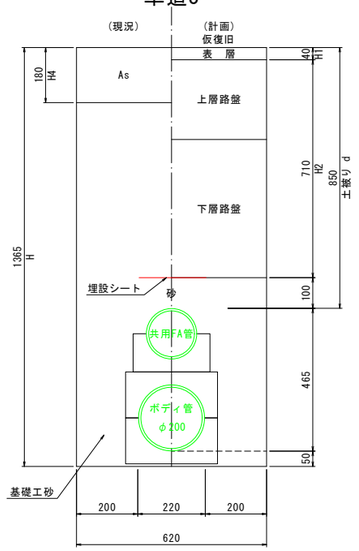
㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

通信系管路工断面図(1/2) (A1)S=1:10 (A3)S=1:20

右側

通信系幹線

TR-3
RT03～RT04
車道3



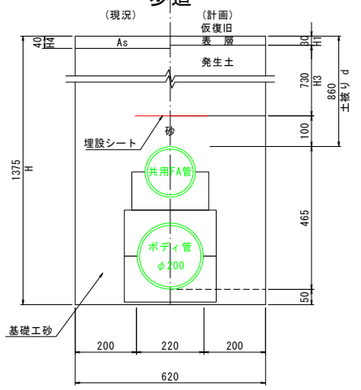
VPφ200x1
VPφ150x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3-1	850	40	710	0	180	1365
車道3-2	880	40	710	30	180	1395

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3-1			
床掘	0.62*(1.365-0.18)	0.73	m3
埋戻し(砂)	0.62*(0.05+0.465+0.10)-0.06	0.32	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	VP:0.02+VP0.04	0.06	m2
車道3-2			
床掘	0.62*(1.395-0.18)	0.75	m3
埋戻し(砂)	0.62*(0.05+0.465+0.10)-0.06	0.32	m3
埋戻し(発生土)	0.62*0.03	0.02	m3
管路控除	VP:0.02+VP0.04	0.06	m2

TR-3
RT03～RT04
歩道



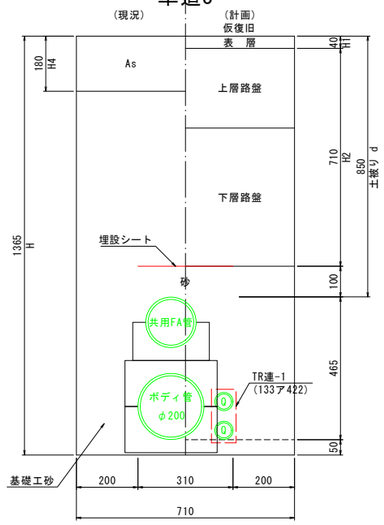
VPφ200x1
VPφ150x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩道	860	30	0	730	40	1375

1m当り

	計算式	数量	単位
歩道			
床掘	0.62*(1.375-0.04)	0.83	m3
埋戻し(砂)	0.62*(0.05+0.465+0.10)-0.06	0.32	m3
埋戻し(発生土)	0.62*0.73	0.45	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2

TR-3-1
RT03～RT04
車道3



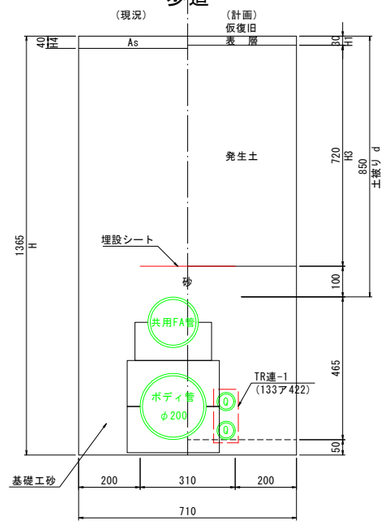
VPφ200x1
VPφ150x1
PVφ 50x2

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	30	710	0	180	1365

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.71*(1.365-0.18)	0.84	m3
埋戻し(砂)	0.71*(0.05+0.465+0.10)-0.07	0.37	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	PV:0.003*2+VP:0.02+VP0.04	0.07	m2

TR-3-1
RT03～RT04
歩道



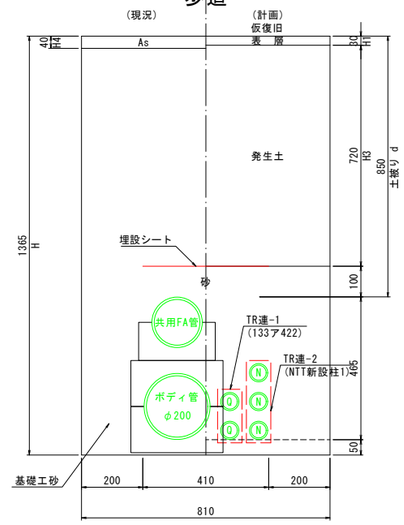
VPφ200x1
VPφ150x1
PVφ 50x2

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩 道	850	30	0	720	40	1365

1m当り

	計算式	数量	単位
歩 道			
床掘	0.71*(1.365-0.04)	0.94	m3
埋戻し(砂)	0.71*(0.05+0.465+0.10)-0.07	0.37	m3
埋戻し(発生土)	0.71*0.72	0.51	m3
管路控除	PV:0.003*2+VP:0.02+VP0.04	0.07	m2

TR-3-2
RT03～RT04
歩道



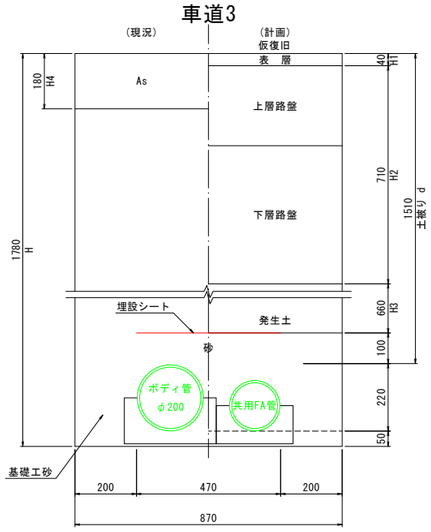
VPφ200x1
VPφ150x1
PVφ 50x5

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩 道	850	30	0	720	40	1365

1m当り

	計算式	数量	単位
歩 道			
床掘	0.81*(1.365-0.04)	1.07	m3
埋戻し(砂)	0.81*(0.05+0.465+0.10)-0.08	0.42	m3
埋戻し(発生土)	0.81*0.72	0.58	m3
管路控除	PV:0.003*5+VP:0.02+VP0.04	0.08	m2

TR-4
RT04～RT05
車道3



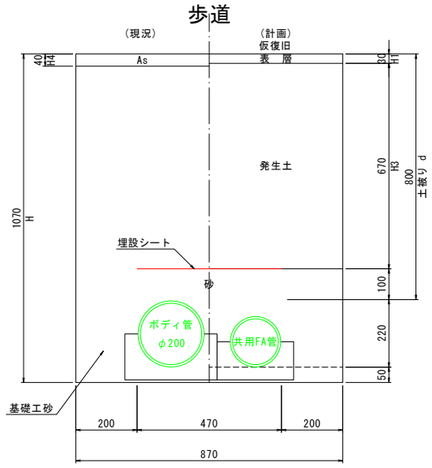
VPφ200x1
VPφ150x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	1510	40	710	660	180	1780

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.87*(1.78-0.18)	1.39	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*0.66	0.57	m3
管路控除	VP:0.02+VP0.04	0.06	m2

TR-4
RT04～RT05
歩道



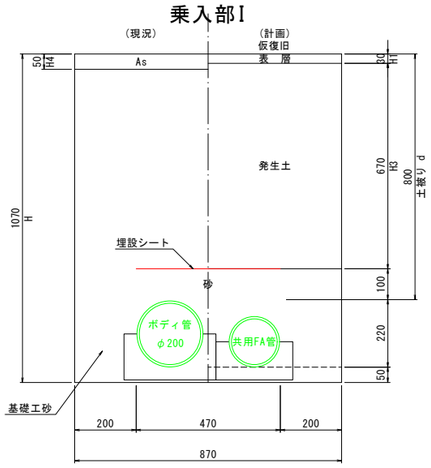
VPφ200x1
VPφ150x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩道1	800	30	0	670	40	1070
歩道2	1200	30	0	1070	40	1470
歩道3	1030	30	0	900	40	1300
歩道4	1070	30	0	940	40	1340

1m当り

	計算式	数量	単位
歩道1			
床掘	0.87*(1.07-0.04)	0.90	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*0.67	0.58	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2
歩道2			
床掘	0.87*(1.47-0.04)	1.24	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*1.07	0.93	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2
歩道3			
床掘	0.87*(1.30-0.04)	1.10	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*0.90	0.78	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2
歩道4			
床掘	0.87*(1.34-0.04)	1.13	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*0.94	0.82	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2

TR-4
RT04～RT05
乗入部I



VPφ200x1
VPφ150x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
乗入部1	800	30	0	670	50	1070
乗入部2	820	30	0	690	50	1090

1m当り

	計算式	数量	単位
乗入部I1			
床掘	0.87*(1.07-0.05)	0.89	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*0.67	0.58	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2
乗入部I2			
床掘	0.87*(1.09-0.05)	0.90	m3
埋戻し(砂)	0.87*(0.05+0.22+0.10)-0.06	0.26	m3
埋戻し(発生土)	0.87*0.69	0.60	m3
管路控除	VP:0.02+VP:0.04	0.06	m2

工 事 名	唐津線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)
事 業 名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市 郡元一丁目
図面種類	通信系管路工断面図(1/2) S=1:10
図面番号	全 48 の 30
作製	令和8年11月

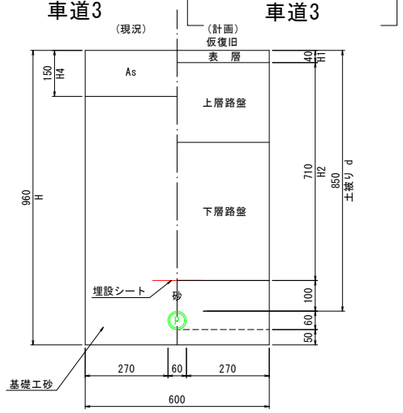
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

㈱新日本技術コンサルタント 099-281-9143

通信系管路工断面図(2/2)　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

右側

TR分-6 信号3～信号4 車道3



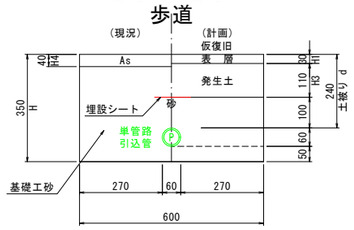
PVφ50x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	150	960

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(0.96-0.15)	0.49	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.06+0.10)-0.003	0.12	m3
埋戻し(発生土)			m3
管路控除	PV:0.003	0.003	m2

通信系分岐
TR分-6 信号3～信号4 歩道



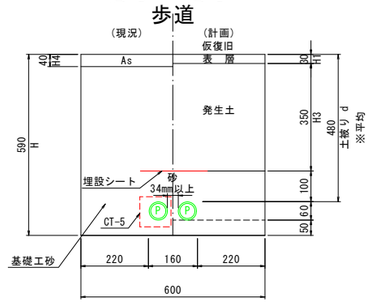
PVφ50x1

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	240	30	0	110	40	350

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*(0.35-0.04)	0.19	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.06+0.10)-0.003	0.12	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.11	0.07	m3
管路控除	PV:0.003	0.003	m2

TR分-6-1 信号3～信号4 歩道



PVφ50x2

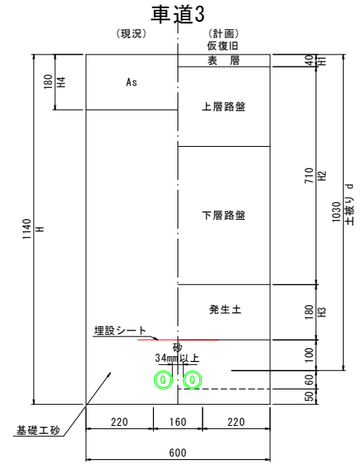
	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	480	30	0	350	40	590

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.60*(0.59-0.04)	0.33	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.06+0.10)-0.003	0.12	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.35	0.21	m3
管路控除	PV:0.003*2	0.003	m2

通信系連系管

TR連-1 RT04～既設柱133ア422 車道3



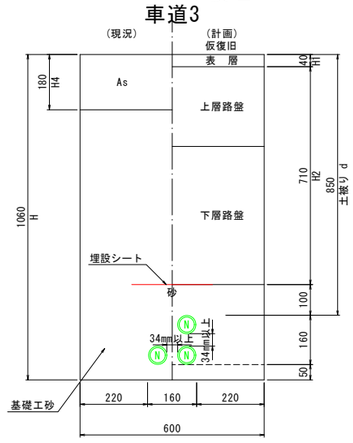
PVφ50x2

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	1030	40	710	180	180	1140

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.14-0.18)	0.58	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.06+0.10)-0.01	0.12	m3
埋戻し(発生土)	0.60*0.18	0.11	m3
管路控除	PV:0.003*2	0.01	m2

TR連-2 RT04～NTT新設柱1 車道3



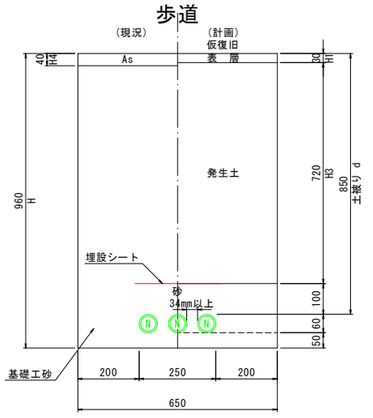
PVφ50x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
車道3	850	40	710	0	180	1060

1m当り

	計算式	数量	単位
車道3			
床掘	0.60*(1.06-0.18)	0.53	m3
埋戻し(砂)	0.60*(0.05+0.16+0.10)-0.01	0.18	m3
埋戻し(発生土)		-	m3
管路控除	PV:0.003*3	0.01	m2

TR連-2 RT04～NTT新設柱1 歩道



PVφ50x3

	d (mm)	H1 (mm)	H2 (mm)	H3 (mm)	H4 (mm)	H (mm)
歩　道	850	30	0	720	40	960

1m当り

	計算式	数量	単位
歩　道			
床掘	0.65*(0.96-0.04)	0.60	m3
埋戻し(砂)	0.65*(0.05+0.06+0.10)-0.01	0.13	m3
埋戻し(発生土)	0.65*0.72	0.47	m3
管路控除	PV:0.003*3	0.01	m2

工　事　名	唐津線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系管路工断面図(2/2) S=1:10		
図面番号	全 48 の 31	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

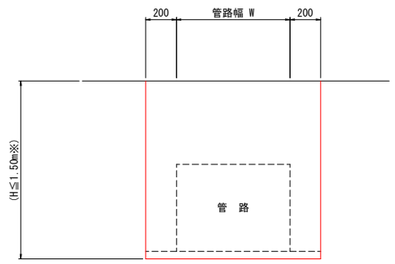
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(1/5)

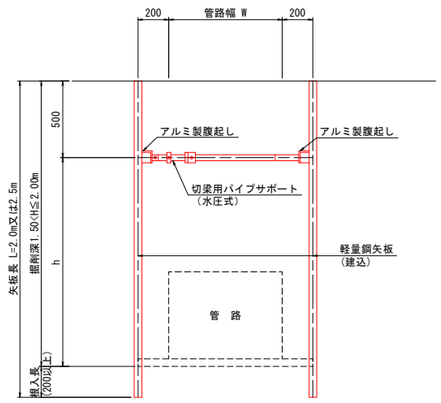
(A1)S=1:20, (A3)S=1:40

電力系・通信系管路部※掘削深H≦3.0

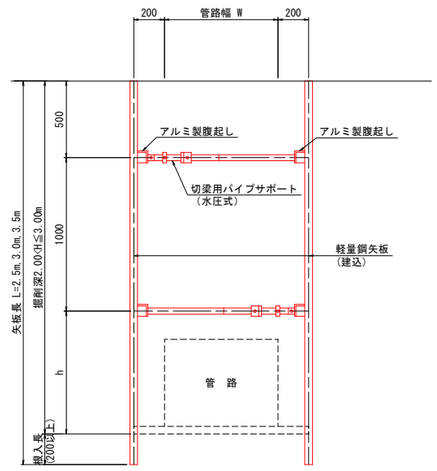
標準断面図
(H≦1.50m※)



標準断面図
(1.50<H≦2.00m)
軽量鋼矢板・建込工法



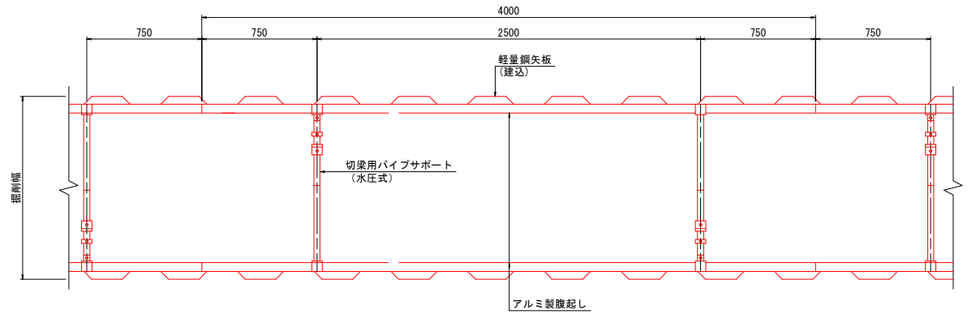
標準断面図
(2.00<H≦3.00m)
軽量鋼矢板・建込工法



※既存管路があり近接施工となる箇所は、管路管理者の立会をすること。

※支保材の設置段数,軽量鋼矢板の最小根入れ長は、「汚水管路施設設計標準図」(鹿児島市水道局下水道部,H27.4)に基づき設定。
※地下水の状況により施工できない場合は、監督職員と協議すること。

管路部・標準割付図
(1.50<H≦3.00m)
軽量鋼矢板



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(1/5)　S=1:20		
図面番号	全 48 の 32	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(2/5)　(A1)S=1:50, (A3)S=1:100

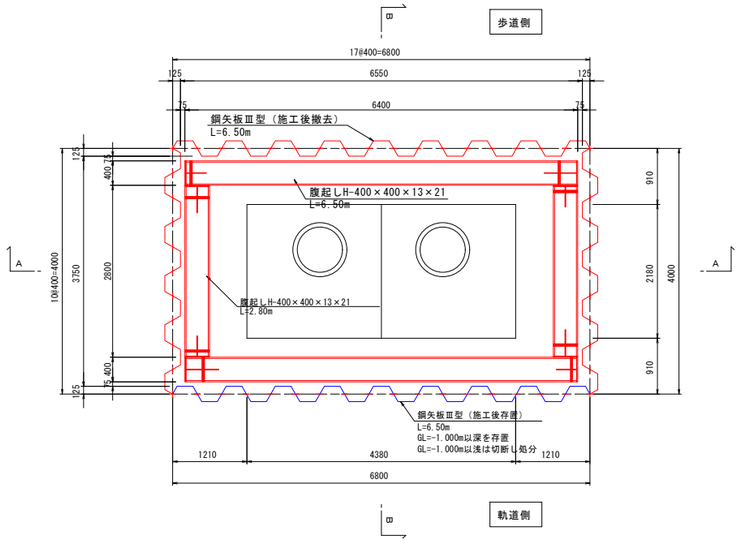
電力系特殊部 (A-3型MH) 1800×2100×4000

設置場所	車道部 (LE03)

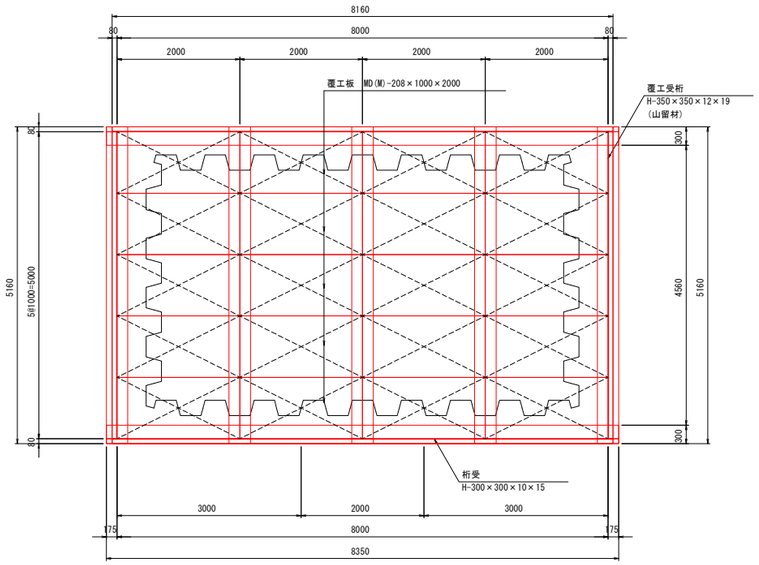
設計条件

対象構造物		電力系特殊部(A-3型)
掘削面積		4.000mx6.800m
掘削深さ		3.430m
地下水位		GL-3.400m
土　圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水　圧		三角形
地表面上載荷重		10.0 kN/m2

支保工平面図

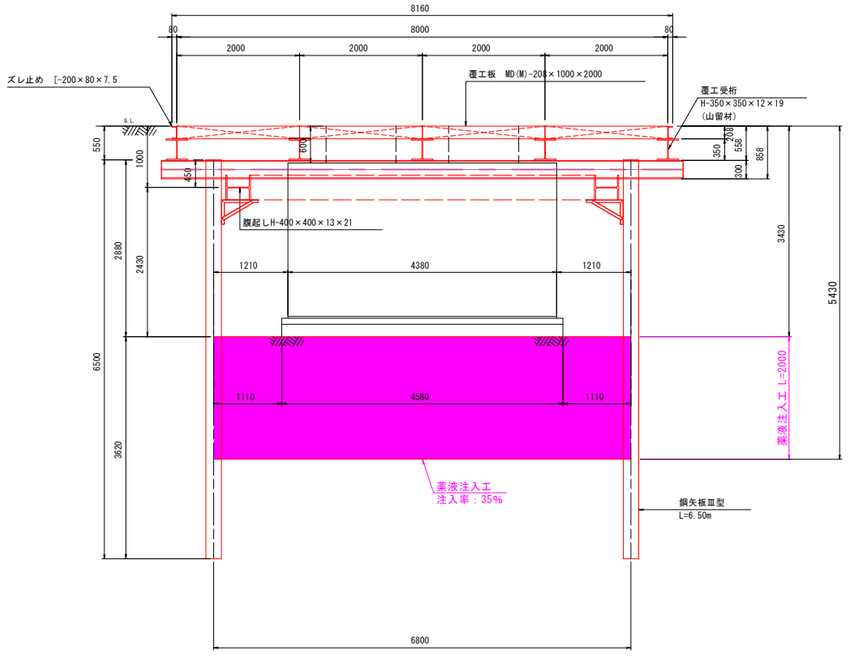


路面覆工平面図



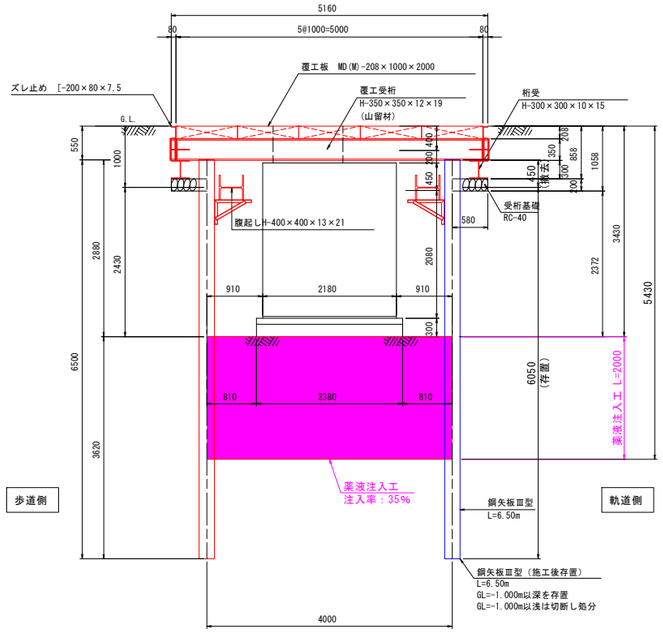
側　面　図

A－A断面



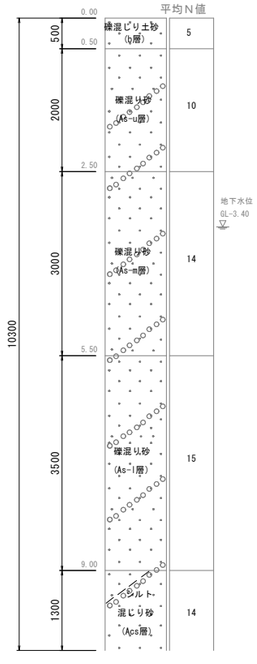
断　面　図

B－B断面



地質柱状図

Bor.4



仮設工重量表

1箇所あたり

部　材　名	寸　法		単位質量	1本当たり質量	個数	質　量	単位
鋼矢板	Ⅲ型(施工後撤去)	L=6.50m	0.060t/m	0.390	37	14.43	t
〃	〃 (施工後存置)	L=6.05m	0.060t/m	0.363	17	6.17	t
〃	〃 (施工後処分)	L=0.45m	0.060t/m	0.030	17	0.46	t
腹起し	H-400×400×13×21	L=6.40m	0.172t/m	1.101	2	2.20	t
〃	H-400×400×13×21	L=2.80m	0.172t/m	0.482	2	0.96	t
					計	24.22	t
覆工板	1000×2000×208	A=2.00m2	0.200t/m2	0.424	20	40.00	m2
					計	40.00	m2
					重量	8.48	t
覆工受桁	H-350×350×12×19	L=5.16m	0.135t/m	0.697	5	3.49	t
桁　受	H-300×300×10×15	L=8.35m	0.093t/m	0.777	2	1.55	t
ズレ止め	[-200×80×7.5	L=5.00m	0.0246t/m	0.123	2	0.25	t
〃	[-200×80×7.5	L=8.16m	0.0246t/m	0.201	2	0.40	t
					計	5.69	t
受桁基礎	再生砕石(RC-40) t=200	L=8.35m	W=0.58m	A=4.84m2	2	9.68	m2
基面整正						9.68	m2

注　記

1) 軌道敷側の鋼矢板は、土木用摩擦低減材
(土付着防止用塗料)を施し、
土付着防止工法により施工すること。

2) 支障物が近接している等の理由により、
プレハブマンホールの施工が困難な場合は、
ケーソン式マンホールの使用を検討すること。

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(2/5)　S=1:50 電力系特殊部 (A-3型MH)		
図面番号	全 48 の 33	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

仮設工構造図(3/5)　(A1)S=1:50, (A3)S=1:100

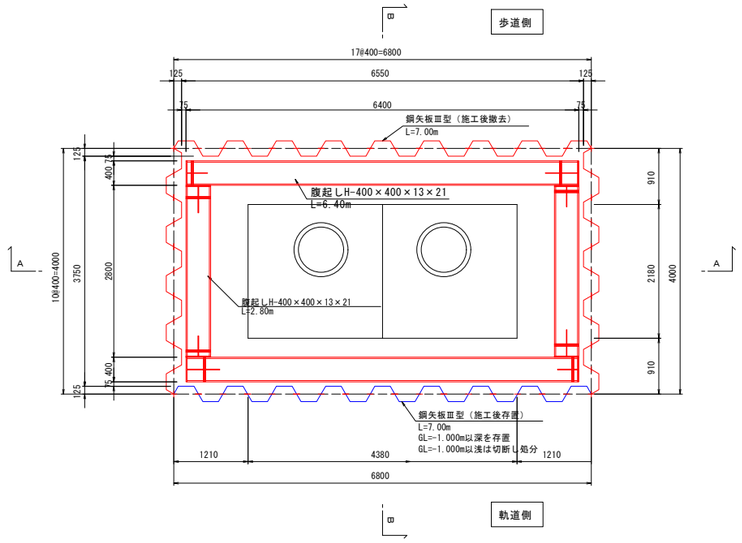
電力系特殊部 (A-3型MH) 1800×2100×4000

設置場所	車道部 (LE05, LE07, RE03, RE05)

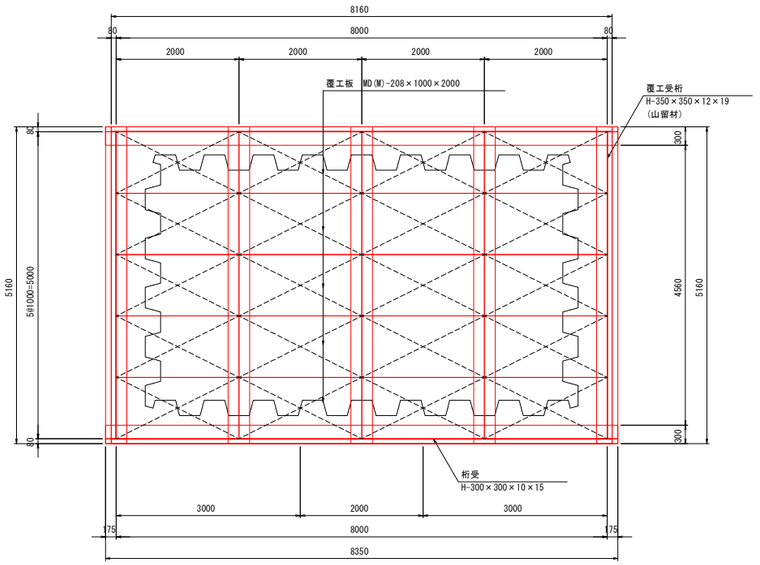
設計条件

対象構造物		電力系特殊部(A-3型)
掘削面積		4.000mx6.800m
掘削深さ		3.430m
地下水位		GL-4.230m
土 圧	安定計算	ランキン
	断面計算	断面計算用土圧
水 圧		三角形
地表面上載荷重		10.0 kN/m2

支保工平面図

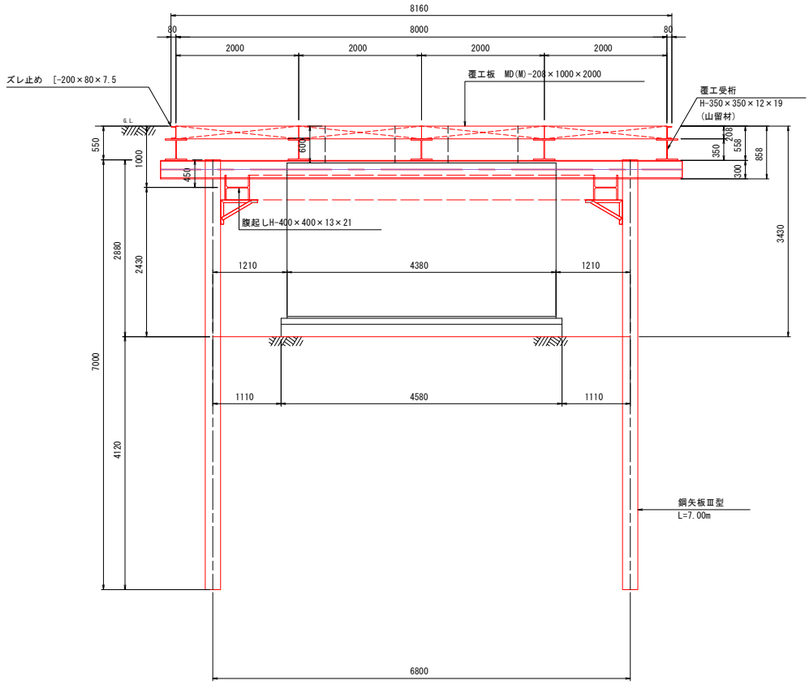


路面覆工平面図



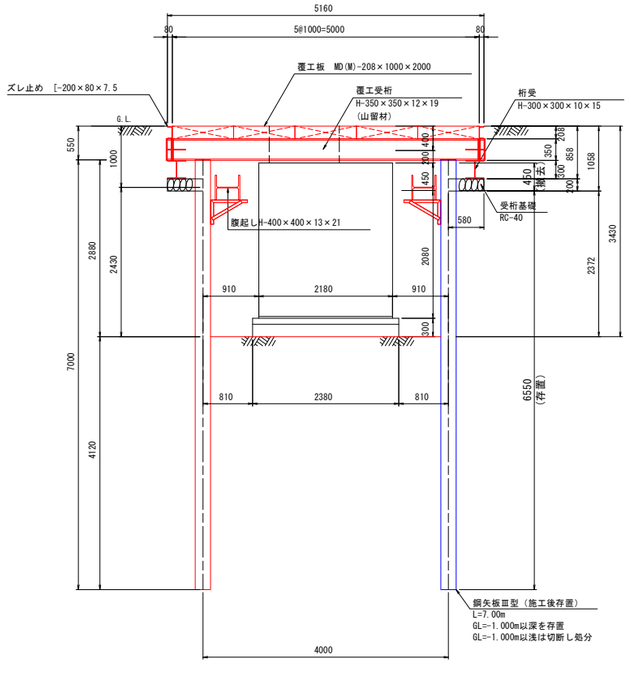
側　面　図

A－A断面



断　面　図

B－B断面



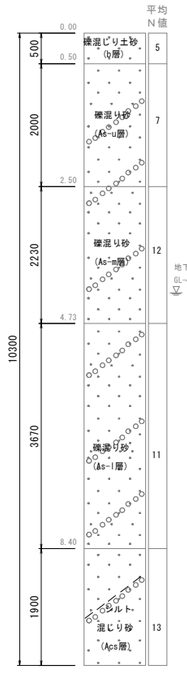
仮設工重量表

1箇所あたり

部材名	寸法		単位質量	1本当たり質量	個数	質量	単位
鋼矢板	Ⅱ型(施工後撤去)	L=7.00m	0.060t/m	0.420	37	15.54	t
〃	〃（施工後存置）	L=6.55m	0.060t/m	0.393	17	6.68	t
〃	〃（施工後処分）	L=0.45m	0.060t/m	0.030	17	0.46	t
腹起し	H-400×400×13×21	L=6.40m	0.172t/m	1.101	2	2.20	t
〃	H-400×400×13×21	L=2.80m	0.172t/m	0.482	2	0.96	t
					計	25.84	t
覆工板	1000×2000×208	A=2.00m2	0.200t/m2	0.424	20	40.00	m2
					計	40.00	m2
					重量	8.48	t
覆工受桁	H-350×350×12×19	L=5.16m	0.135t/m	0.697	5	3.49	t
桁　受	H-300×300×10×15	L=8.35m	0.093t/m	0.777	2	1.55	t
ズレ止め	[-200×80×7.5	L=5.00m	0.0246t/m	0.123	2	0.25	t
〃	[-200×80×7.5	L=8.16m	0.0246t/m	0.201	2	0.40	t
					計	5.69	t
受桁基礎	再生砕石(RC-40) t=200	L=8.35m	W=0.58m	A=4.84m2	2	9.68	m2
基面整正						9.68	m2

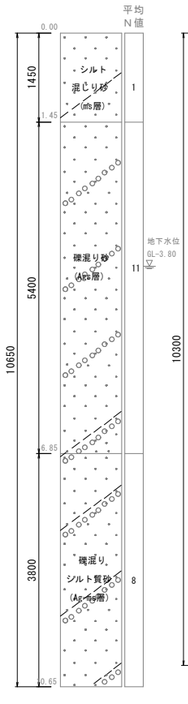
地質柱状図

Bor.8
LE05



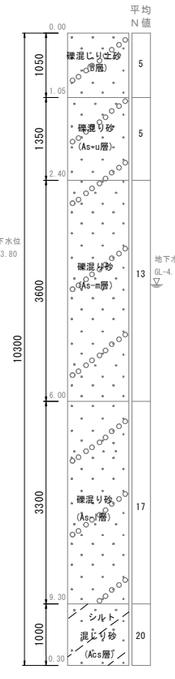
地質柱状図

Bor.13
LE07



地質柱状図

Bor.5
RE03



注　記

1）軌道敷側の鋼矢板は、土木用摩擦低減材（土付着防止用塗料）を施し、土付着防止工法により施工すること。

2）支障物が近接している等の理由により、プレハブマンホールの施工が困難な場合は、ケーソン式マンホールの使用を検討すること。

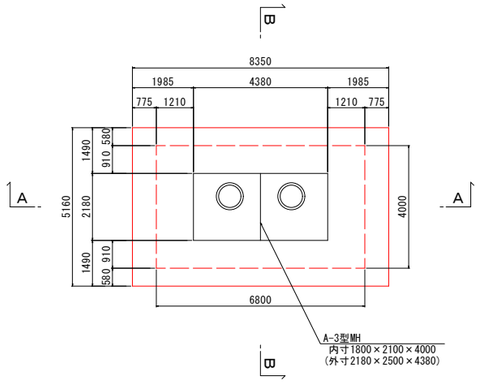
工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(3/5)　S=1:50 電力系特殊部 (A-3型MH)		
図面番号	全 48 の 34	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(4/5)　(A1)S=1:100, (A3)S=1:200

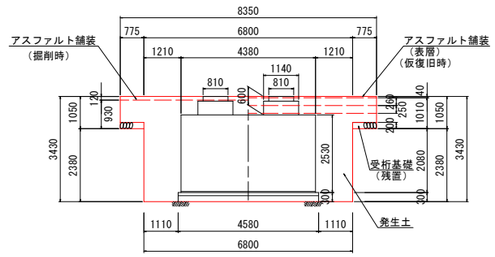
電力系特殊部 (A-3型MH) 1800×2100×4000

土工平面図

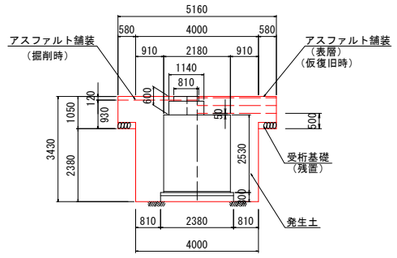


車道舗装1
首部高H=600

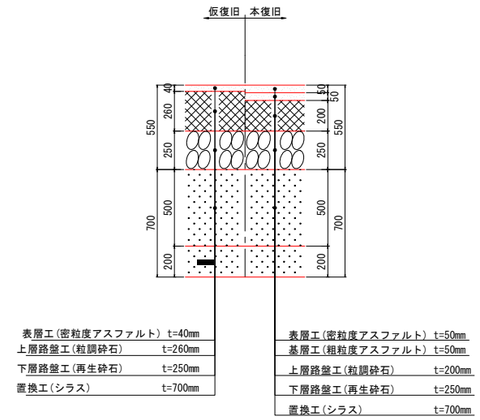
A-A断面図
S=1:100



B-B断面図
S=1:100



唐湊線車道舗装区間1
舗装構成図　S=1:20



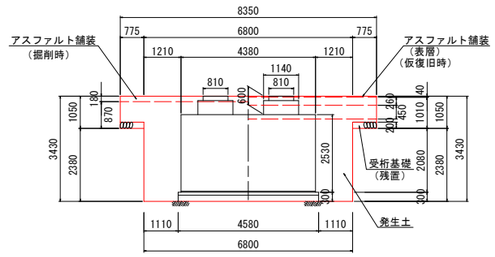
電力系特殊部 A-3MH 土工数量表 (車道舗装1)

1箇所当り

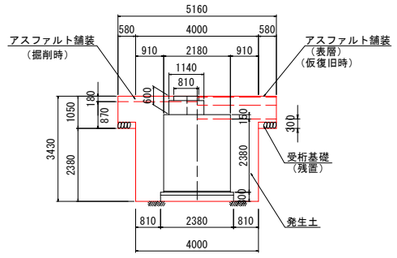
種目			規格	計算式		数量	単位
舗装工	1次	舗装版切断	t=120	L=(8.35+5.16)×2	=27.02	27.0	m
		舗装版破砕	t=120	A=8.35×5.16	=43.09	43.1	m2
	仮復旧	舗装復旧(車道1)	表層 t=40	A=8.35×5.16-3.14/4×0.81×0.81×2	=42.06	42.1	m2
			上層路盤 t=260	A=8.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2	=41.05	41.1	m2
			下層路盤 t=250	A=8.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2	=41.05	41.1	m2
土工		床掘	土砂	V=8.35×5.16×0.93+6.80×4.00×2.38	=104.81	104.8	m3
		埋戻	転圧	V=8.35×5.16×0.50+6.80×4.00×2.38 -(4.58×2.38×0.30+4.38×2.18×2.53 +1.14×1.14×3.14/4×0.05×2 +(8.35×0.58×2+0.775×4.0×2)×0.2)	=55.57	55.6	m3
		埋戻土	発生土	V=55.57/0.9	=61.74	61.7	m3
処理工		残土処理	土砂	V=104.81-61.74	=43.07	43.1	m3
			アスファルト殻	V=43.09×0.12	=5.17	5.2	m3

車道舗装3
首部高H=600

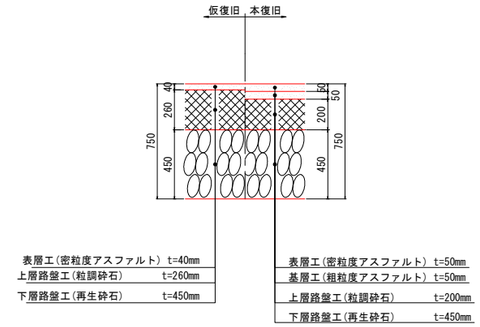
A-A断面図
S=1:100



B-B断面図
S=1:100



唐湊線車道舗装区間3
舗装構成図　S=1:20



電力系特殊部 A-3MH 土工数量表 (車道舗装3,首部高H=600)

1箇所当り

種目			規格	計算式		数量	単位
舗装工	1次	舗装版切断	t=180	L=(8.35+5.16)×2	=27.02	27.0	m
		舗装版破砕	t=180	A=8.35×5.16	=43.09	43.1	m2
	仮復旧	舗装復旧(車道1)	表層 t=40	A=8.35×5.16-3.14/4×0.81×0.81×2	=42.06	42.1	m2
			上層路盤 t=260	A=8.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2	=41.05	41.1	m2
			下層路盤 t=450	A=8.35×5.16-3.14/4×1.14×1.14×2	=41.05	41.1	m2
土工		床掘	土砂	V=8.35×5.16×0.87+6.80×4.00×2.38	=102.22	102.2	m3
		埋戻	転圧	V=8.35×5.16×0.30+6.80×4.00×2.38 -(4.58×2.38×0.30+4.38×2.18×2.38 +(8.35×0.58×2+0.775×4.0×2)×0.2)	=48.49	48.5	m3
		埋戻土	発生土	V=48.49/0.9	=53.88	53.9	m3
処理工		残土処理	土砂	V=102.22-53.88	=48.34	48.3	m3
			アスファルト殻	V=43.09×0.18	=7.76	7.8	m3

電力系特殊部A-3MH 一覧表

	名称	土被り	掘削深	現況舗装厚	備考
1	LE03	600	3430	As120	車道舗装1
2	LE05	600	3430	As120	車道舗装2-1
3	LE07	600	3430	As120	車道舗装2-1
4	RE05	600	3430	As120	車道舗装2-1
5	RE08	600	3430	As80 Co220	車道舗装2-2
6	RE01	850	3680	As180	車道舗装3
7	RE02	600	3430	As180	車道舗装3
8	RE03	600	3430	As180	車道舗装3
9	RE04	850	3680	As180	車道舗装3

※ 土被りなどは、縦断図を参照すること

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)
事業名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	仮設工構造図(4/5)　S=1:50 電力系特殊部 (A-3型MH)
図面番号	全 48 の 35 / 作製 令和8年11月

鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

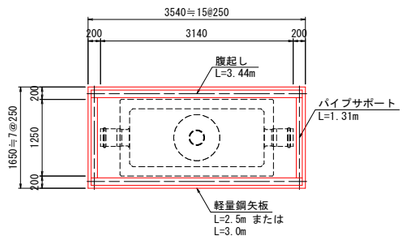
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

仮設工構造図(5/5)　(A1)S=1:50, (A3)S=1:100

通信系特殊部 (T-3型MH : W950×H1500×L2200)

軽量鋼矢板・建込工法

平　面　図

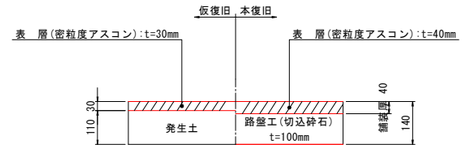


通信系特殊部T-3MH 一覧表

	名　称	土 被 り	掘 削 深	現 況 舗 装 厚	備　考
1	LT01	250	2280	As40	歩道舗装
2	LT14	250	2280	As40	歩道舗装
3	LT16	250	2280	As40	歩道舗装
4	RT04	250	2280	As40	歩道舗装
5	RT20	250	2280	As40	歩道舗装
6	RT01	750	2780	As40	歩道舗装
7	LT13	250	2280	As110 Co240	車道舗装2-1
8	LT20	250	2280	As90 Co220	車道舗装2-2
9	RT23	250	2280	As90 Co220	車道舗装2-2

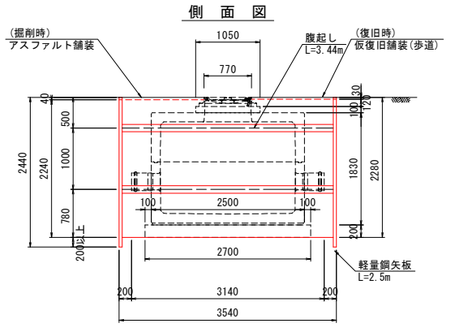
※ 土被りなどは、縦断図を参照すること

歩道舗装

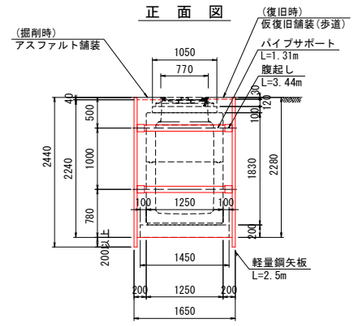


歩道舗装
土被り250

側　面　図



正　面　図



通信系特殊部 T-3MH 数量表 (歩道舗装,土被り250)

1箇所あたり

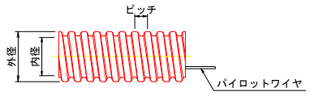
種　目		規　格	計　算　式		数　量	単位
仮設工	軽量鋼矢板 (L=2.50m)	Ⅱ　型	N=(15+7)×2	= 44.0	44	枚
		設置・撤去	L=44.0×0.250	= 11.00	11.0	m
		(質料)	W=44×2.50×0.0118t/m	= 1.298	1.3	t
	腹起し材 (アルミ製)	120×120×4000	N=3.44×2×2/4.00	= 3.44	4	本
		(質料)	W=4.0×0.0351t/本	= 0.140	0.14	t
	切梁材	パイプサポート	N=2×2	= 4	4	本
舗装工	1次 舗装版切断	t=40　現況	L=(3.54+1.65)×2	= 10.38	10.4	m
	1次 舗装版破砕	t=40　現況	A=3.54×1.65	= 5.84	5.8	m2
	仮復旧 舗装復旧 (歩道)	表　層　t=30	A=3.54×1.65-3.14/4×0.77×0.77	= 5.38	5.4	m2
土工	床　掘	土砂	V=3.54×1.65×2.24	= 13.08	13.1	m3
	埋　戻	水締め	V=3.54×1.65×2.24-(2.70×1.45×0.20+2.50×1.25×1.83 +1.05×1.05/4×3.14×0.10+0.77×0.77/4×3.14×0.12)	= 6.44	6.4	m3
	埋戻砂	砂	V=6.44/0.95	= 6.78	6.8	m3
処理工	残土処理	土砂	V=13.08	= 13.1	13.1	m3
	As殻処理	歩道用	V=5.84×0.04	= 0.23	0.2	m3

工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	仮設工構造図(5/5)　S=1:50 通信系特殊部 (T-3型MH)		
図面番号	全 48 の 36	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

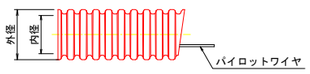
※参考図　電力系管路部材詳細図　(A1)S=1:4 (A3)S=1:8

FEP管



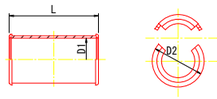
呼び径	外 径 (約mm)	内 径 (約mm)	ピッチ (約mm)
φ80	102	80	25
φ100	130	100	32
φ150	189	150	47

SFEP管



呼び径	外 径 (約mm)	内 径 (約mm)
φ80	107	83
φ100	134	103
φ150	193	150

SFEP用直管継手



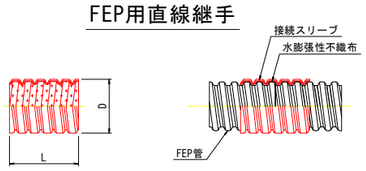
呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)	L (約mm)
φ80	113	132	215
φ100	141	161	260
φ150	200	220	300

SFEP用異種管継手



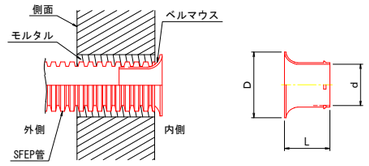
呼び径	D1 (約mm)	外 径 D2 (約mm)	内 径 D2 (約mm)
φ80	108	102	80
φ100	140	130	100
φ150	200	189	150

FEP用直線継手



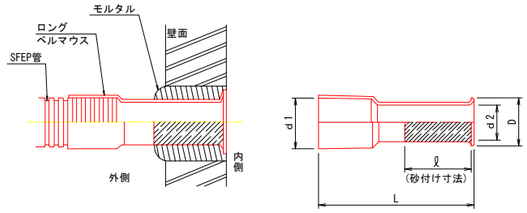
呼び径	外 径 D (約mm)	長 さ L (約mm)
φ80	111	135
φ100	140	175
φ150	201	190

SFEP用ベルマウス



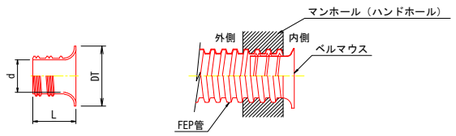
呼び径	D (約mm)	d (約mm)	L (約mm)
φ80	113	75	85
φ100	145	93	100
φ150	200	140	150

SFEP用ロングベルマウス



呼び径	d1 (約mm)	d2 (約mm)	D (約mm)	L (約mm)	ℓ (約mm)
φ80	108	77	114	350	150
φ100	137	100	156	350	150
φ150	196	154	214	350	150

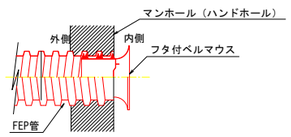
FEP用ベルマウス



呼び径	外 径 DT (約mm)	内 径 d (約mm)	長 さ L (約mm)
φ100	144	93	105
φ150	205	141	150

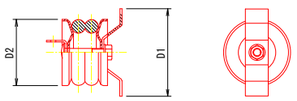
FEP用蓋付ベルマウス

予備管路の防砂用



SFEP用防水栓

ロングベルマウスφ100用、φ150用



※サイズによって多少形状が異なります。

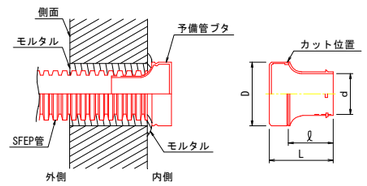
ベルマウス用

呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)
φ80	86	70
φ100	125	88
φ150	145	128

ロングマウス用

呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)
φ80	86	78
φ100	125	88
φ150	180	148

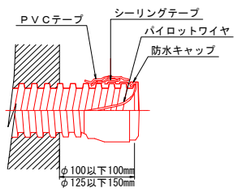
SFEP用予備管ブタ



呼び径	D (約mm)	d (約mm)	ℓ (約mm)	L (約mm)
φ80	115	75	86	122.5
φ100	150	92.5	101	141
φ150	206	140	153	199

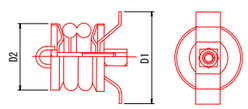
FEP用防水キャップ

管路端部の防水用



FEP用防水栓

ベルマウス用の防水栓



呼び径	D1 (約mm)	D2 (約mm)
φ100	120	88
φ150	140	128

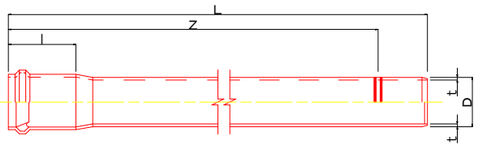
工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	電力系管路部材詳細図 ※参考図		
図面番号	全 48 の 37	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

※参考図　　通信系管路部材詳細図(1/2)

（ 通 信 系 ）(参考図)

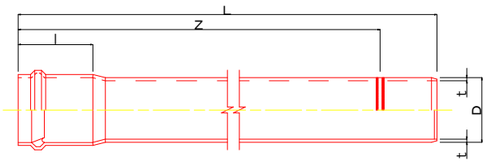
共用ＦＡ管(ＶＰ管 直管)



単位：mm

呼び径	長 さ	外 径	厚 さ	有効長	全 長
	l (最大)	D	t (最小)	Z	L
150	225	165	8.9	5,000	5,165

ボディ管(ＶＰ管 直管)

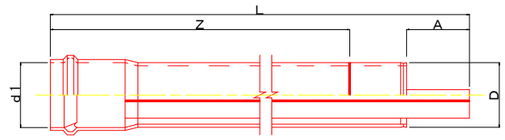


単位：mm

呼び径	長 さ	外 径	厚 さ	有効長	全 長
	l (最大)	D	t (最小)	Z	L
200	250	216	10.3	2,500 5,000	2,690 5,190
250	270	267	12.7	2,500 5,000	2,710 5,210

ボディ管(ＶＰ管 ロータス管起点用)

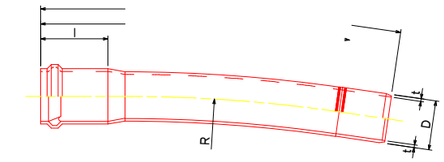
(端末用さや管ダクトスリーブ一体ボディ管)



単位：mm

呼び径	受口内径	外 径	DS余長	有効長	全 長
	d1(最小)	D	A	Z	L
200	216.9	216	210	1,200	1,600
250	268.1	267			1,620

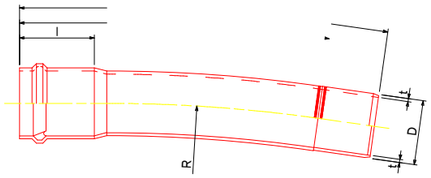
共用ＦＡ管(ＶＰ管 曲管)



単位：mm

呼び径	受口長	外 径	厚 さ	曲率半径	有効長	全 長
	l (最大)	D	t (最小)	R	Z	L
150	225	165	8.9	5,000 10,000	1,000	1,165

ボディ管(ＶＰ管 曲管)

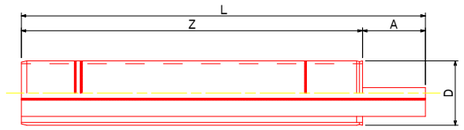


単位：mm

呼び径	長 さ	外 径	厚 さ	曲率半径	有効長	全 長
	l (最大)	D	t (最小)	R	Z	L
200	250	216	10.3	5,000 10,000	1,000	1,190
250	270	267	12.7			1,210

ボディ管(ＶＰ管 ロータス管終点用)

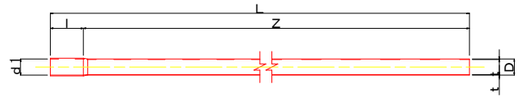
(端末用さや管ダクトスリーブ一体ボディ管)



単位：mm

呼び径	外 径	DS余長	有効長	全 長
	D	A	Z	L
200	216	210	1,140	1,350
250	267			

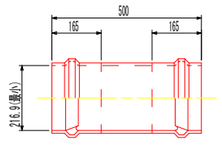
さや管(ＳＵ管 直管)



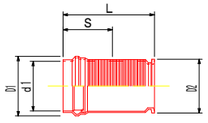
単位：mm

呼び径	受口内径	受口長	外 径	厚 さ	有効長	全 長
	d1	l	D	t	Z	L
30	34.6	110	34	2.0	5,000	5,110
50	54.6		54			

共用ＦＡ管(ＶＰ管 ヤリトリ継手)



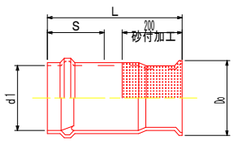
共用ＦＡ管(ダクトスリーブ)



単位：mm

呼び径	受口外径	ツバ外径	受口内径	挿入長	全 長
	D1	D2	d1	S	L
150	198.6	180	166.5	165	305

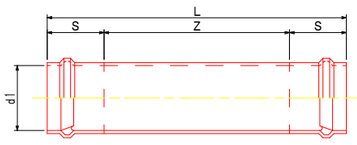
ボディ管(ダクトスリーブ)



単位：mm

呼び径	ツバ外径	受口内径	挿入長	全 長
	Do	d1(最小)	S	L
200	250	216.9	190	450
250	300	268.1	210	470

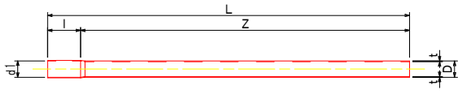
ボディ管(ＶＰ管 スライド管)



単位：mm

呼び径	受口内径	挿入長	有効長	全 長
	d1(最小)	S	Z	L
200	216.9	190	620	1,000
250	268.1	210	580	

さや管(ＳＵ管 端末部用短管)

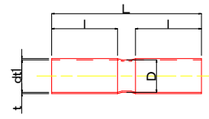


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長	外 径	厚 さ	有効長	全 長
	d1	l	D	t	Z	L
30	34.6	110	34	2.0	1,100	1,210
50	54.6		54			

さや管(ＳＵ管 ソケット)

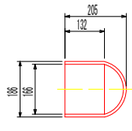
S=1:5



単位：mm

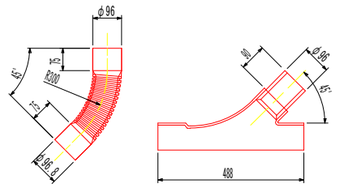
呼び径	受口内径	受口長	外 径	厚 さ	全 長
	d1	l	D	t	L
30	34.6	110	34	2.0	250
50	54.6		54		

フリーアクセス管(ＶＰ管 キャップ)

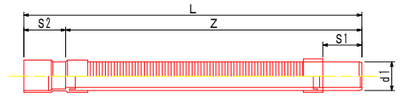


共用ＦＡ管分岐管

分 岐 管



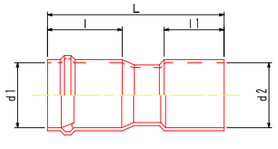
可とうＶ管



単位：mm

呼び径	差口外径	差口長さ	受口長	有効長	全 長
	d1	S1	S2	Z	L
75	96	130	140	1,000	1,130

ボディ管(ＶＰ管 Ｐ継手)



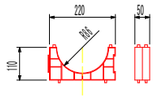
単位：mm

呼び径	受口内径	受口内径	受口長	受口長	全 長
	d1(最小)	d2	l (最大)	l1(最小)	L
150	165.7	166.0	225	132	497
200	216.9	216.9	250	200	590
250	268.1	268.1	270	250	680

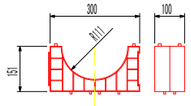
管 枕 (スペーサ)

共用ＦＡ管(FA)・ボディ管(BD)

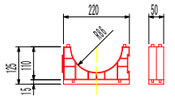
FAφ150(BDφ200用)



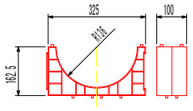
BDφ200用



FAφ150(BDφ250用)

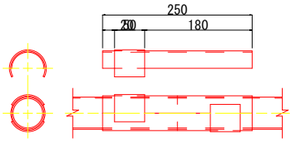


BDφ250用



さや管(ＳＵ管 半割継手)

(参 考)　S=1:5



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系管路部材詳細図(1/2) ※参考図		
図面番号	全 48 の 38	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

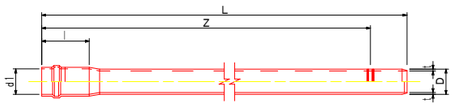
(注) 記載中の規定なき寸法は、基準値または参考値とする

※参考図　　通信系管路部材詳細図(2/2)

（ 通 信 系 ）(参考図)

差込継手硬質塩化ビニル管(直管)

(ＰＶφ50・φ75)

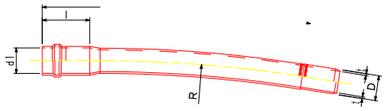


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長	外 径	厚 さ	有効長	全 長
	d1	l (最小)	D	t	Z	L
50	61.0	144	60	4.5	5,000	5,100
75	97.3	182	96	6.5		5,140

差込継手硬質塩化ビニル管(曲管)

(ＰＶφ50・φ75)

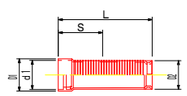


単位：mm

呼び径	受口内径	受口長	外 径	厚 さ	曲線半径	有効長
	d1	l (最小)	D	t	R	Z
50	61.0	144	60	4.5	5,000 10,000	1,000
75	97.3	182	96	6.5		

ＰＶダクトスリーブ

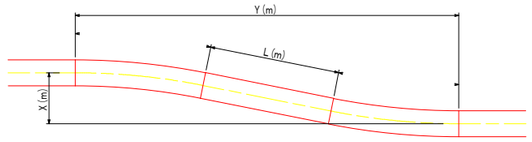
(ＰＶφ50・φ75)



単位：mm

呼び径	受口外径	ツバ外径	受口内径	挿入長	全 長
	D1	D2	d1	S	L
50	83	78	65.3	140	325
75	124	110	101.0	170	360

曲線配管変位量参考表



＜５ｍＲ曲管使用時＞

曲線長 N (m)(本)	直管長 L (m)(本)	曲管長 M (m)(本)	変位量 X (mm)	処理長 Y (mm)
1	0	1	199	1997
1	1	1	398	2967
1	2	1	597	3947
2	0	2	789	3894
2	1	2	1179	4815
2	2	2	1568	5736
3	0	3	1747	5646
3	1	3	2311	6472
4	0	4	3033	7174

＜１０ｍＲ曲管使用時＞

曲線長 N (m)(本)	直管長 L (m)(本)	曲管長 M (m)(本)	変位量 X (mm)	処理長 Y (mm)
1	0	1	100	1997
1	1	1	200	2992
1	2	1	300	3987
2	0	2	399	3973
2	1	2	597	4953
2	2	2	796	5934
3	0	3	893	5910
3	1	3	1189	6886
4	0	4	1579	7788

標　準　部　材　表

＜１．ボディ管・さや管＞

施工部位			標準使用部材	管種	仕様・規格	備　考
特殊部際	ボディ管	起点・終点共通	ダクトスリーブ	ＶＰ	口径：φ200、250	
		起点部	ロータス管　起点用	ＶＰ	口径：φ200、250	片受口付き
		終点部	ロータス管　終点用	ＶＰ	口径：φ200、250	両差口
			スライド管	ＶＰ	口径：φ200、250 長さ：Ｌ＝1000(全長)	最終つなぎ込みのやりとり継手
	さや管	起点・終点共通	端末用さや管	ＳＵ	口径：φ30、50 長さ：Ｌ＝1100(有効長)	ロータス管挿入専用のさや管
直線部	ボディ管		片受け直管	ＶＰ	口径：φ200、250 長さ：Ｌ＝5000(有効長) Ｌ＝2500(有効長)	ゴム輪接合
			管枕（スペーサ）	－	φ200用 φ250用	標準として 2.5mに１箇所設置
	さや管		片受け直管		口径：φ30、50 長さ：Ｌ＝5000(有効長)	接着接合
曲線部	ボディ管		片受け曲管	ＶＰ	口径：φ200、250 曲率：５ｍＲ、１０ｍＲ 長さ：Ｌ＝1000(有効長)	
			管枕（スペーサ）	－	φ200用 φ250用	標準として１本に１箇所設置
	さや管		片受け直管	ＳＵ	口径：φ30 長さ：Ｌ＝5000(有効長)	
				ＦＳＵ	口径：φ50 長さ：Ｌ＝5000(有効長)	生曲げ時の応力低減管

＜２．共用ＦＡ管＞

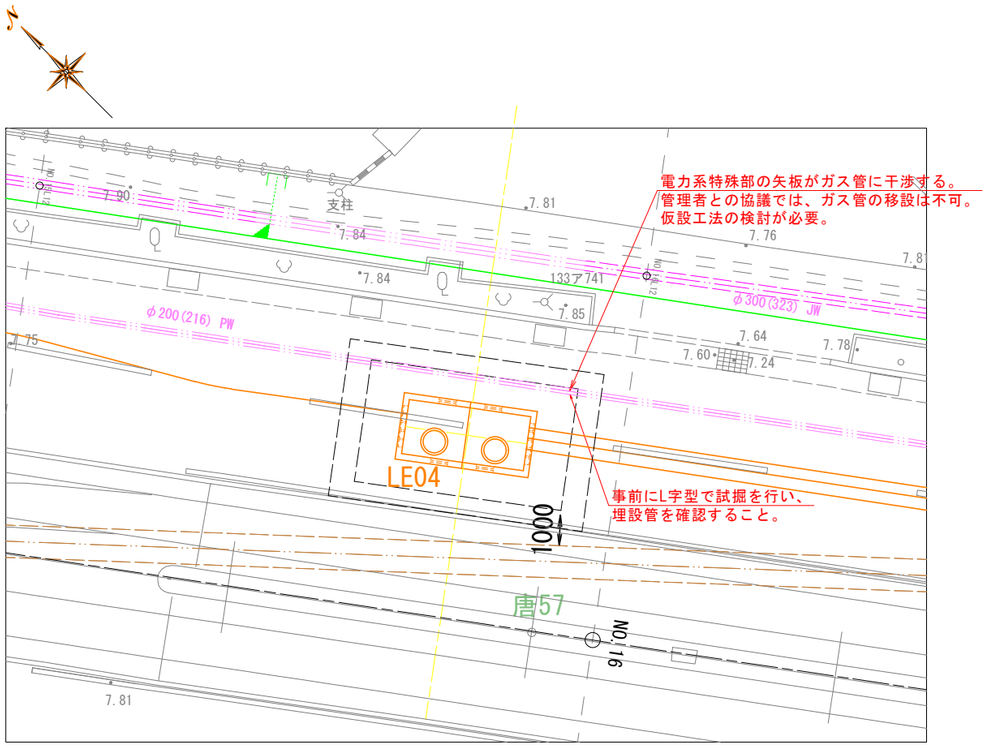
施工部位			標準使用部材	管種	仕様・規格	備　考
特殊部際	共用ＦＡ管	起点・終点共通	ダクトスリーブ	ＶＰ	口径：φ150	
			片受け曲管	ＶＰ	口径：φ150 曲率：１０ｍＲ 長さ：Ｌ＝1000(有効長)	偏芯 100mm行う場合
		終点部	ヤリトリ継手	ＶＰ	口径：φ150 長さ：Ｌ＝580(全長)	最終つなぎ込みのやりとり継手
直線部	共用ＦＡ管		片受け直管	ＶＰ	口径：φ150 長さ：Ｌ＝5000(有効長)	
			管枕（スペーサ）	－	φ150用	標準として 2.5mに１箇所設置
曲線部	共用ＦＡ管		片受け曲管	ＶＰ	口径：φ150 曲率：５ｍＲ、１０ｍＲ 長さ：Ｌ＝1000(有効長)	
			管枕（スペーサ）	－	φ150用	標準として１本に１箇所設置

（注）　記載中の規定なき寸法は、基準値または参考値とする

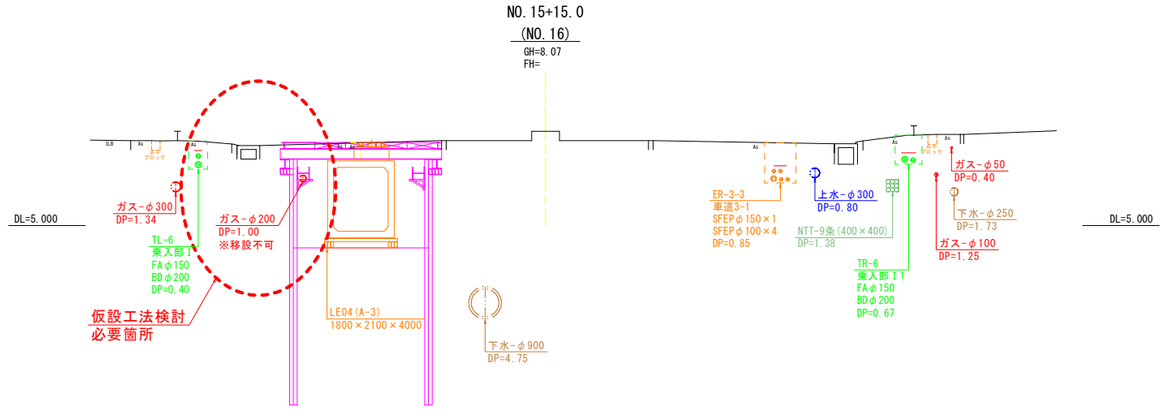
工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	通信系管路部材詳細図(2/2) ※参考図		
図面番号	全 48 の 39	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　　099-281-9143

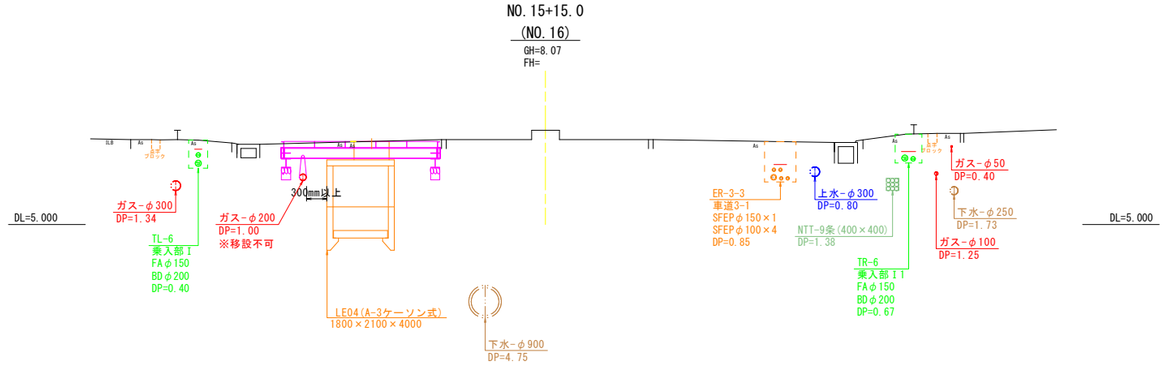
※参考図　　支障物件検討箇所図　　(A1)S=1:100 (A3)S=1:200



【検討前】



【検討後】



【概要】

・プレハブ→ケーソン式への変更
・マンホール躯体とガス管の離隔確保（300mm以上）
・吊防護によるガス管の保護

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	支障物件検討箇所図 ※参考図 S=1:100		
図面番号	全 48 の 40	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

舗装撤去・復旧平面図

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

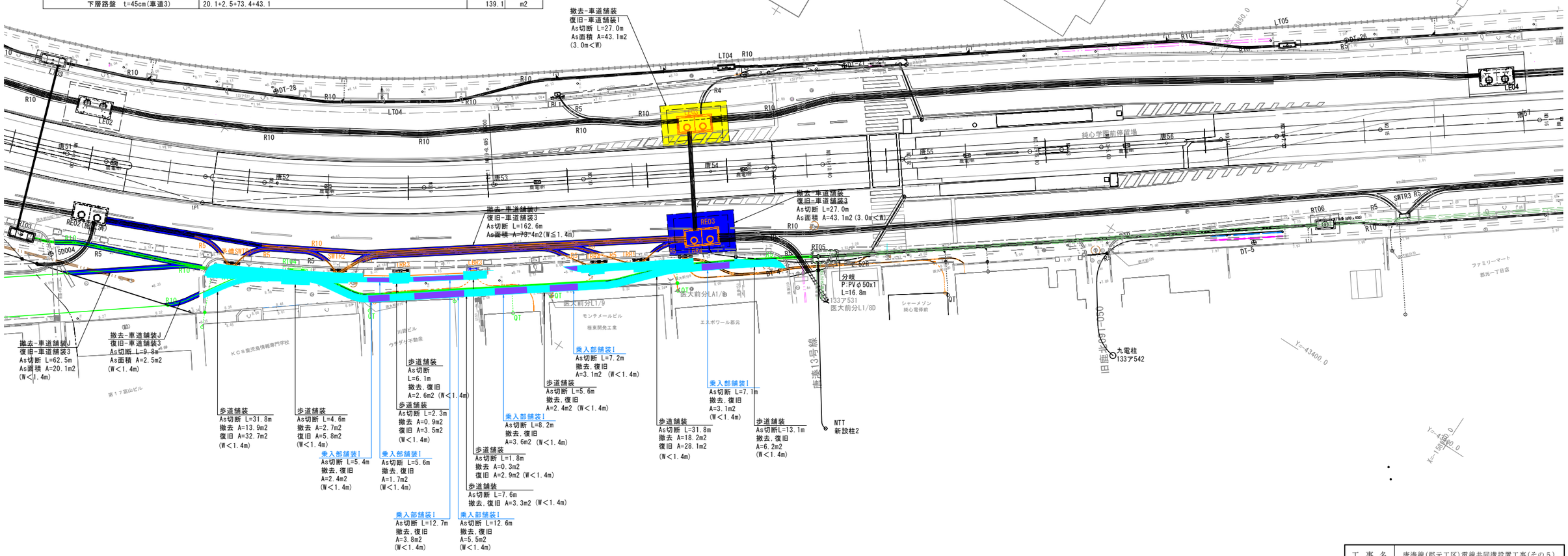
・・・車道1舗装
・・・車道2舗装
・・・車道3舗装
・・・歩道舗装
・・・乗入部舗装Ⅰ

数量計算書

工種	計算式	合計	単位
取壊工(昼間)			
舗装版切断　歩道	31.8+4.6+5.4+5.6+2.3+6.1+12.7+12.6+7.6+1.8+8.2+5.6+7.2+31.8+7.1+13.1	163.5	
舗装版破砕　歩道 t=4cm(標準部)	13.9+2.7+0.9+2.6+3.3+0.3+3.6+2.4+18.2+6.2	54.1	
歩道 t=5cm(乗入部)	2.4+1.7+3.8+5.5+3.6+3.1+3.1	23.2	
合計		77.3	m2
As殻処分量　歩道 t=4cm(標準部)	54.1×0.04	2.2	
歩道 t=5cm(乗入部)	23.2×0.05	1.2	
合計		3.4	m3
舗装復旧　歩道 t=4cm(標準部)(W<1.4m)	32.7+5.8+3.5+2.6+3.3+2.9+2.4+28.1+6.2	87.5	
歩道 t=5cm(乗入部)(W<1.4m)	24.+1.7+3.8+5.5+3.6+3.1+3.1	44.8	
合計		132.3	m2

数量計算書

工種	計算式	合計	単位
取壊工(夜間)			
舗装版切断　車道	27.0+62.5+9.8+162.6+27.0	288.9	
舗装版破砕　車道 t=10cm(既設舗装)	43.1+20.1+2.5+73.4+43.1	182.2	
車道 t=4cm(仮舗装)	43.1+20.1+2.5+73.4+43.1	182.2	
合計		364.4	m2
As殻処分量　車道 t=10cm(既設舗装)	182.2×0.10	18.2	
車道 t=4cm(仮舗装)	182.2×0.05	9.1	
合計		27.3	m3
舗装復旧　車道 t=4cm(仮舗装)(W<1.4m)	73.4+20.1+2.5	96.0	m2
車道 t=10cm(本復旧)(W<1.4m)	73.4+20.1+2.5	96.0	m2
車道 t=4cm(仮舗装)(3.0m<W)	43.1+43.1	86.2	m2
車道 t=10cm(本復旧)(3.0m<W)	43.1+43.1	86.2	m2
上層路盤　t=26cm(車道1,車道3)	43.1+20.1+2.5+73.4+43.1	182.2	m2
下層路盤　t=25cm(車道1)	43.1	43.1	m2
下層路盤　t=45cm(車道3)	20.1+2.5+73.4+43.1	139.1	m2



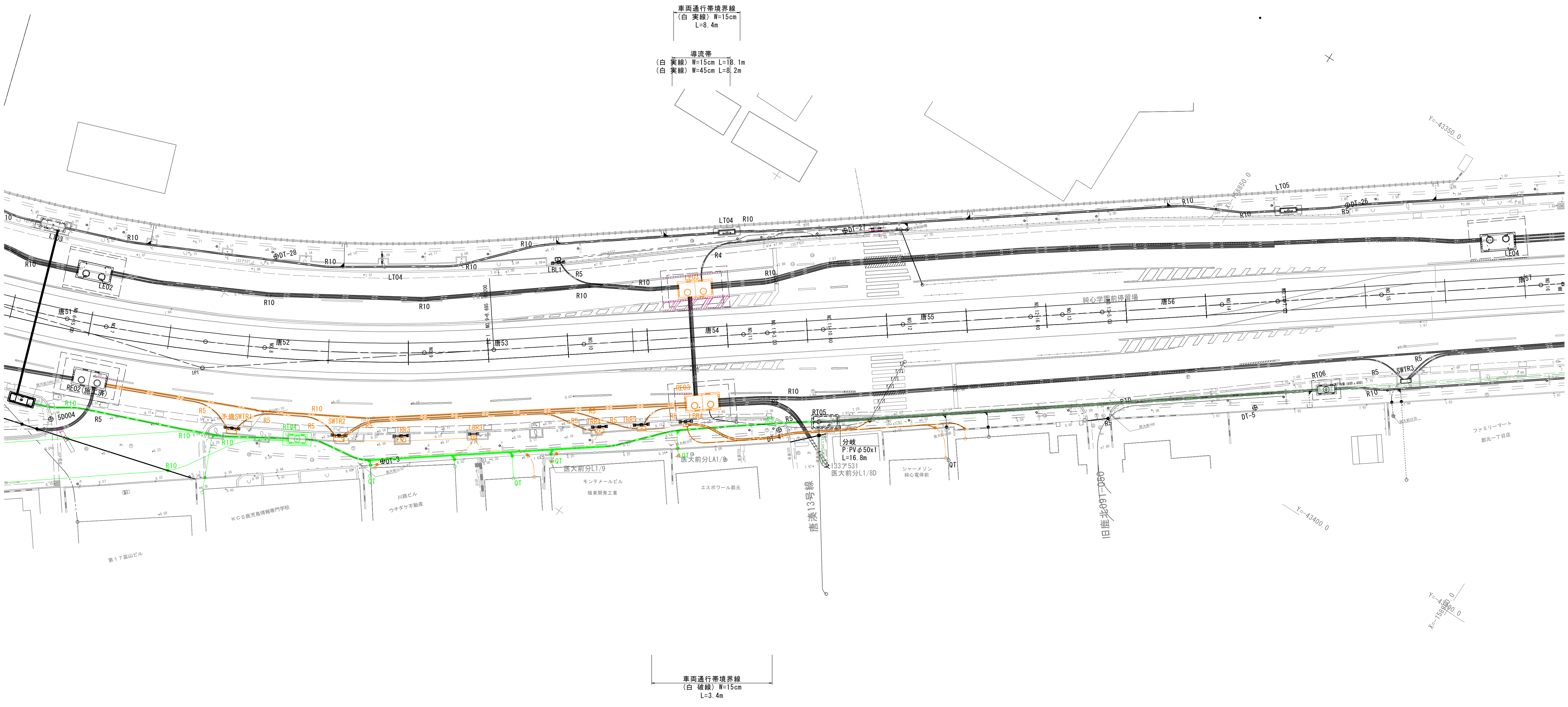
工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	舗装撤去・復旧平面図 S=1:250		
図面番号	全 48 の 41	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

安全施設工 平面図　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

数量計算書

工種	計算式	合計	単位
区画線 車両通行帯境界線　白　実線　W=15cm	8.4	8.4	
導流帯　白　実線　W=15cm	18.1	18.1	
合計		26.5	m
車両通行帯境界線　白　破線　W=15cm	3.4	3.4	m
導流帯　白　実線　W=45cm	8.2	8.2	m



工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)
事業名	無電柱化推進計画事業
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目
図面種類	安全施設工 平面図 S=1:250
図面番号	全 48 の 42 ／ 作製 ／ 令和8年11月

鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

構造物撤去・復旧平面図　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

数量計算書

工種		計算式	合計	単位
地先境界ブロック　撤去		23.8+4.6+4.6+12.7	45.7	m
処分量		45.7×0.01	0.5	m3
誘導ブロック　復旧	線状	0.5+11.7	12.2	
	点状	0.2+0.4	0.6	
合計			12.8	m2
縁石　撤去・復旧	縁石B	3.7+4.1+2.8+2.5+8.4	21.5	m
撤去・復旧	縁石B3	0.7+1.8	2.5	m
合計			24.0	m

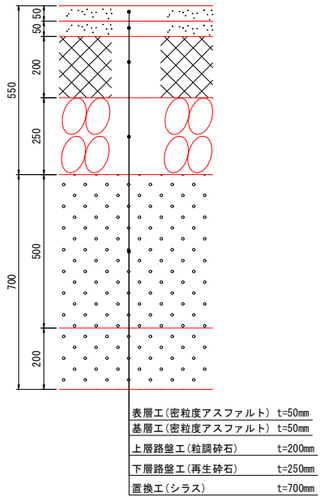


工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	構造物撤去・復旧平面図 S=1:250		
図面番号	全 48 の 43	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

舗装工構造図　(A1)S=1:10　(A3)S=1:20

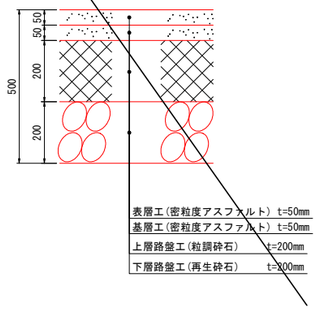
唐湊線車道舗装区間1
(BP～NO.19)
(下り線(鹿大側))



※アスファルト舗装構成の比較（内地）より

設計期間：20年
信 頼 性：90%
設計CBR ：6%（現路床を置換後）
交通区分：N5交通
（大型車交通量：1000台未満/日・方向とする※）
※H27道路交通センサス

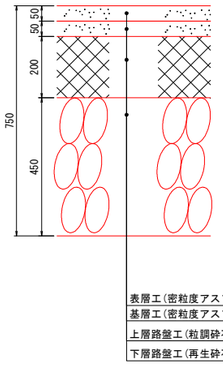
唐湊線車道舗装区間2
(NO.19～NO.50)
(上下線共)



※アスファルト舗装構成の比較（内地）より

設計期間：20年
信 頼 性：90%
設計CBR ：8%
交通区分：N5交通
（大型車交通量：1000台未満/日・方向とする※）
※H27道路交通センサス

唐湊線車道舗装区間3
(NO.19～BP)

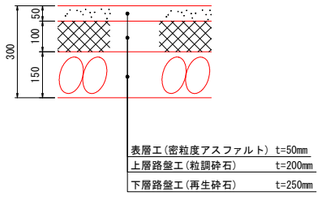


※アスファルト舗装構成の比較（内地）より

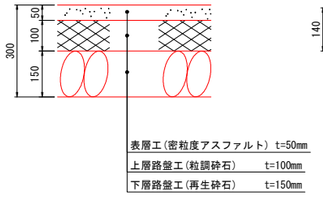
設計期間：20年
信 頼 性：90%
設計CBR ：3%
交通区分：N5交通
（大型車交通量：1000台未満/日・方向とする※）
※H27道路交通センサス

取付市道車道舗装

支線市道

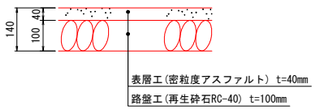


乗入部舗装 I
(全区間)



※九州地方整備局「土木工事設計要領」
p道1-40 乗入規格表による値。

歩道舗装
(標準部)



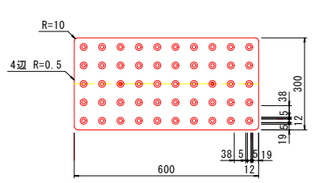
※九州地方整備局「土木工事設計要領」
p道1-161 一般的なアスファルト舗装による値。

誘導ブロック設置

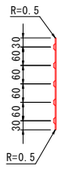
*既設の配置と同じ形状を設置すること。

点状ブロック
再生樹脂製点字タイル
(警告)

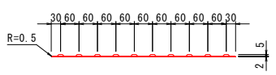
平面図



断面図



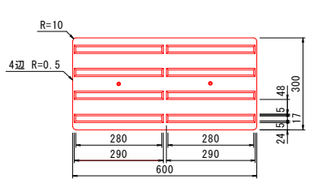
立面図



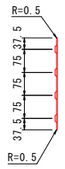
＊工法はタイルと接着剤が一体化する溶融接着方式である。
＊耐摩耗、耐圧縮性能向上のためタイル骨材にはセラミック100%の仕様とする。

線状ブロック
再生樹脂製点字タイル
(誘導)

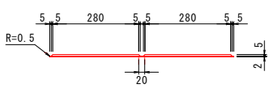
平面図



断面図



立面図



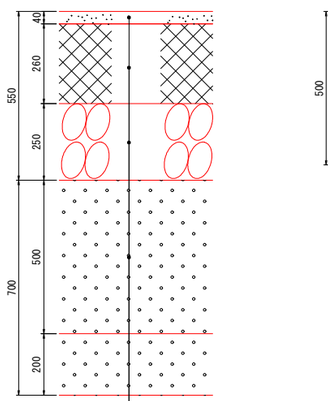
＊工法はタイルと接着剤が一体化する溶融接着方式である。
＊耐摩耗、耐圧縮性能向上のためタイル骨材にはセラミック100%の仕様とする。

仕 様

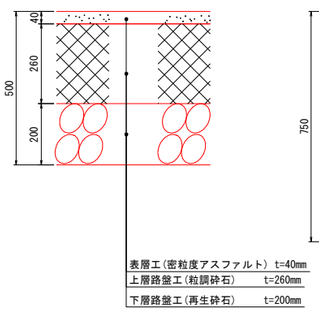
品名(点字タイル)	再生樹脂製点字タイル（セラミック配合）
品名(接着材)	再生樹脂製接着剤（溶融接着方式）
工　法	タイルと接着剤が一体化する溶融接着方式
寸　法	300mm×600mm×2mm t
材　質	再生樹脂製
仕　様	無機顔料・セラミック骨材仕様(各100%)

仮復旧舗装(車道)
(区間本線の舗装に準ずる)

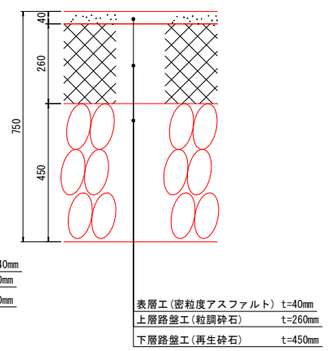
唐湊線車道舗装区間1



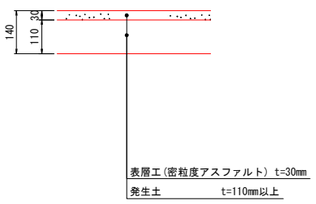
唐湊線車道舗装区間2



唐湊線車道舗装区間3



仮復旧舗装(歩道・乗入部)
(全区間)



工 事 名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事 業 名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	舗装工構造図 S=1:10		
図面番号	全 48 の 44	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

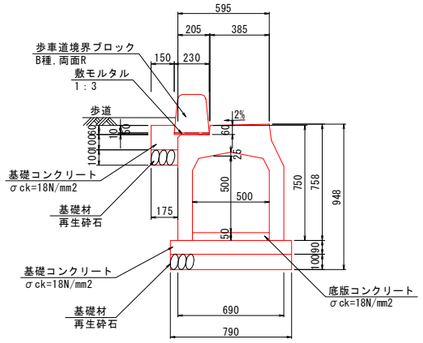
㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

縁石工・側溝工構造図　(A1)S=1:20 (A3)S=1:40

縁石B　側溝

標準部(両面R)B種
セミフラット部

街路型
自由勾配側溝



縁石B　数量表　10m当り

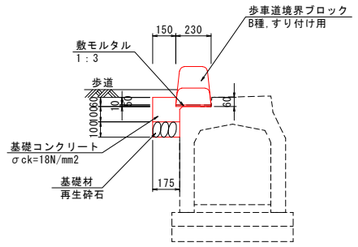
種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正		0.175×10 =1.75	1.75	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.175×10 =1.75	1.75	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.23×0.01×10 =0.023	0.023	m3	
型　枠		0.16×10 =1.60	1.60	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.175×0.16×10 =0.28	0.28	m3	
歩車道境界ブロック	標準B種・両面R		5	個	※L=2.0m 231kg/個

側溝　数量表(500×500～1400)　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正		0.79×10 =7.90	7.90	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.79×10 =7.90	7.90	m2	t=100mm
型　枠		0.09×10×2 =1.80	1.80	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.09×0.79×10 =0.71	0.71	m3	
底版コンクリート	σck=18N/mm2	0.05×0.50×10 =0.25	0.25	m3	
側　溝	街路型 自由勾配側溝	※50mm以上。前後の側溝底高で調整すること ※設置場所の深さに合わせた製品を設置すること	10.0	m	L=2.5m
蓋　版			10.0	枚	
集水蓋			2.00	枚	

縁石B1

すりつけ部
セミフラット部

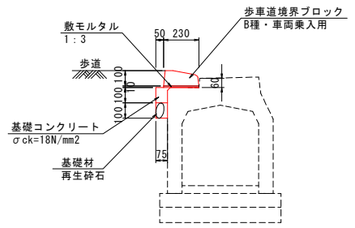


縁石B1　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正		0.175×10 =1.75	1.75	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.175×10 =1.75	1.75	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.23×0.01×10 =0.023	0.023	m3	
型　枠		0.16×10 =1.60	1.60	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.175×0.16×10 =0.28	0.28	m3	
歩車道境界ブロック	B種・すり付け用		10	個	※L=1.0m 102kg/個

縁石B2

車両乗入用

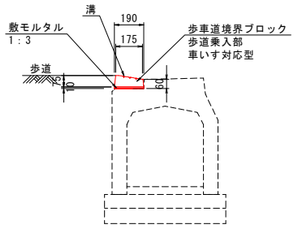


縁石B2　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正		0.075×10 =0.75	0.75	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.075×10 =0.75	0.75	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.16×0.01×10 =0.016	0.016	m3	
型　枠		0.10×10 =1.00	1.00	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2	0.075×0.10×10 =0.08	0.08	m3	
歩車道境界ブロック	B種・車両乗入用		16.67	個	※L=0.6m 28kg/個

縁石B3

歩道乗入用

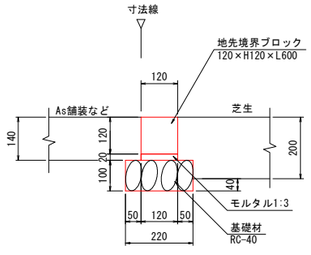


縁石B3　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正			—	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40		—	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.19×0.01×10 =0.019	0.019	m3	
型　枠			—	m2	
コンクリート	σck=18N/mm2		—	m3	
歩車道境界ブロック	B種・車両乗入用		16.67	個	※L=0.6m 28kg/個

地先境界ブロック

120×H120×L600
(A1)S=1:10 (A3)S=1:20

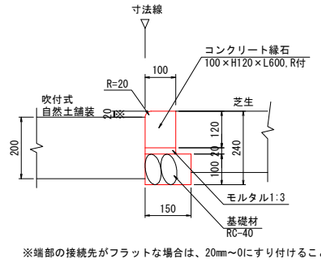


地先境界ブロック　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
床　掘		((0.17+0.19)×0.04 +0.05×0.1)/2×10 =0.10	0.1	m3	
埋戻し		0.1-0.17×0.04×10=0.03	0.03	m3	
残　土		0.1-0.03/0.9 =0.07	0.1	m3	
基面整正		0.17×10 =1.70	1.70	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.17×10 =1.70	1.70	m2	t=100mm
モルタル	1:3	0.12×0.02×10 =0.024	0.02	m3	
地先境界ブロック	120×H120×L600		10.0	m	※L=600 20kg/本

コンクリート縁石

100×H120×L600
(A1)S=1:10 (A3)S=1:20



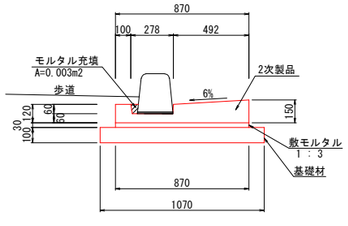
※端部の接続先がフラットな場合は、20mm～0にすり付けること。

コンクリート縁石　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
床　掘		-	-	m3	
埋戻し		-	-	m3	
残　土		-	-	m3	
基面整正		0.15×10 =1.50	1.50	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.15×10 =1.50	1.50	m2	t=100mm
モルタル	1:3	0.10×0.02×10 =0.020	0.02	m3	
コンクリート縁石	150×H150×L600 R付		10.0	m	※L=600 17kg/本

L型側溝

組合せL型側溝・標準部
セミフラット部

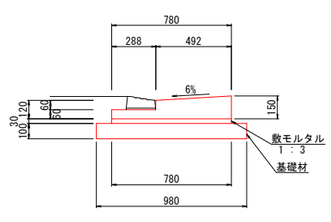


L型側溝(標準部)　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正		1.070×10 =10.70	10.70	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	1.070×10 =10.70	10.70	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.87×0.03×10 =0.26	0.26	m3	
モルタル充填	1:3	0.003×10 =0.03	0.03	m3	
L型側溝	2次製品	寸法：150×870×2000 参考重量W=456kg	5.0	個	

L型側溝

組合せL型側溝・乗入部



L型側溝(乗入部)　数量表　10m当り

種　別	規　格	計　算　式	数　量	単位	摘　要
基面整正		0.98×10 =9.80	9.80	m2	
基礎砕石	再生砕石 RC-40	0.98×10 =9.80	9.80	m2	t=100mm
敷モルタル	1:3	0.78×0.03×10 =0.23	0.23	m3	
L型側溝	2次製品	寸法：150×780×1000 参考重量W=198kg	5.0	個	

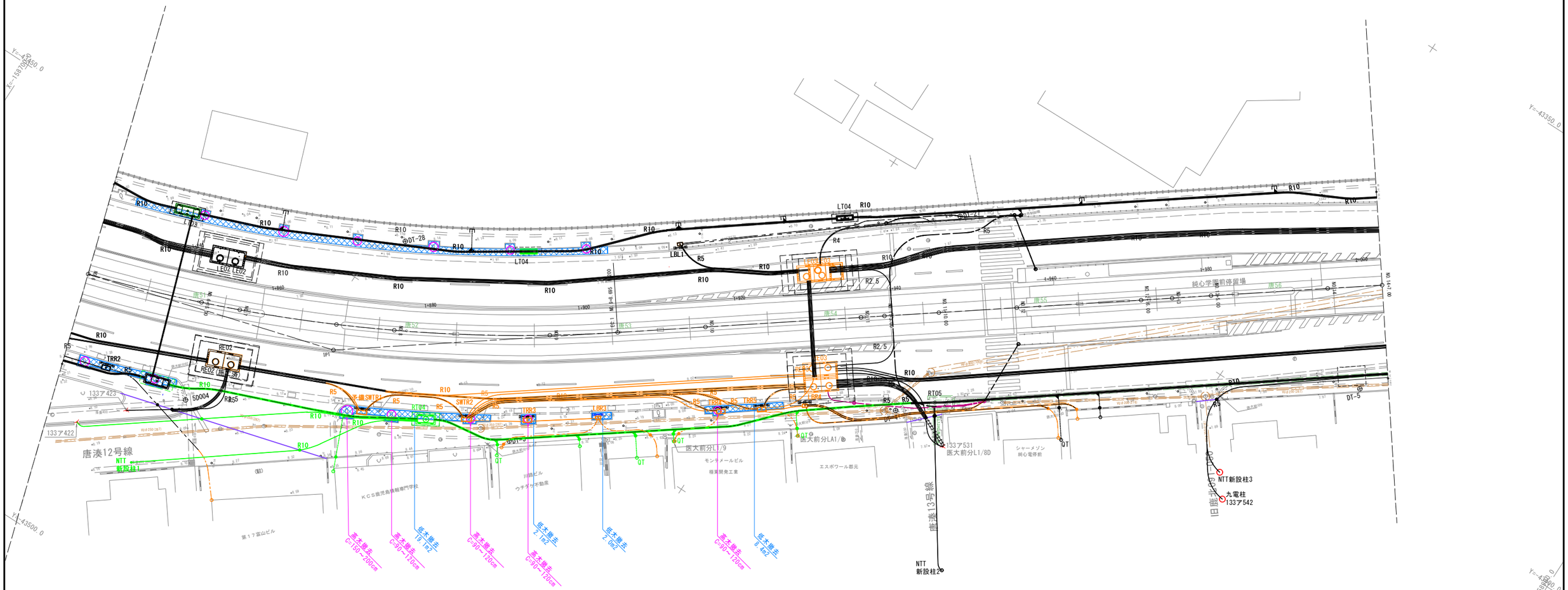
工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	縁石工・側溝工構造図　S=1:20		
図面番号	全 48 の 45	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

樹木撤去平面図

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

【NO.6～NO.14+7.0】



高木撤去数量

	右　側
C=90～120cm	5本
C=150～200cm	1本

低木撤去数量

	右　側
NO.6～NO.14+7.0	31.6m2

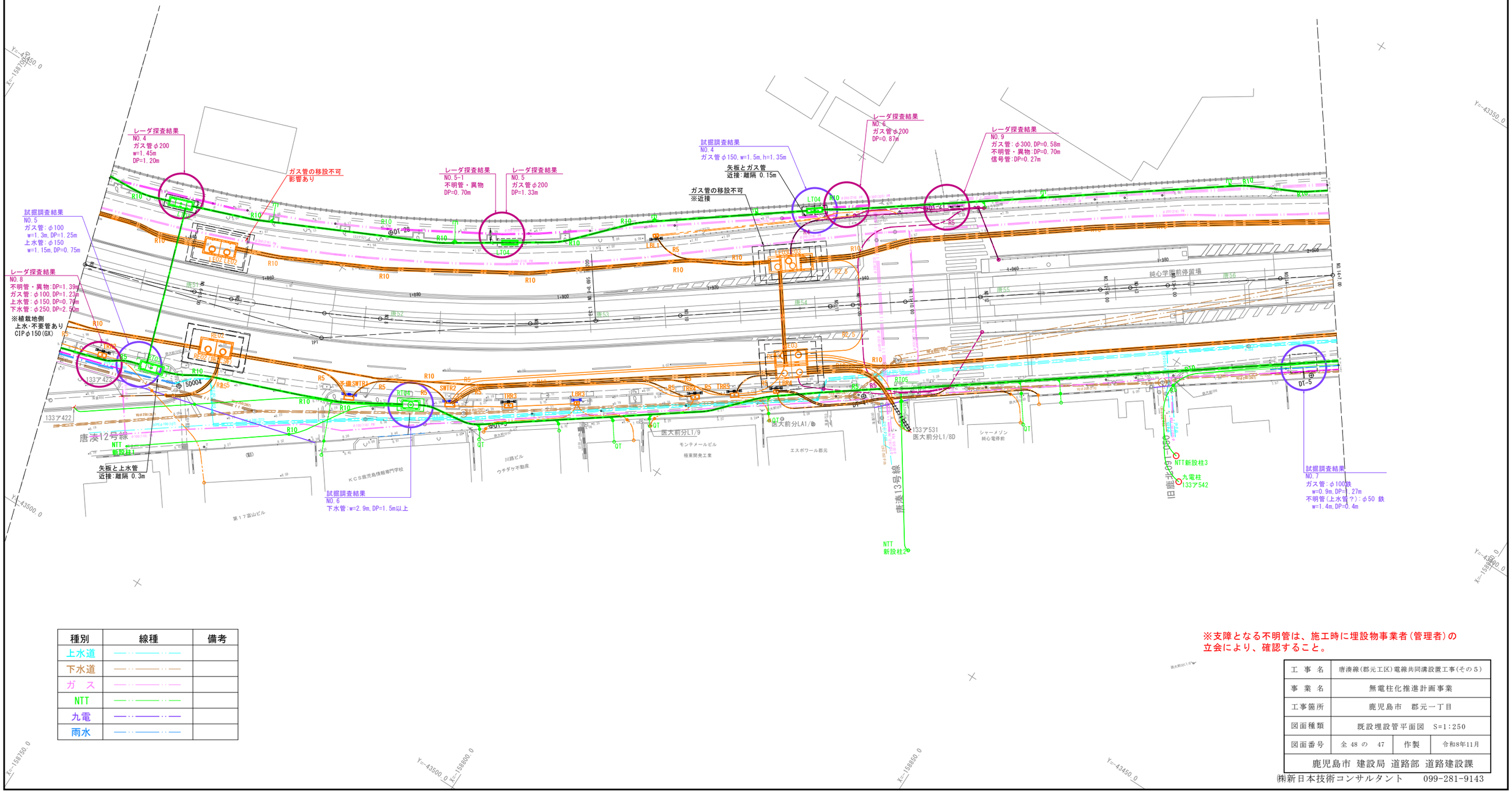
工　事　名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その５)		
事　業　名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	樹木撤去平面図　S=1:250		
図面番号	全 48 の 46	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

既設埋設管平面図
【NO.6～NO.14+7.0】

(A1)S=1:250 (A3)S=1:500

（試掘調査結果，レーダ探査結果）



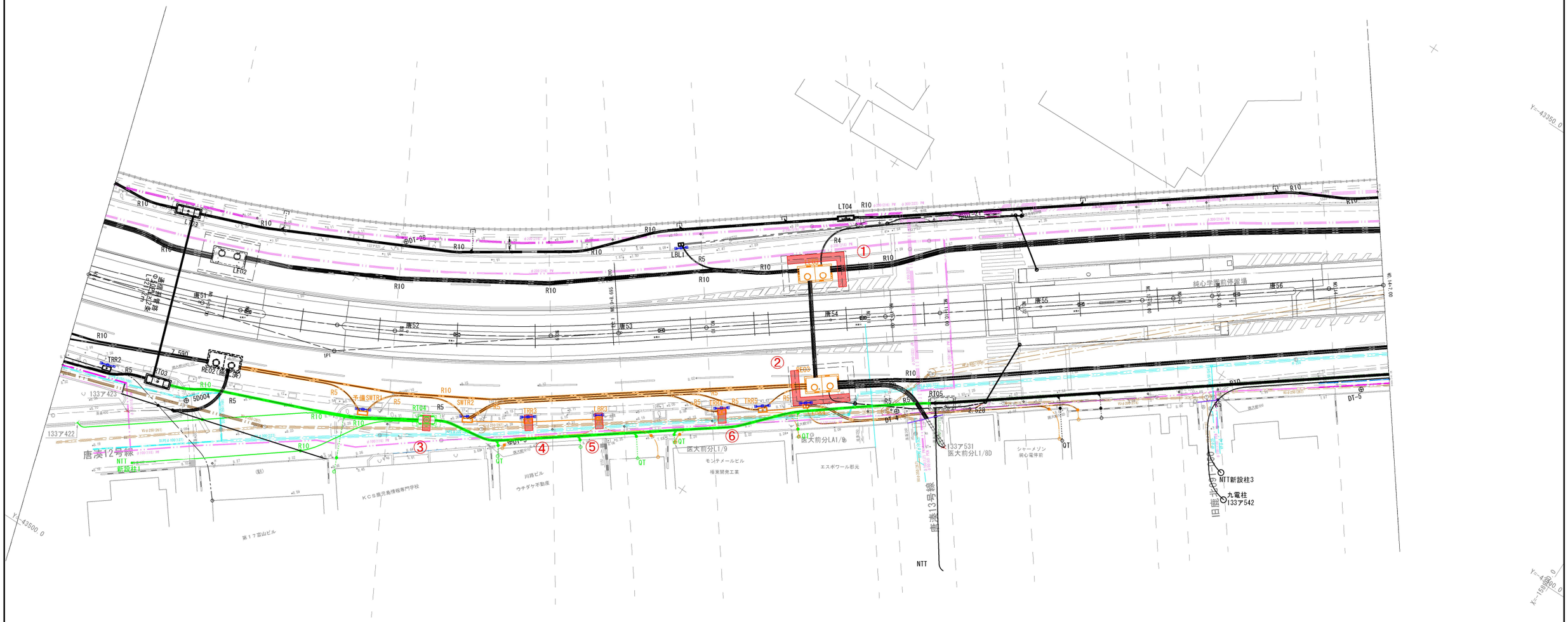
種別	線種	備考
上水道		
下水道		
ガス		
NTT		
九電		
雨水		

※支障となる不明管は、施工時に埋設物事業者(管理者)の立会により、確認すること。

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	既設埋設管平面図　S=1:250		
図面番号	全 48 の 47	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143

試掘工　(A1)S=1:250 (A3)S=1:500



数量計算書

工種	車道 ①	車道 ②	車道 合計	歩道 ③	歩道 ④	歩道 ⑤	歩道 ⑥	歩道 合計
舗装版切断	23.6	23.6	47.2	6.0	6.0	6.0	6.0	24.0
舗装版破砕	10.8	10.8	21.6	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0
処分量	1.08	1.08	2.2	0.10	0.10	0.10	0.10	0.4
深さ	1.5	1.5	3.0	1.5	1.5	1.5	1.5	6.0
床掘　(舗装版破砕*[深さ-舗装厚])	15.1	15.1	30.2	2.9	2.9	2.9	2.9	11.6
埋戻	15.1	15.1	30.2	2.9	2.9	2.9	2.9	11.6
仮舗装　車道	10.8	10.8	21.6	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0
仮舗装　歩道								

工事名	唐湊線(郡元工区)電線共同溝設置工事(その5)		
事業名	無電柱化推進計画事業		
工事箇所	鹿児島市　郡元一丁目		
図面種類	試掘工　S=1:250		
図面番号	全 48 の 48	作製	令和8年11月
鹿児島市 建設局 道路部 道路建設課			

㈱新日本技術コンサルタント　099-281-9143